

令和元年度

まちづくり町民意識調査報告書

令和元年6月

白老町

(企画課 企画グループ)

目 次

調査の概要	1
調査結果の概要	
(1) 回答者の特性	2
(2) 白老町の好感度	4
(3) 白老町の人口減少について	6
(4) これまでの暮らしに対する評価と今後の重要度	11
「第5次白老町総合計画 基本方針」に対する満足の度合い	11
【生活・環境】分野の施策に対する関心の高さと満足の度合い	12
【生活・環境】分野の町民意識度調査	15
【健康・福祉】分野の施策に対する関心の高さと満足の度合い	20
【健康・福祉】分野の町民意識度調査	22
【教育・生涯学習】分野の施策に対する関心の高さと満足の度合い	25
【教育・生涯学習】分野の町民意識度調査	28
【産業】分野の施策に対する関心の高さと満足の度合い	30
【産業】分野の町民意識度調査	32
【自治】分野の施策に対する関心の高さと満足の度合い	36
【自治】分野の町民意識度調査	37
(5) 白老町での暮らしやまちづくりについて	40
(6) 分野ごとの自由意見	48

■調査の概要

1. 調査目的

この調査は、第5次白老町総合計画に掲げる各施策項目に対する町民の満足度及び今後の重要度、町民意識度、意見要望等を把握し、計画の的確な進行管理を図るとともに、広くまちづくりに関するニーズを把握し、町民の視点に立った行政運営を推進することを目的とする。

また、令和元年度調査においては、計画策定当初に設定したまちづくり評価指標に係る項目を追加し、第5次白老町総合計画の評価・検証を行うための基礎データとして活用する。

2. 調査期間

平成31年4月26日（金）～令和元年5月24日（金）

3. 調査方法

往復とも郵送による

4. 調査対象

町内在住の満18歳以上の者 2,000人

5. 抽出方法

各地区の人口比率により対象者数を按分し、住民基本台帳から無作為にて抽出

地区 年齢	社台	白老	石山	萩野	北吉原	竹浦	虎杖浜	合計
18～29歳	16	212	11	50	39	35	37	400
30～49歳	18	257	23	71	46	44	41	500
50～64歳	22	222	28	74	54	54	46	500
65歳以上	26	234	44	93	77	73	53	600
合計	82	925	106	288	216	206	177	2,000

6. 回答状況

- ・回答者数：580人（前回調査：479名）
- ・回答率：29.0%（前回調査：31.9%）

※前回調査（平成29年度）は調査対象者 満18歳以上1,500人

(1) 回答者の特性

単位：人

【性別】【年齢】

●65歳以上の割合が全体の50%

●女性の割合が多い

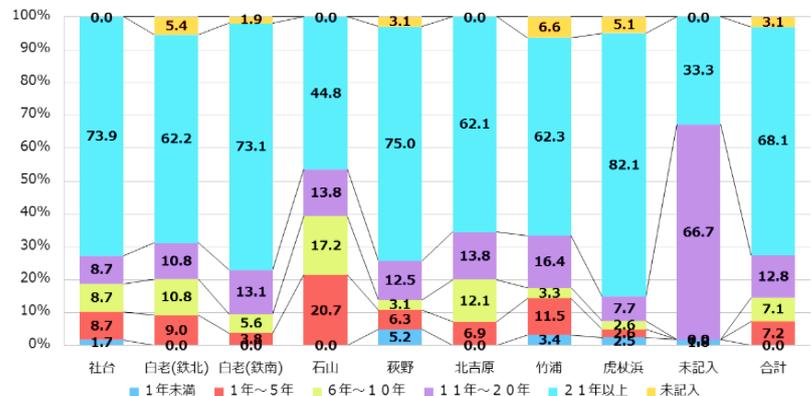
- ・回答者の性別は、男性43.3%、女性55.0%となりました。
- ・回答者の傾向を見ると、65歳以上の方は全体の50%を占めています。
- ・回答者を年齢別に見てみると、30歳代以下が10%以下、40～50歳代が10%台、60歳代が20%台、70歳以上が30%台と年齢が高くなるにつれ回答者が多くなる傾向となりました。

年齢区分	男性	女性	未記入	合計	構成比
18歳～19歳	7	5	0	12	2.1%
20歳～29歳	23	33	0	56	9.7%
30歳～39歳	12	26	0	38	6.6%
40歳～49歳	24	55	0	79	13.6%
50歳～59歳	26	34	0	60	10.3%
60歳～64歳	18	25	0	43	7.4%
65歳～69歳	41	29	0	70	12.1%
70歳～74歳	50	45	2	97	16.7%
75歳以上	50	67	8	125	21.6%
合計	251	319	10	580	—
割合	43.3%	55.0%	1.7%	—	100.0%

【白老町での居住年数】【居住地】

●白老地区の居住者（回答者）が多く、地域によって居住年数に差

- ・回答者の居住地を見ると、白老地区に居住されている方からの回答が多く、他方、石山地区では、比較的居住年数の浅い方からの回答が多く寄せられました。



単位：人

	社台	白老(鉄南)	白老(鉄北)	石山	萩野	北吉原	竹浦	虎杖浜	未記入	計
回答数	23	111	160	29	96	58	61	39	3	580

【職業】

●回答者の約半数が就労しており、その3割弱は民間正規職員

- ・回答者の職業の割合では、働いている方が48.6%、現在働いていない方が49.1%（未記入2.2%）

区分	民間正規職員	民間非正規職員	公務員	自営業	会社経営	その他	現在働いていない	未記入	合計
18歳～19歳	1	0	0	0	0	0	11	0	12
20歳～29歳	19	4	12	0	1	3	16	1	56
30歳～39歳	11	9	7	2	0	4	5	0	38
40歳～49歳	23	21	14	2	3	8	7	1	79
50歳～59歳	16	8	13	5	0	9	7	2	60
60歳～64歳	8	4	4	3	2	8	13	1	43
65歳～69歳	4	10	2	6	1	6	40	1	70
70歳～74歳	4	2	1	3	2	6	76	3	97
75歳以上	0	0	0	3	1	7	110	4	125
合計	86	58	53	24	10	51	285	13	580

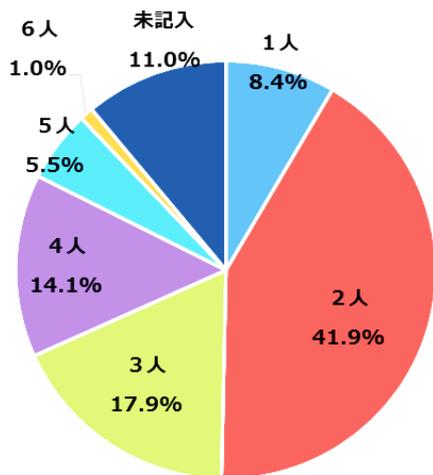
【世帯人数・配偶者の有無・世帯の就労状況】

●「配偶者有」は64.0%、「配偶者無」25.0%（20歳代33.9% 30歳代44.7%）、「2人世帯」は41.9%、「共働き世帯」は20.5%

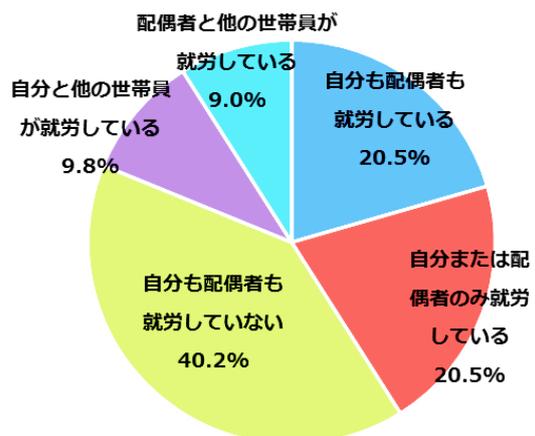
・世帯人数で最も多いのは「2人」で41.9% 次いで「3人」が17.9%、「1人」は8.4%です。また、配偶者の有無については、配偶者有が64.0% 配偶者無は25.0%となっています。

・世帯の就労状況は、共働きしている世帯は20.5% 本人あるいは配偶者のいずれかが就労している世帯は20.5% 本人も配偶者のいずれも就労していない世帯は40.2%となりました。

【世帯人数】



【世帯の就労状況】



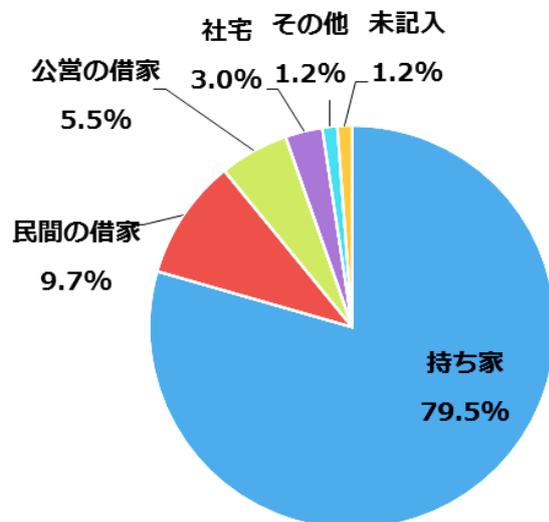
単位：人

	18歳～19歳	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～64歳	65歳～69歳	70歳以上	合計
配偶者有	0	19	17	58	40	30	57	150	371
配偶者無	11	27	17	18	16	6	4	46	145
未記入	1	10	4	3	4	7	9	26	64
合計	12	56	38	79	60	43	70	222	580

【お住まいの住宅種類】

●「持ち家率」は79.5%

・回答者のうち、「持ち家」にお住まいの方は79.5%、「民間の借家」にお住まいの方は9.7%、「公営の借家」5.5%となりました。



(2) 白老町に対する好感度

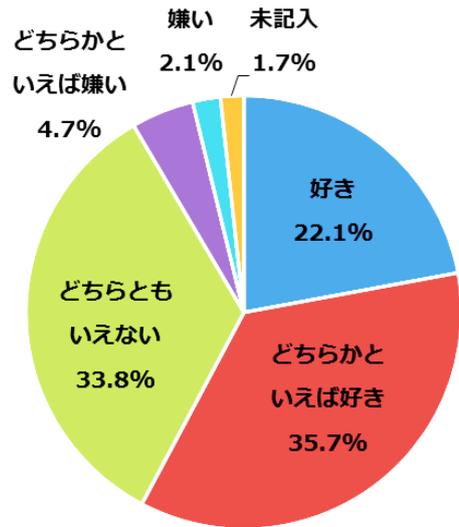
問1 白老町が好きですか。

【全体の傾向】

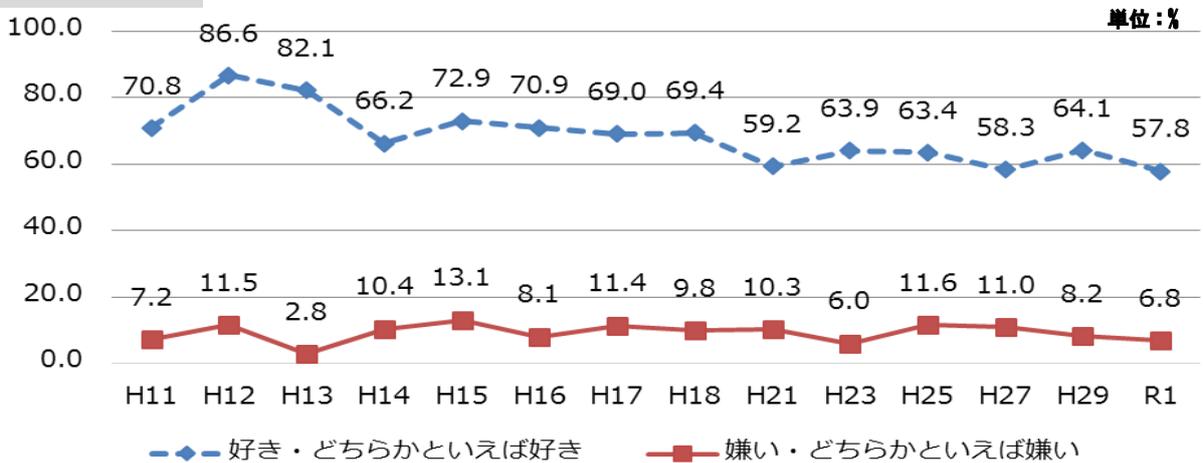
- 「好き」 57.8% (前回より 6.3 ポイント減)
- 「嫌い」 6.8% (前回より 1.4 ポイント減)
- 「どちらともいえない」 33.8%

(前回より 9.0 ポイント増)

・「好き」、「どちらかといえば好き」と回答した人の割合は、前回調査より 6.3 ポイント減の 57.8%、また、「嫌い」、「どちらかといえば嫌い」を回答した人の割合は、1.4 ポイント減の 6.8%となりました。

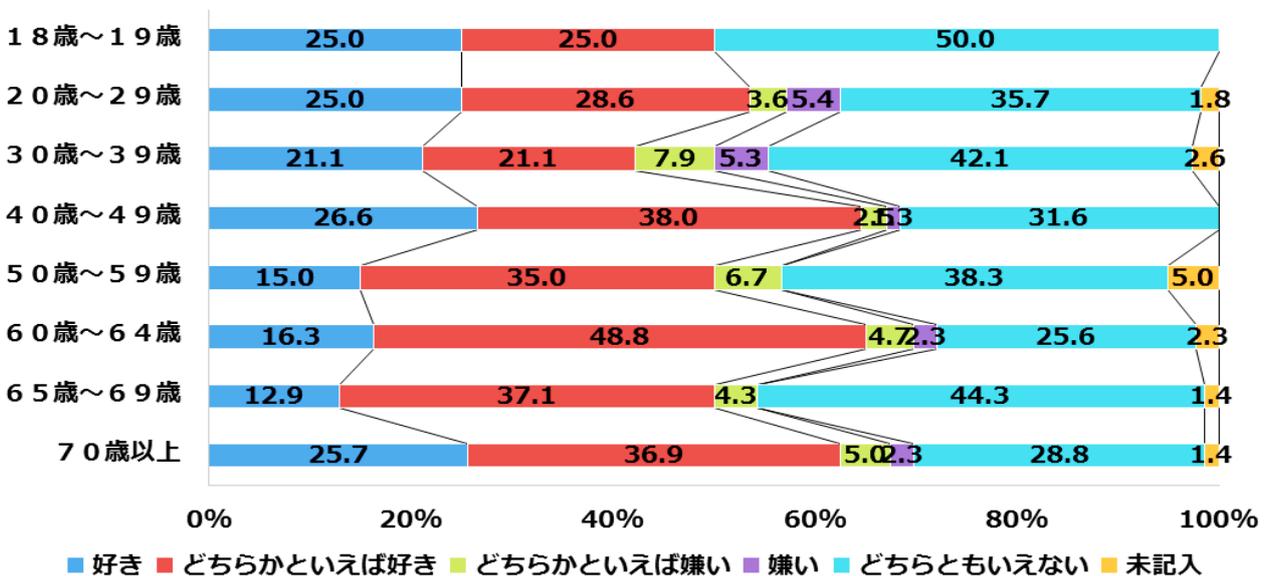


【これまでの推移】



【年齢別での傾向】

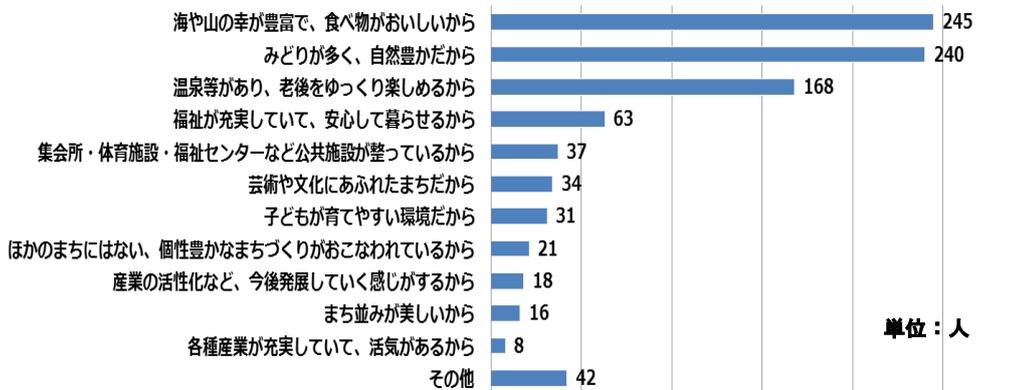
- 30代は他の世代に比べ、白老町への愛着度が低い。一方、40代が最も高い。
- ・30歳～39歳の方では、13.2%が「嫌い」「どちらかといえば嫌い」と回答しています。



問 1-2 問 1 で「好き」「どちらかといえば好き」と答えた理由は何ですか（複数回答可）。

● 「食べ物がおいしい」「自然豊か」「温泉等があり、老後をゆっくり楽しめる」

・白老町が好きな理由として、「海の幸が豊富で、食べ物がおいしいから」「みどりが多く、自然豊かだから」「温泉等があり、老後をゆっくり楽しめるから」の順に多く、前回と同じ結果となりました。

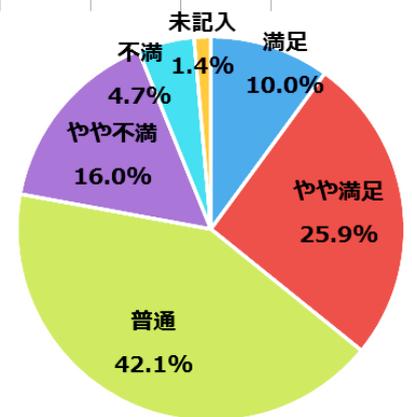


問 2 白老町の生活に満足していますか。

【全体の傾向】

● 「満足」 35.9% ● 「不満」 20.7% ● 「普通」 42.1%

・「満足」、「やや満足」と回答した人の割合が「不満」、「やや不満」と回答した人の割合より、15.2%多い結果となりました。

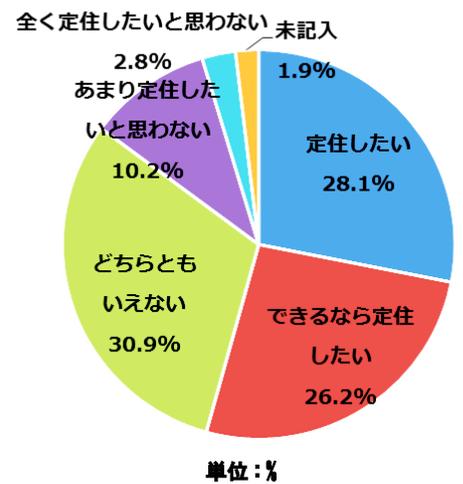


問 3 これからも白老町に定住したいと思いますか。

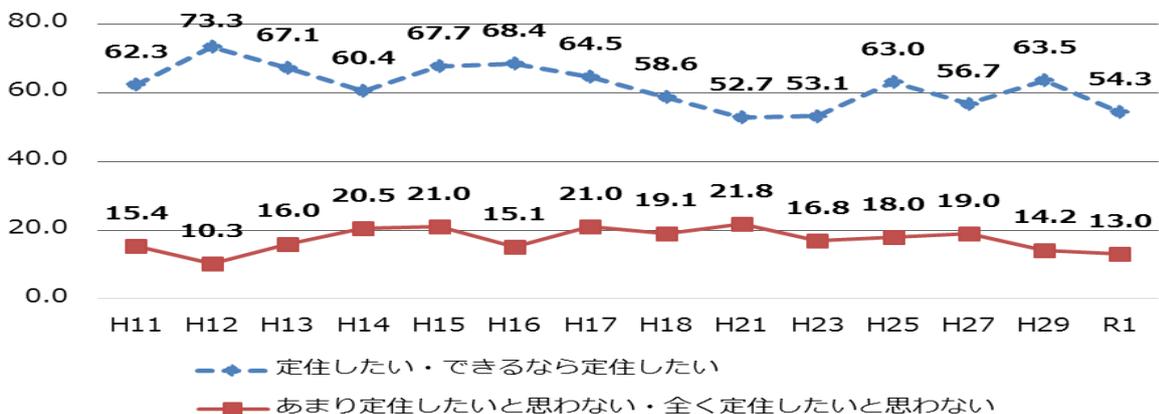
【全体の傾向】

- 「定住したい」 54.3% (前回より 9.2 ポイント減)
- 「定住したいと思わない」 13.0% (前回より 1.2 ポイント減)
- 「どちらともいえない」 30.9% (前回より 13.8 ポイント増)

・白老町に「定住したい」「できるなら定住したい」と回答した人は、前回より 9.2 ポイント減の 54.3%となりました。



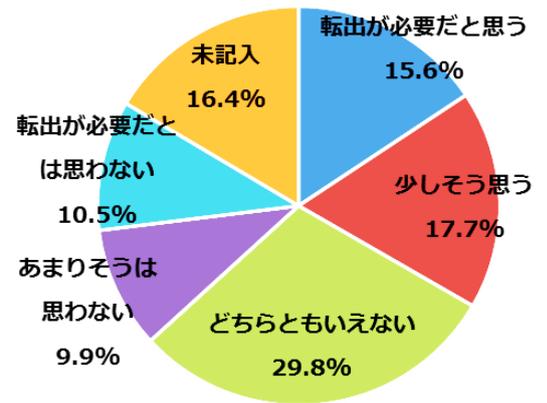
【これまでの推移】



注) 平成 14 年度以前の調査では選択項目等が異なるため参考値となります。

問4 卒業・就職・結婚・出産・定年・病気・免許返納・要介護など、人生の転機を迎えた時、白老町から転出する必要があると思いますか。

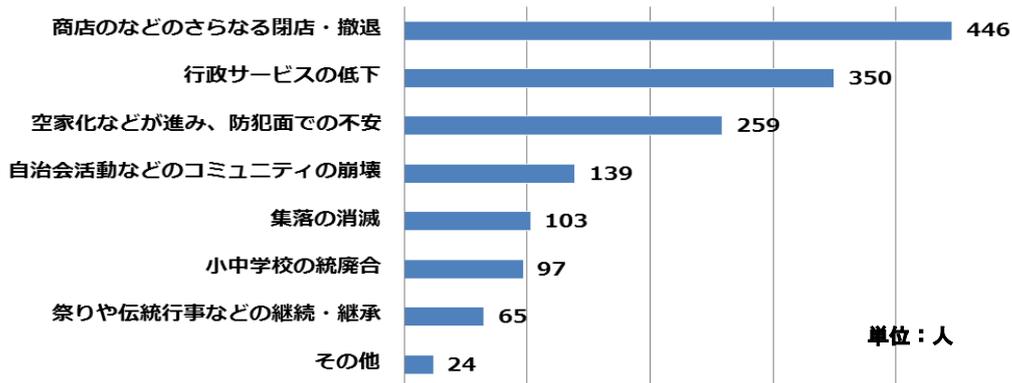
- 「転出が必要」33.3%
- 「転出が必要ではない」20.4%
 - ・人生の転機を迎えた時に、「転出が必要」と回答した人が「転出が必要でない」と回答した人に比べ、12.9%多いことから、人生の転機が町外転出のきっかけになることがうかがえます。



(3) 白老町の人口減少について

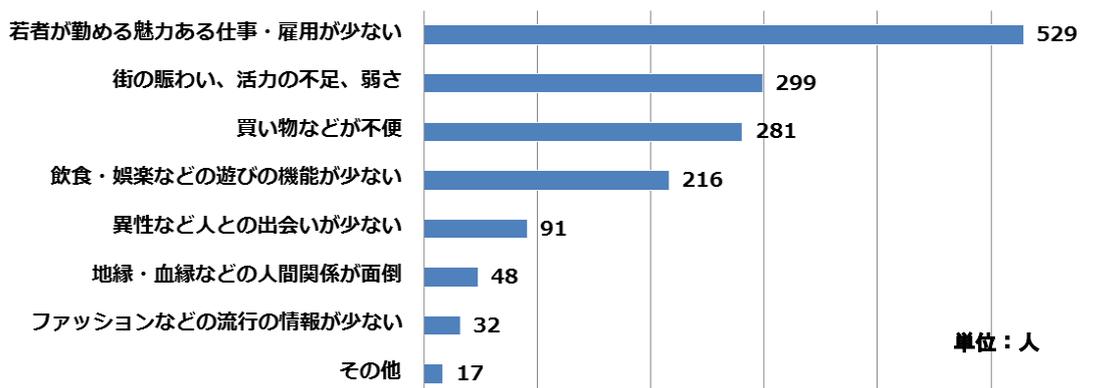
問5 あなたは、人口減少がさらに進行していった場合、生活、暮らしにどんな不安を感じますか（3つまで複数回答可）。

- 「商店の閉店・撤退」、「行政サービスの低下」、「防犯面の不安」の順
 - ・人口減少に伴い、買い物や行政サービスといった利便性に対する懸念や空き家に対する防犯面での不安が上位を占め、「自治会活動などのコミュニティの崩壊」「集落の消滅」など、地域の問題が続きます。



問6 進学によって白老から転出した若者が卒業後に町に戻ってこない理由は何だと思いますか（3つまで複数回答可）。

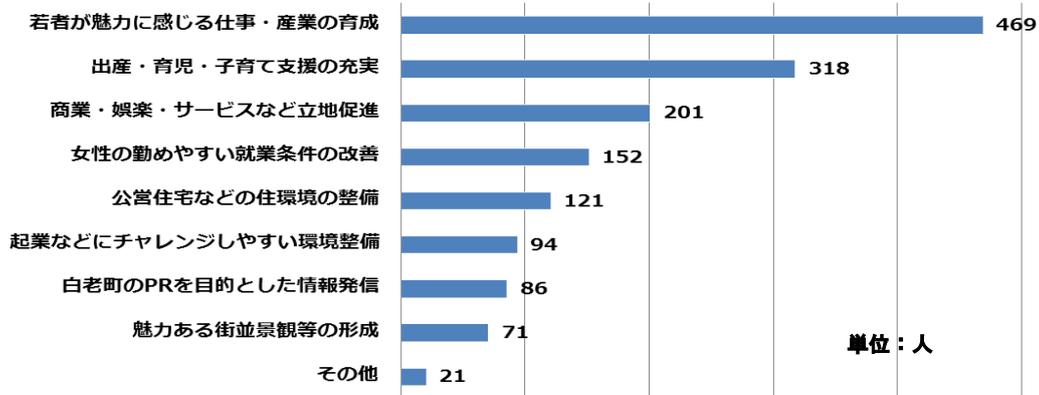
- 雇用面の原因が突出。街の賑わい不足、買い物不便や出会いの少なさも原因に
 - ・魅力のある仕事、雇用が少ないと感じる声が目立ち、次いで、街の賑わい、活力不足や買い物などの日常生活の不便さを指摘する声も多く寄せられています。



問7 子育て世代を白老町に呼び込む（流入）、または流出を抑えるためにはどのような分野に重点を置くべきだと思いますか（3つまで複数回答可）。

●最も望まれているのは「仕事・産業の育成」、次いで、「子育て支援の充実」の順

・子育て世代を呼び込む対策としては、「魅力ある仕事・産業の育成」が最も多く、次いで、「出産・育児・子育て支援の充実」、「商業・娯楽・サービスなど立地促進」の順となっており、雇用環境の充実の必要性がうかがえます。

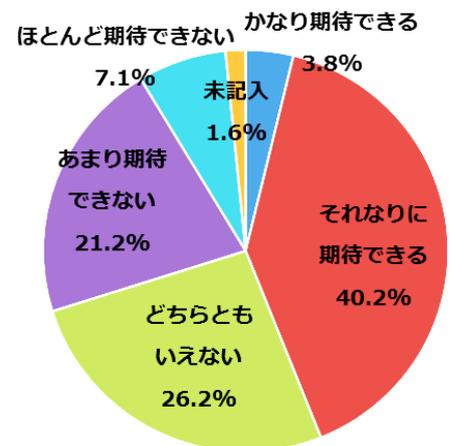


問8 民族共生象徴空間の整備に伴い、まちの経済的な活性化が期待できますか。

●「経済的な活性化が期待できる」と答えた割合は

44.0%（前回より 1.4 ポイント増）

・前回に比べ「まちの経済的な活性化が期待できる」と回答した割合が増加傾向にあることから、目に見えて進むウポポイの整備により、町民の中で期待感が高まってきていることがうかがえます。

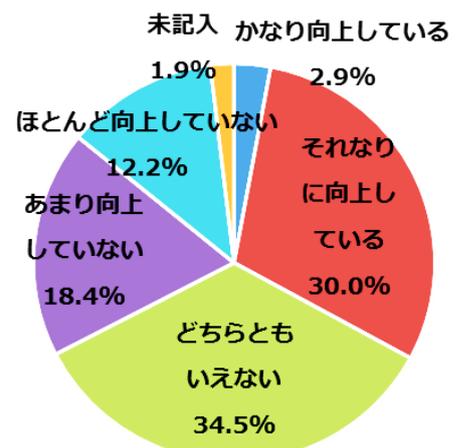


問9 民族共生象徴空間の整備に伴い、まちなみの景観は向上していますか。

●「まちなみの景観は向上している」と答えた割合は

32.9%（前回より 10.8 ポイント増）

・前回に比べ「向上している」と回答した割合が大きく増加していることから、ウポポイの開設に向けた周辺整備により、まちなみがより良く変わりつつあることがうかがえます。

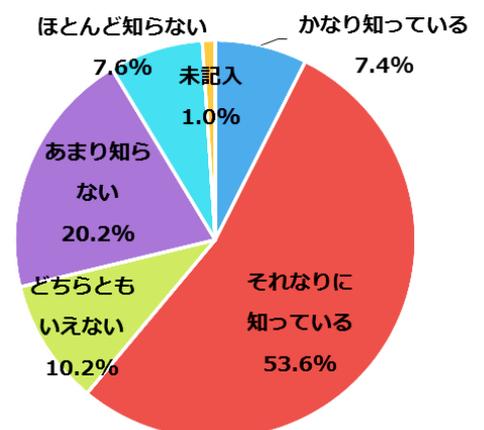


問10 白老町が多文化共生のまちづくりを進めていることを知っていますか。

●「知っている」と答えた割合は **61.0%**

（前回より 5.2 ポイント増）

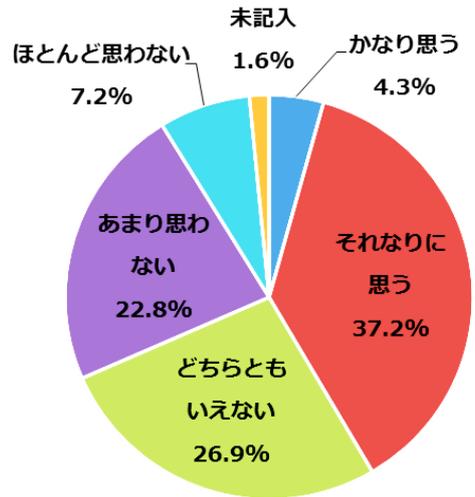
・白老町が多文化共生のまちづくりを推進していることを「知っている」「それなりに知っている」と回答した人は61.0%となり、徐々に認知度の向上が図られていることがうかがえます。



問 11 アイヌ文化や多文化共生への理解が深まり、普及が進んでいると思いますか。

●理解が深まっている、普及が進んでいると思うと感じている割合は 41.5%（前回より **2.8 ポイント増**）

・前回に比べ、「かなり思う」、「それなりに思う」と回答した割合が 2.8%増加し、一方、「あまり思わない」、「ほとんど思わない」と回答した割合が 5.7%減少していることから、徐々に理解・普及が進んでいることがうかがえます。

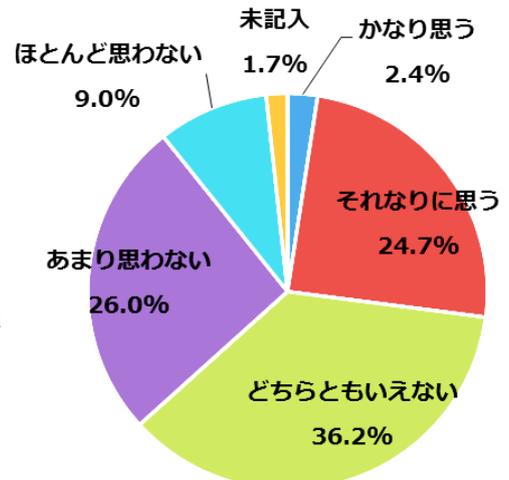


問 12 アイヌ文化や多文化共生（外国文化など）に関する教育が推進されていると思いますか。

●推進されていると思うと答えた割合は 27.1%

（前回より **0.2 ポイント増**）

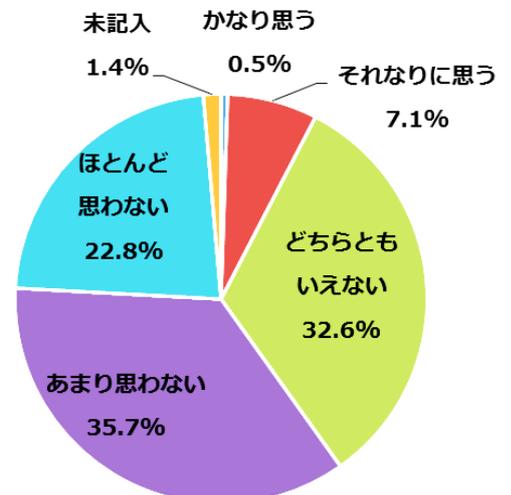
・「あまり思わない」、「ほとんど思わない」が 35.0%となっており、「かなり思う」「それなりに思う」の 27.1%を上回っていることから、アイヌ文化等への理解促進に対する教育の必要性がうかがえます。



問 13 あなたは町の人々がグローバル（世界的な発想で、かつ地域性を持った考え方・生き方）になっていると思いますか。

●「思う」は 7.6%、一方「思わない」は 58.5%

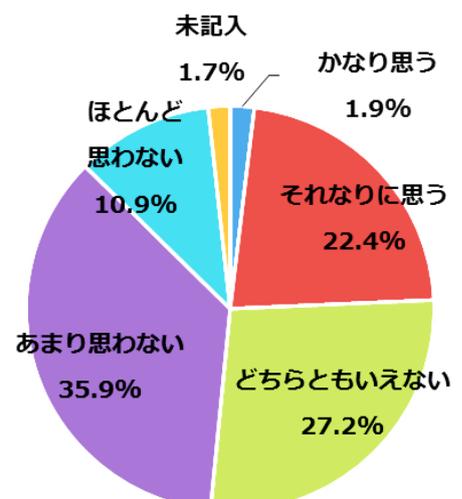
・2020年のウポポイの開設に向け、国内外から多くの来訪者が見込まれていることから、グローバル（国際的）・ローカル（地方）の双方の視点をもった人材育成が必要とされていますが、前回に続き「あまり思わない」、「ほとんど思わない」が 58.5%と依然として高いことから、一層の取組み強化が必要となります。



問 14 町内の案内表示が来訪者にとってわかりやすいものになっていると思いますか。

●「思う」と答えた割合は 24.3%

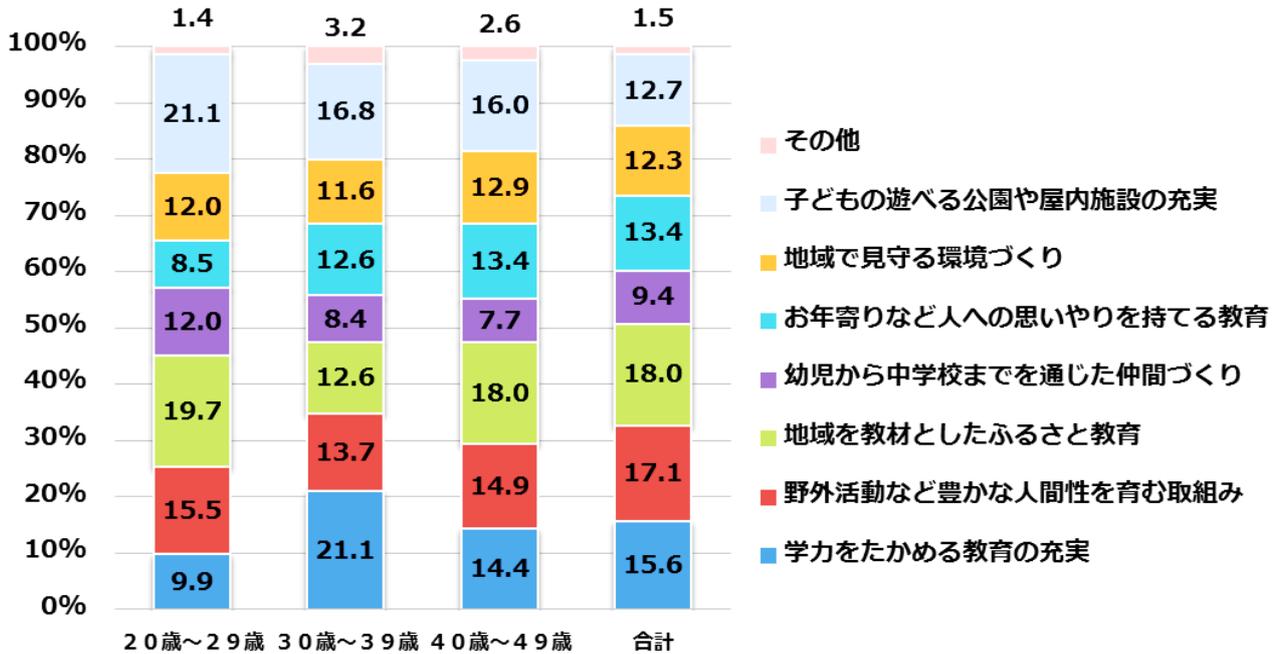
・前項の設問と同様に、多くの来訪者にわかりやすい案内表示等の必要性が高まっていますが、案内表示がわかりやすいものになっていないとの回答が半数近く占めることから、公共サイン等をはじめ、各飲食店のメニューなどへの多言語化等の必要性が求められています。



問 15 将来の地域を担う人材を確保するためには、ふるさとを大切に思う子どもの育成が重要です。そのためには、どのような分野に重点を置くべきだと思いますか（3つまで複数回答可）。

●全体として「学力」「人間性」「ふるさと教育」を重視する回答が多い

・全年代を通じて、「地域を教材としたふるさと教育」の重要性を指摘する回答が多くなっています。
 ・20代は、「子どもの遊べる公園や屋内施設の充実」への回答が多く、幼児や児童等の遊べる環境の充実を求めていること、また、30代～40代では、「学力をたかめる教育の充実」を重要視しており、受験生を抱える保護者等の存在がうかがえます。

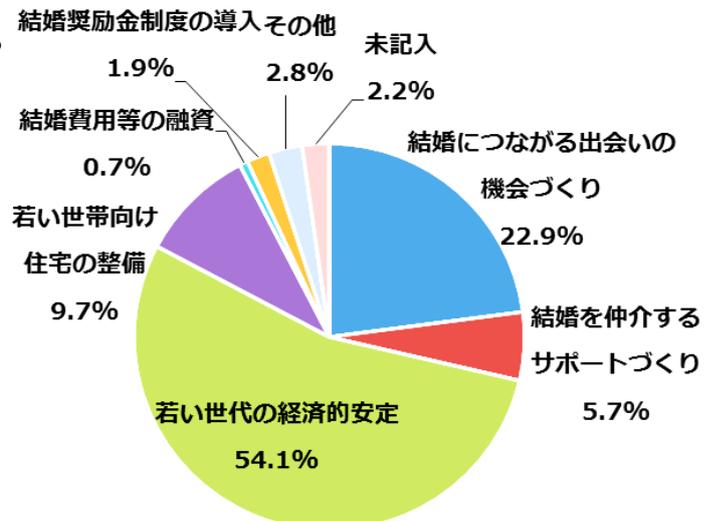


問 16 結婚希望をかなえるために、どのような取り組みに重点を置くべきだと思いますか。

●「若い世代の経済的安定」が54.1%と突出

・近年の少子高齢化や人口減少の要因として晩婚や未婚が指摘されていますが、結婚希望をかなえるためには、「若い世代の経済的安定」への取組みが最も重要との結果となり、ここでも、雇用環境の充実、対策の必要性がうかがえます。

・また、「結婚につながる出会いの機会づくり」（22.9%）、「結婚を仲介するサポートづくり」（5.7%）など、結婚に向けた外的なサポート体制の強化が必要となります。



問 17 出産希望をかなえるために、どのような取り組みに重点を置くべきだと思いますか。

● **出産希望をかなえるためには「相談体制や医療体制の充実」と「職場環境の整備」が必要**

・「妊娠・出産に関する相談体制や医療体制の充実」(43.1%)と「育児休業の取得など妊娠・出産に対する職場環境の整備」(30.0%)の2項目で全体の7割を占めており、出産の希望をかなえるためには、妊娠中から産後までのサポート体制の充実が求められています。

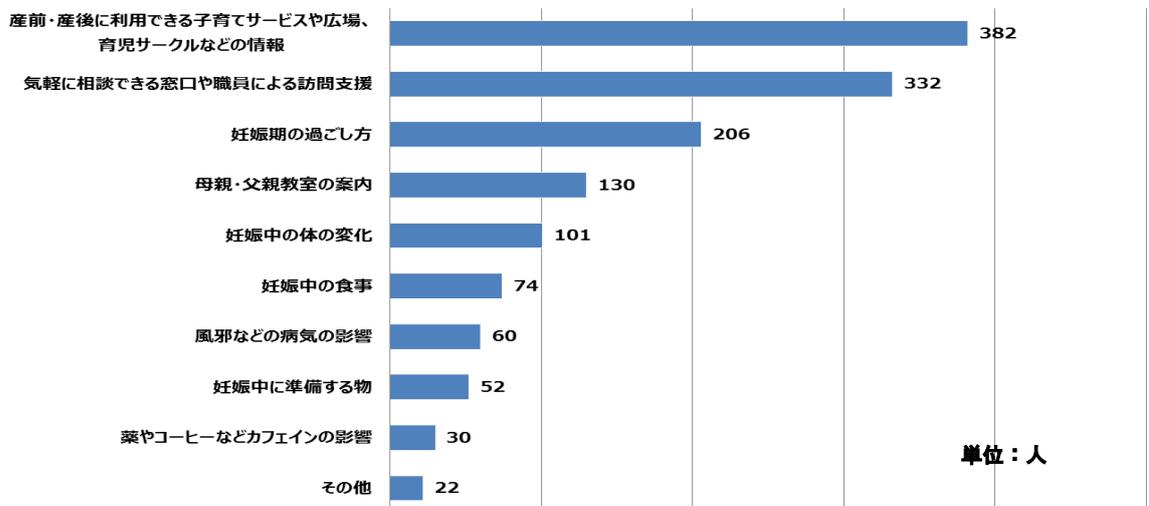
・また、「女性の再就職支援の充実」(12.5%)も3位で、2位の「職場環境の整備」と合わせると42.5%が就労環境等の整備・充実となり、出産等に関して、離職や再就職等の問題が大きいことがうかがえます。



問 18 妊娠期を安心して過ごすために、どのような情報や支援が必要だと思いますか(3つまで複数回答可)。

● 「子育て関係サービスや育児サークルの充実」及び「相談窓口や訪問支援」のニーズ高く

・「産前・産後に利用できる子育てサービスや広場、育児サークルなどの情報」と「気軽に相談できる窓口や職員による訪問支援」が多数を占め、子育てに対する不安解消等の施策の必要性がうかがえます。

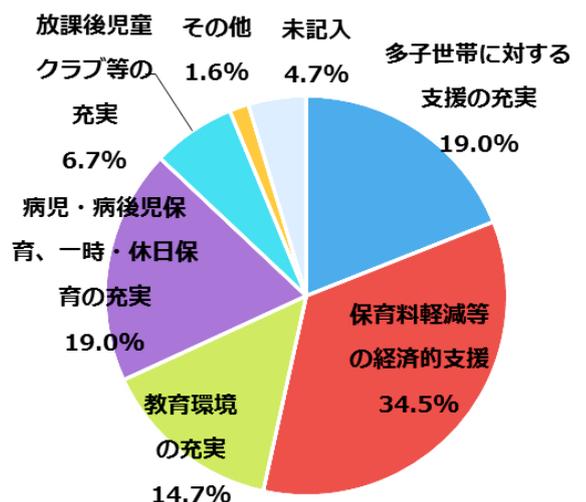


問 19 子育てしやすくするために、どのような取り組みに重点を置くべきだと思いますか。

● **最も多いのは、「経済的支援」34.5%**

・子育てをしやすくする環境整備としては、「保育料軽減等の経済的支援」(34.5%)が多く、また、「多子世帯に対する支援の充実」(19.0%)と合わせ、子育てに関する経済的負担の大きさがうかがえます。

・その他、「教育環境の充実」(14.7%)、「病児・病後児保育、一時・休日保育の充実」(19.0%)が続き、学力向上や子育てに関するサポート体制の必要性の高さがうかがえます。



(4) これまでの暮らしに対する評価と今後の重要度

問 20 「第 5 次白老町総合計画」における 5 つの基本方針に基づく取組みへの満足度

★ 5 つの基本方針のうち、満足度が生活・環境、健康・福祉及び自治の分野で前回調査を上回っています。

基本方針	満足度 () 内は前回調査値
<p>＜基本方針 1 生活・環境＞</p> <p>◆人と環境にやさしい 安全で快適に暮らせるまち</p> <p>自然と人が共生できるよう、環境保全や循環型社会の形成に配慮し、町民の快適な暮らしを支える生活環境の向上に取り組みます。また、災害などから町民の生命と財産を守り、誰もが安全で安心して暮らすことができる、やさしさのある住み良いまちづくりを進めます。</p>	56.2% (55.7%)
<p>＜基本方針 2 健康・福祉＞</p> <p>◆支えあい みんなが健やかに安心して暮らせるまち</p> <p>自らが積極的に行う健康づくりを推進するとともに、安心して子どもを産み育て、誰もが生涯を通して住み慣れた地域でいきいきと健やかに生活することができるよう、町民と行政が連携し、みんなで支えあう心の通ったまちづくりを進めます。</p>	55.3% (54.2%)
<p>＜基本方針 3 教育・生涯学習＞</p> <p>◆生きる力を育み 生きがいを実感できるまち</p> <p>家庭、学校、地域の連携を深め、次代を担う子どもたちが、確かな学力と体力、豊かな人間性を育むことができる教育環境の整備を進めます。また、アイヌ文化の伝承・保存、普及をはじめ、歴史や文化を大切に受け継ぐとともに、年齢にかかわらず誰もが生涯にわたって、生きがいを持って心豊かに暮らすことができるまちづくりを進めます。</p>	53.6% (53.7%)
<p>＜基本方針 4 産業＞</p> <p>◆地域資源を活かした 個性あふれる産業のまち</p> <p>厚みのある産業構造と豊富な地域資源を有効に活かしつつ、地域産業の経営基盤の強化を促進します。あわせて、「食材王国しらおい」の推進による地場産業の連携や企業誘致による新事業の創出など、バランスのとれた産業の振興を図り、新たな雇用が生まれる、個性あふれるまちづくりを進めます。</p>	48.9% (50.0%)
<p>＜基本方針 5 自治＞</p> <p>◆人と人との理解と信頼による協働のまち</p> <p>自治基本条例に基づき、自主的な町民活動や町政参画を促進します。また、町民と行政との対話や情報共有を図りながら、効率的かつ効果的な行財政運営を推進することにより、お互いへの理解と信頼を深め、豊かで魅力あるまちの実現に向けて協働のまちづくりを進めます。</p>	51.4% (50.6%)
<p>第5次総合計画に基づくまちづくりに対する総合的な満足度</p>	51.1%

問 21 【生活・環境】分野の施策に対する「現在の満足度」と「今後の重要度」

() 内前回調査数値

施策項目	施策の目標・基本事業	現在の満足度	今後の重要度
①安全な暮らし	<p>【施策の目標】 すべての町民が、安心して日々の生活を送ることができるよう、防犯対策や交通安全の推進、各種相談・支援体制の充実に努め、安全・安心なまちづくりをめざします。</p> <p>【基本事業】 ・防犯対策の推進・交通安全の推進・平和活動の推進 ・消費生活・町民相談の充実</p>	58.3% (58.3%)	79.8% (79.4%)
②防災	<p>【施策の目標】 東日本大震災を教訓に「防災」対策に加え、被害を最小限に軽減する「減災」の視点から、常日頃より災害に対する意識を高め、「自助」「共助」「公助」の役割分担と相互の連携による地域社会が一体となった防災体制の構築を図り、誰もが安全で安心して暮らせるまちづくりを進めます。</p> <p>【基本事業】 ・総合的防災体制の確立・災害応急対策の充実 ・防災教育の推進・災害に強いまちづくり</p>	54.4% (56.8%)	85.8% (85.6%)
③治水・海岸保全	<p>【施策の目標】 高波や高潮、越波などの海岸被害、河川の氾濫や洪水による被害から町民の生命や財産を守り、また、海岸線の侵食被害を防止し、国土を保全するため、海岸保全対策を推進するとともに、河川等の環境整備による治水対策を促進します。</p> <p>【基本事業】 ・海岸保全の推進・治水対策の推進</p>	54.0% (56.0%)	82.3% (83.4%)
④消防・救急	<p>【施策の目標】 事故や火災等から町民の生命や財産を守るため、地域ぐるみの火災予防思想の普及や防火安全対策の強化を図り、火災予防を推進します。</p> <p>また、消防・救急体制の強化や救助技術などの習得による消防職員の資質の向上、施設・設備の近代化や高度化を図り、町民が安全で安心して暮らせるまちづくりを進めます。</p> <p>【基本事業】 ・消防体制の充実・火災予防対策の充実・救急救助体制の充実 ・消防団体制の充実</p>	66.4% (66.0%)	85.1% (83.7%)
⑤環境保全	<p>【施策の目標】 豊かな自然環境を保全するとともに、温室効果ガスの排出削減に向け、環境に対する意識の普及啓発、省エネルギーやごみの減量・資源化を進め、環境への影響に配慮した循環型の地域社会づくりをめざします。</p> <p>【基本事業】 ・計画的な環境行政の推進・資源循環型社会の形成 ・自然との共生・公害の未然防止・地球温暖化対策の推進</p>	55.7% (57.7%)	77.0% (77.2%)
⑥環境美化・衛生	<p>【施策の目標】 町民、事業者、行政がそれぞれの役割を果たしながら、景観や衛生に配慮した清潔で美しいまちづくりを目指します。</p> <p>また、町民が安全、快適に暮らせるように公衆衛生の確保やモラル・マナーの向上を推進します。</p> <p>【基本事業】 ・特色ある景観の形成・環境美化の推進・生活衛生の確保 ・愛がん動物の適正飼育の推進・火葬場、墓園墓地の適正管理</p>	54.2% (54.9%)	73.9% (75.1%)
⑦公園・緑地	<p>【施策の目標】 みどり豊かな潤いある町民生活と憩いの場を保全・創出するため、公園や緑地、広場などの整備と維持管理を計画的に進めるとともに、町民による緑化活動を支援し、行政と町民などの協働により、地域と連携した花と緑の環境づくりを進めます。</p> <p>【基本事業】 ・公園・緑地の保全と整備・参加と協働による緑化の推進</p>	54.1% (55.1%)	69.6% (70.1%)

施策項目	施策の目標・基本事業	現在の満足度	今後の重要度
⑧土地利用・住環境	<p>【施策の目標】 将来にわたり持続的な地域社会を構築するため、自然との調和や人とまちのつながりに配慮した総合的・計画的な土地利用を進めます。 また、安全・安心で快適に住み続けることができるよう、社会環境や多様なニーズに応じた良質な住宅や公営住宅などの整備を推進します。</p> <p>【基本事業】 ・土地利用の推進と適正配置・安全で快適な住まいづくり ・公営住宅、町有住宅の整備・移住、定住の促進</p>	47.5% (47.5%)	72.3% (72.3%)
⑨上水道	<p>【施策の目標】 生活基盤の柱の一つである水道水の安全・安定な供給体制確保のため、水道施設の適切な維持・整備を進めるとともに、水道事業の健全経営に努め、安全でおいしい水の安定供給を図ります。</p> <p>【基本事業】 ・安全で安心な水道給水の充実・利用者の信頼性の向上 ・水道事業の健全な経営</p>	68.3% (66.1%)	84.6% (83.2%)
⑩生活排水処理	<p>【施策の目標】 生活排水を適切に処理することにより、衛生的な生活環境を保持するとともに、河川や海などの水質を保全し、美しく快適な居住環境を創出します。</p> <p>【基本事業】 ・安全で快適な公共下水道の整備・し尿、生活排水処理の充実 ・下水道事業の健全な経営</p>	63.2% (61.2%)	82.6% (82.0%)
⑪道路	<p>【施策の目標】 地域産業や経済の活性化、快適で利便性の高い交通ネットワークの形成を図るとともに、災害等緊急時の迅速な避難・救助活動を支えるため、幹線道路や生活道路の整備、適切な維持管理を行い、安全で快適な道路環境づくりを進めます。</p> <p>【基本事業】 ・広域幹線道路の整備促進・町民生活を支える町道の整備 ・町道、橋りょう等の維持管理の充実</p>	49.3% (51.6%)	79.8% (79.9%)
⑫公共交通機関	<p>【施策の目標】 町民の日常生活における身近な移動手段を確保するため、関係機関との連携により、利便性の高い、魅力ある公共交通の維持・確保を促進するとともに、利用者ニーズにあった公共交通サービスの提供に努めます。</p> <p>【基本事業】 ・公共交通ネットワークの維持、確保 ・日常生活を支える移動手段の維持、確保</p>	45.1% (42.3%)	80.8% (81.1%)
⑬地域情報化	<p>【施策の目標】 情報通信の利用機会・地域間格差を改善し、豊かな町民生活の実現や地域社会の活力ある発展を図るため、情報通信基盤整備を促進するとともに、情報通信技術を活用した地域情報化や、行政の情報化によるサービスの向上に努めます。</p> <p>【基本事業】 ・情報通信基盤の整備・地域情報化の推進 ・難視聴地域の解消促進</p>	52.0% (51.5%)	69.4% (69.7%)

※参考 「満足度」と「重要度」の算出方法

各施策に対する満足度及び重要度は、それぞれ1～5の5段階評価による回答をいただきました。

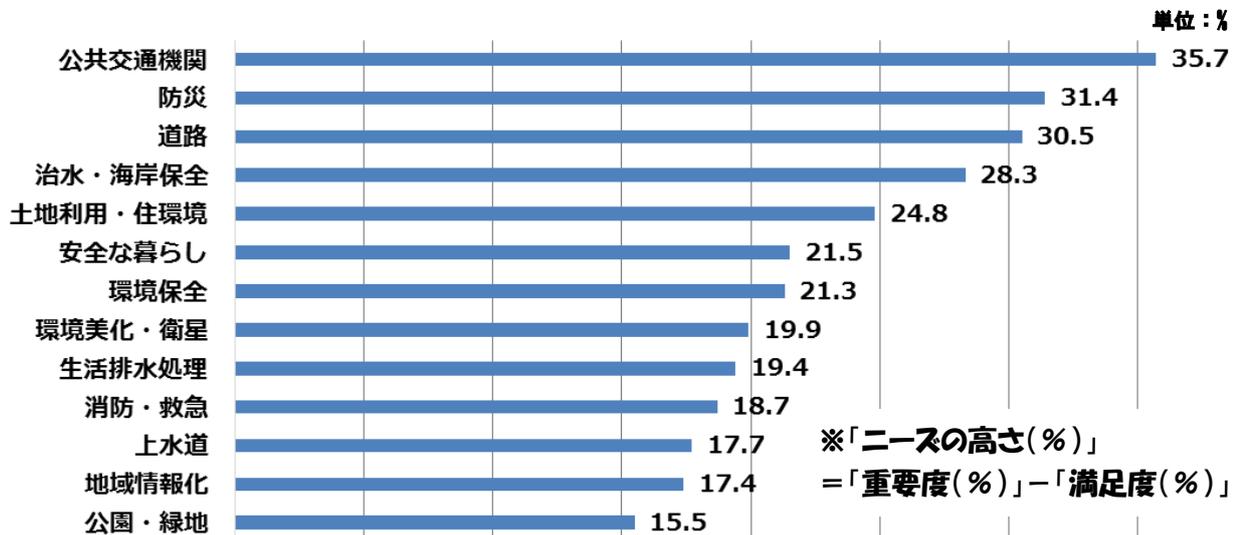
配点を「1（満足・重要）＝100%」、「2（まあ満足・まあ重要）＝75%」、「3（どちらともいえない）＝50%」、「4（少し不満・あまり重要ではない）＝25%」、「5（不満・重要ではない）＝0%」とし、算術平均により、「満足度（%）」と「重要度（%）」を算出しています。

《計算式》（「1」回答者数×100%＋「2」回答者数×75%＋「3」回答者数×50%＋「4」回答者数×25%＋「5」回答者数×0%）÷全回答者数

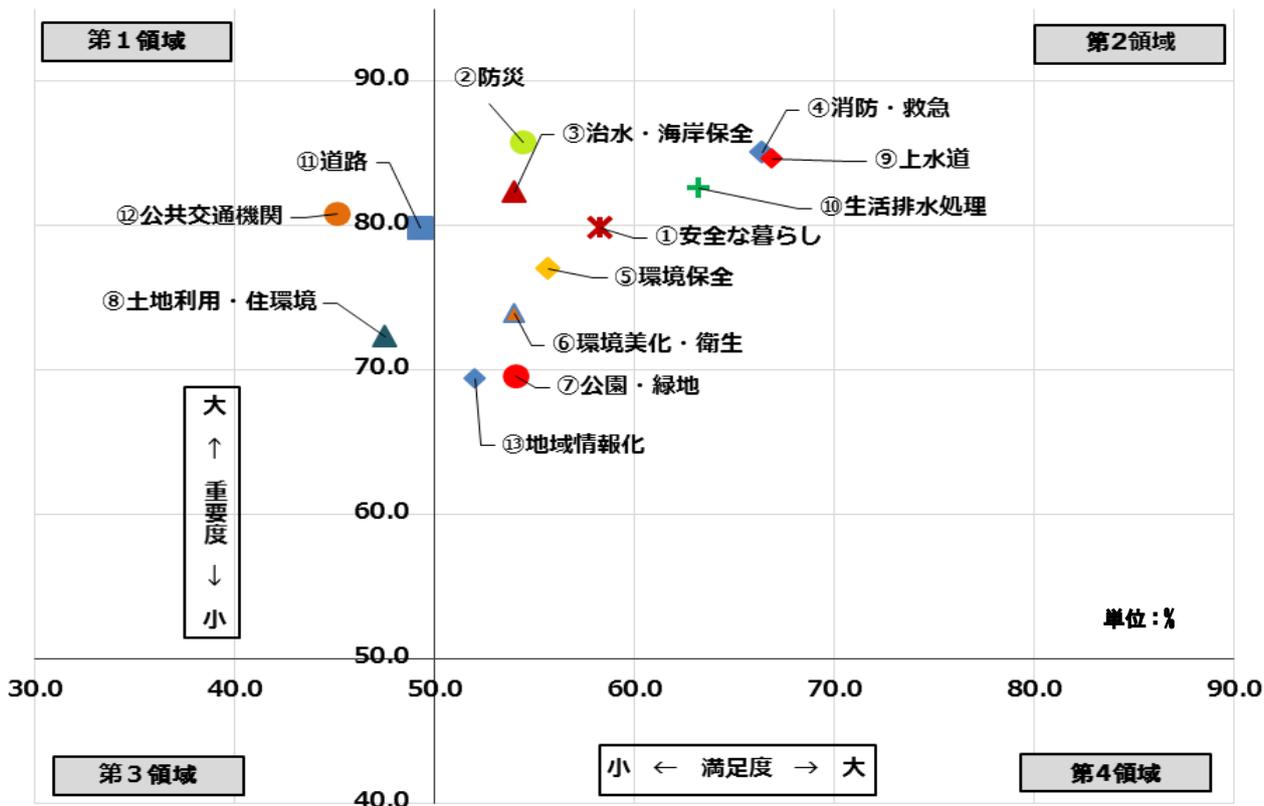
【生活・環境】分野の施策に対するニーズの高さ

★【生活・環境】分野において、最もニーズが高いのは「公共交通機関」となり、次いで「防災」「道路」となりました。

★第1領域（今後特に力を入れるべき施策）は、「公共交通機関」、「土地利用・住環境」及び「道路」の3施策となっており、特に「公共交通機関」について、その充実が求められていることがうかがえます。



「生活・環境」分野の満足度・重要度分布図

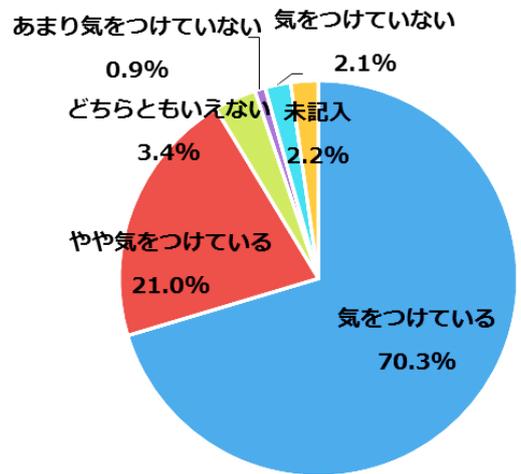


※ 各領域の説明

- | | | |
|--------|-------------------------------------|------------------|
| 【第1領域】 | 「満足度」が低い (50%未満) ・ 「重要度」が高い (50%以上) | ⇒ 今後、特に力を入れるべき施策 |
| 【第2領域】 | 「満足度」が高い (50%以上) ・ 「重要度」が高い (50%以上) | ⇒ 継続して取り組む施策 |
| 【第3領域】 | 「満足度」が低い (50%未満) ・ 「重要度」が低い (50%未満) | ⇒ 改善を要する施策 |
| 【第4領域】 | 「満足度」が高い (50%以上) ・ 「重要度」が低い (50%未満) | ⇒ 見直しを検討すべき施策 |

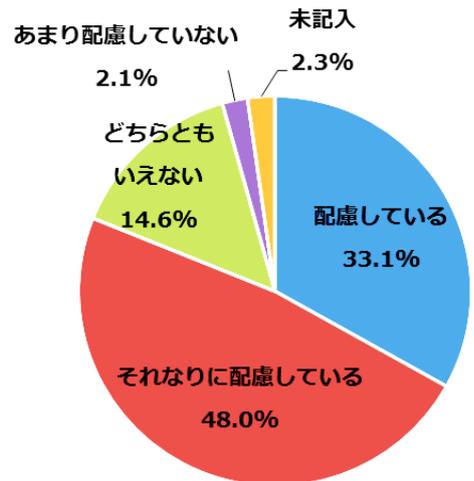
問 22 悪質な訪問販売や架空請求などの消費者被害に遭わないように気をつけていますか。

- 「気をつけている」と答えた割合は 91.3%
 - ・「気をつけている」、「どちらかという気をつけている」と回答した人は、91.3%となり、町民の消費者被害に対する関心の高さがうかがえます。



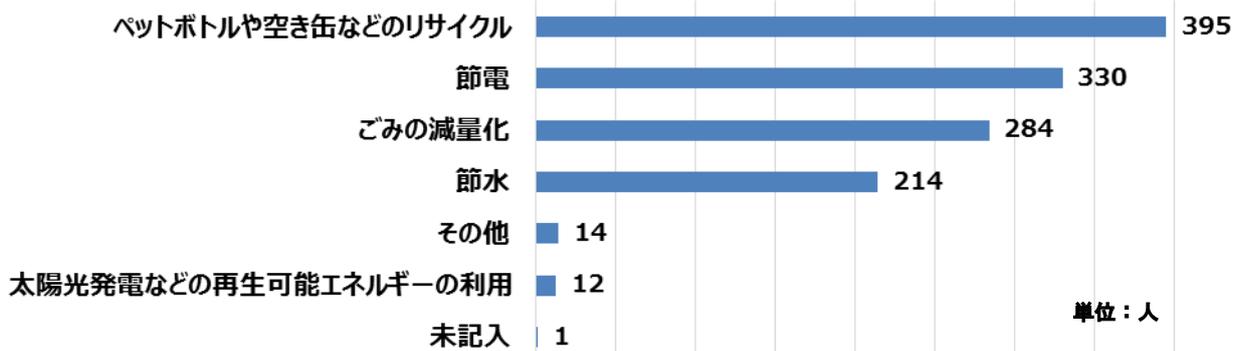
問 23 省エネルギーやゴミの減量・資源化など環境に配慮して生活していますか。

- 「配慮している」と答えた割合は 81.1%
 - ・「環境に配慮して生活している」、「どちらかといえば環境に配慮して生活している」と回答した人は、81.1%となり、町民の環境保全に対する関心の高さがうかがえます。



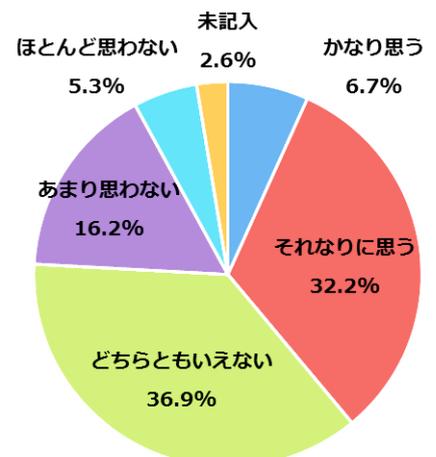
問 23-2 「環境に配慮して生活している」、「どちらかといえば環境に配慮して生活している」と答えた方にお聞きします。具体的にどのような取組みをしていますか。

- 「ペットボトルや空き缶などのリサイクル」が最多
 - ・各家庭において、リサイクルやゴミの減量などゴミに関する取組み意識が高いことがうかがえます。



問 24 白老町の街並みは自然と調和し、良好な景観が保たれていると思いますか。

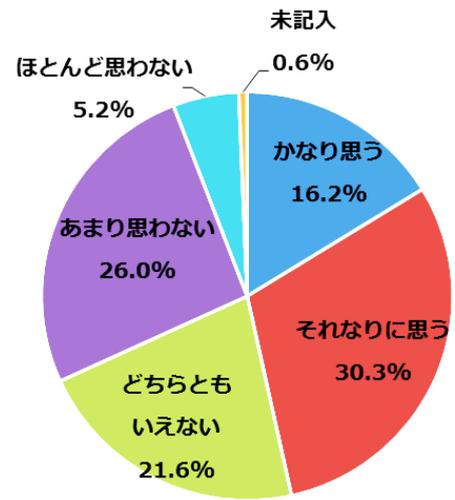
- 「景観が保たれている」と答えた割合は 38.9%
 - ・「良好な景観が保たれていると思う」、「どちらかといえば良好な景観が保たれていると思う」と回答した人が 38.9%と半数に満たないことから、今後、より一層、自然と調和のとれた良好な景観づくりが求められます。



問 25 白老町は子供たちが遊べるような公園や、自然と触れ合える公園（緑地）が充実していると思いますか。

●「充実している」と答えた割合は 46.5%

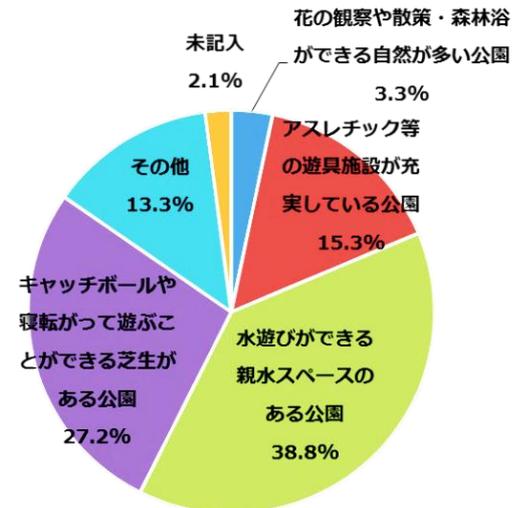
・子育ての環境づくりの一つである公園（緑地）について、「充実している」と回答した人が、46.5%と半数に満たないことから、今後、より一層、整備の充実が求められます。



問 25-2 「どちらかといえば充実しているとは思わない」、「充実していると思わない」と答えた方にお聞きします。どのような公園や緑地の整備を望みますか。

●「水遊びができる親水スペースのある公園」が最多

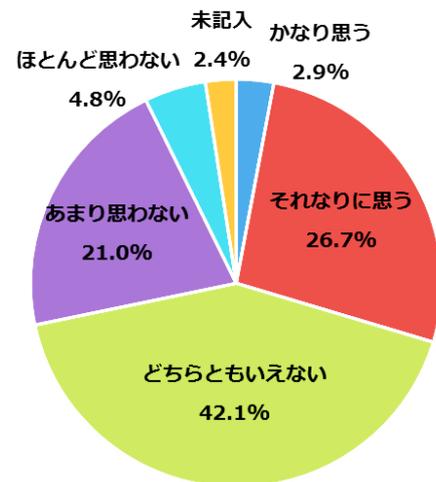
・最もニーズが高いのは、「水遊びができる親水スペースのある公園」であり、次いで「キャッチボールや寝転がって遊ぶことができる芝生がある公園」となりました。



問 26 白老町は快適な住環境が整備されていると思いますか。

●「整備されている」と答えた割合は 29.6%

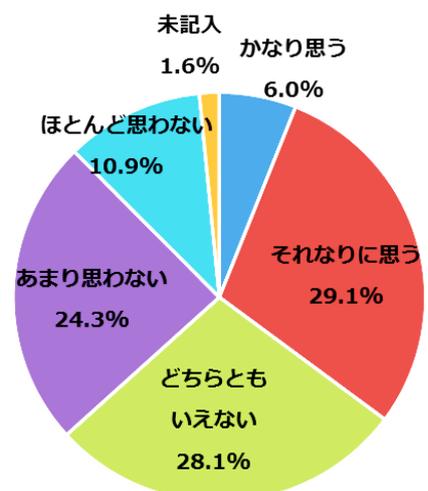
・「整備されていると思う」、「どちらかといえば整備されていると思う」と回答した人が 29.6%と少ないことから、更なる住環境の整備促進が求められます。



問 27 白老町は車・自転車・徒歩で移動しやすい道路整備がされていると思いますか。

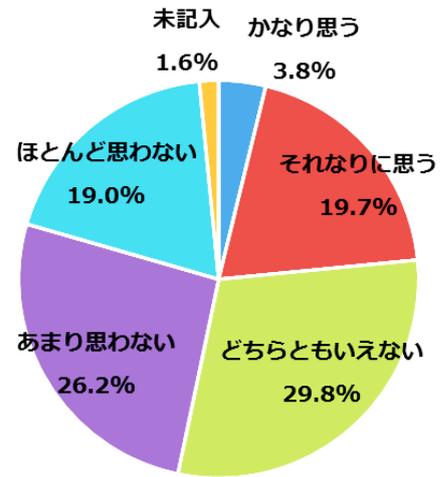
●「整備されている」「整備されていない」が均衡

・「整備されている」と回答した人は 35.1%、「整備されていない」と回答した人が 35.2%と均衡しており、今後一層の整備促進に向けた取組みが必要となります。



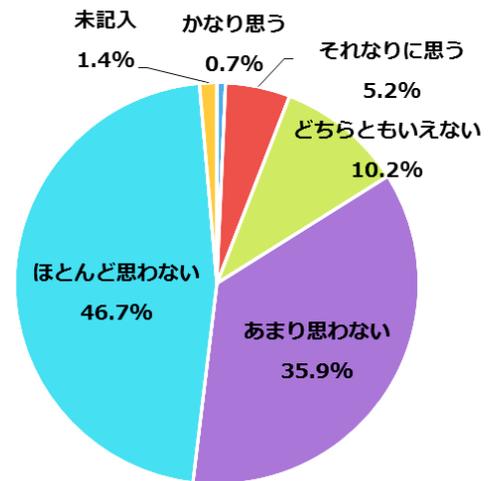
問 28 白老町は買い物や通院などの日常生活に必要な公共交通機関が確保されていると思いますか。

- 「確保されていない」と答えた割合が 45.2%
 - ・ 「確保されていない」と回答した人が、「確保されている」と回答した人を大きく上回ることから、公共交通機関のニーズの高さがうかがえます。



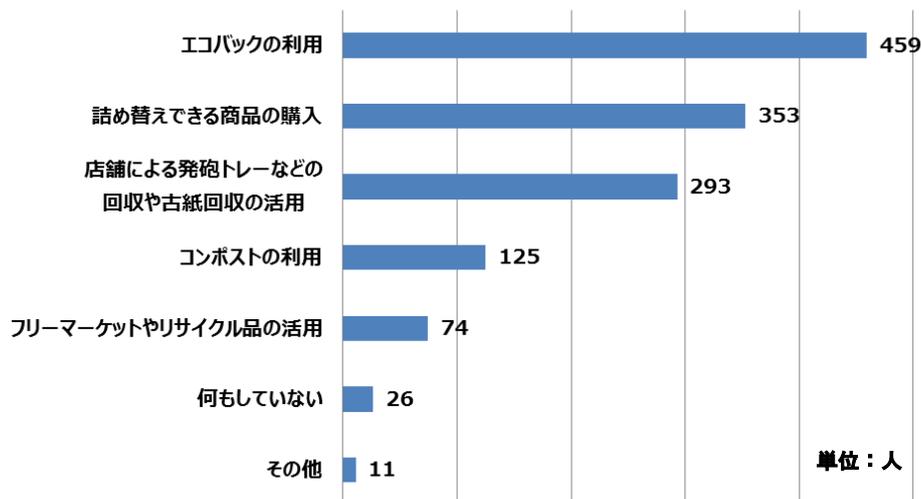
問 29 白老町は自家用車に頼らずに生活できる環境だと思いますか。

- 「自家用車に頼らずに生活できない」が 8 割以上
 - ・ 「自家用車に頼らずに生活できる」と回答した人が、わずか 5.9%にとどまり、8 割以上の人々が「自家用車に頼らずに生活できない」と回答したことから、自家用車に対する依存度の高さがうかがえます。



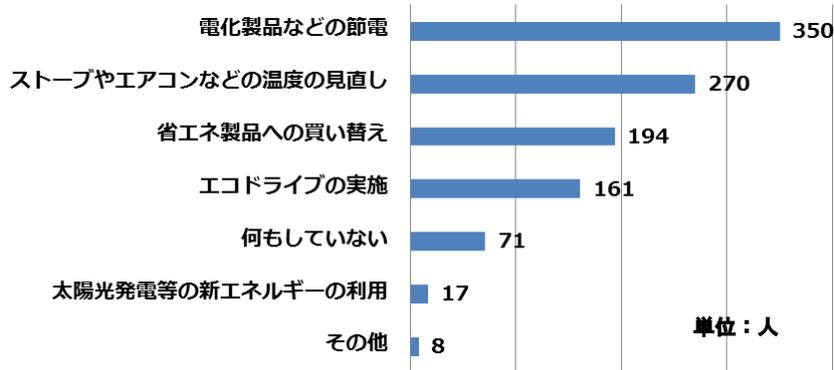
問 30 ゴミを減らすために実施していることはありますか。

- 「エコバックの利用」が最多
 - ・ 前回と同様に、ごみの減量化について、「エコバックの利用」、「詰め替えできる商品の購入」、「店舗による発泡トレーなどの回収や古紙回収の活用」が上位を占め、リサイクルに対する意識の高さがうかがえます。



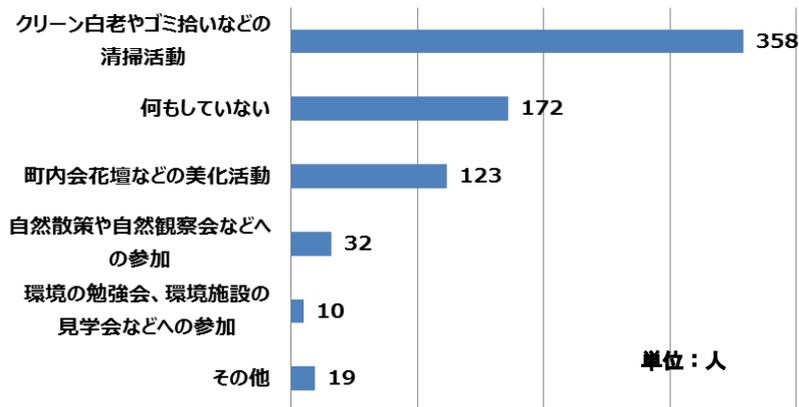
問 31 地球温暖化防止のために、実施していることはありますか（複数回答可）。

- 「電化製品などの節電」が最も多い、次いで、「空調設備の温度設定の見直し」の順
- ・各家庭等において、節電意識の高まりがうかがえます。また、エコドライブを実践しているという回答も多くありました。



問 32 環境保護のために、実施していることはありますか（複数回答可）。

- 「クリーン白老やゴミ拾いなどの清掃活動」が最多
- ・環境保護に関しては、「クリーン白老やゴミ拾い等の清掃活動」が最も多く、「町内会花壇などの美化活動」と合わせ、町内会等による活動が活発に行われている様子がうかがえます。
- ・一方で、「何もしていない」が全体のおよそ4分の1を占めることから、啓発活動の必要性もうかがえます。

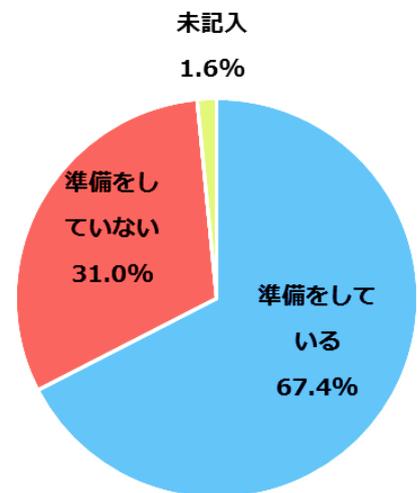


問 33 災害や緊急時に備えた準備をしていますか。

- 「準備をしている」と答えた割合は 67.4%

(前回より 7.5 ポイント増)

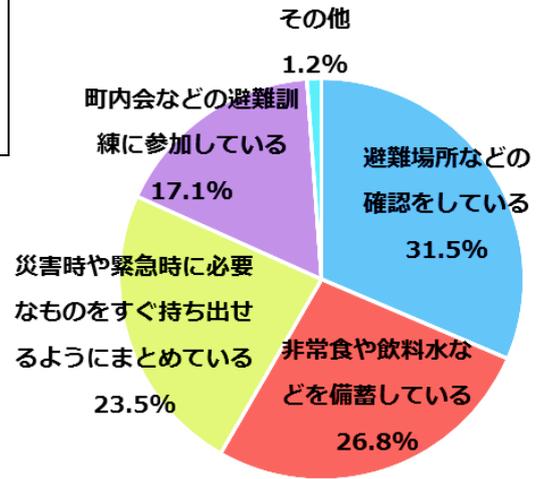
- ・災害や緊急時に備えた何らかの準備をしている人は、前回に比べ、7.5%増の 67.4%であることから、近年の災害の大規模化により、防災意識が一段と高まりつつあります。
- ・3割の方は、「準備をしていない」と回答していることから、継続的に啓発していく必要があります。



**問 33-2 「準備をしている」と答えた方にお聞き
します。具体的にどのような準備をしていますか
(複数選択可)。**

●「避難場所の確認」が最多

・災害時等への準備としては、「避難場所などの確認をしている」が最も多く、「災害時や緊急時に必要なものをすぐ持ち出せるようにまとめている」、「非常食や飲料水などを備蓄している」の2項目は均衡しており、複数の準備をされていることがうかがえます。

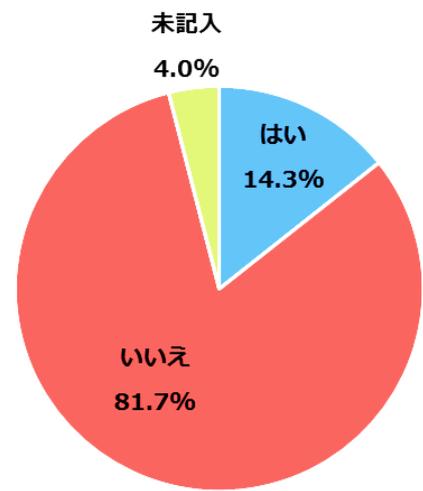


**問 34 災害時に必要な1人3日間の食糧は、何
どのくらい必要か知っていますか。**

●「いいえ」と答えた割合は81.7%

(前回より 4.1 ポイント減)

・災害時に必要な食料の種類や量については、81.7%の方が「知らない」と回答していることから、今後において、啓発活動の更なる強化が必要となります。

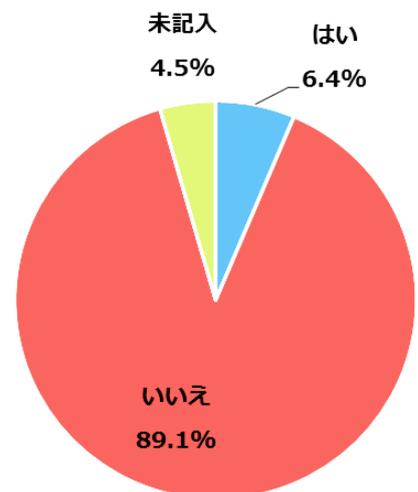


**問 35 避難生活が長期化した場合、体調を崩さな
いような食事の摂り方を知っていますか。**

●「知らない」割合は89.1%

(前回より 1.7 ポイント減)

・被災等による避難生活を強いられたときの食事の摂り方についての知識の有無の設問ですが、89.1%の方が「知らない」と回答していることから、啓発活動の更なる強化が求められます。



問 36 【健康・福祉】分野の施策に対する「現在の満足度」と「今後の重要度」

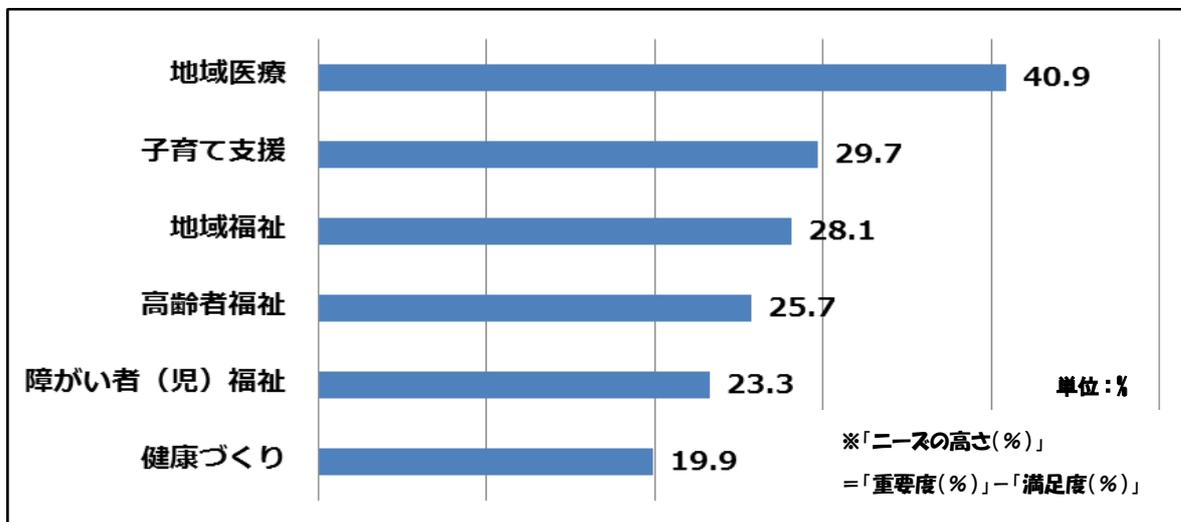
() 内前回調査数値

施策項目	施策の目標・基本事業	現在の満足度	今後の重要度
①健康づくり	<p>【施策の目標】 町民が生涯にわたり生き生きと健康的な生活が送れるよう、ライフステージや個々の状態に応じた、きめ細かな保健サービスの充実を図ります。 また、自分の健康状態に意識や関心を持ってもらうため、主体的な健康づくり活動を普及啓発することで一次予防対策を促進するとともに、特定健康診査や各種検診の受診促進による疾病の早期発見、早期治療という二次予防に取り組み、心身ともに健やかな暮らしの支援を推進していきます。</p> <p>【基本事業】 ・保健・医療・福祉のネットワーク化・保健サービスの充実 ・自主的な健康づくりの推進・健康保険制度等の推進</p>	61.3% (62.0%)	81.2% (82.5%)
②地域医療	<p>【施策の目標】 町民の健康を支え、地域で安心して暮らせるよう、町内の中核的病院である町立病院の機能強化と経営の安定化を図ります。 また、町内外の医療機関との連携により、望まれる地域医療の確保・維持及び救急医療体制の整備に努めるなど、安全・安心で適切な医療サービスを受けられる環境づくりを進めます。</p> <p>【基本事業】 ・安定した地域医療の確保・救急医療体制の充実</p>	44.7% (44.4%)	85.6% (85.8%)
③地域福祉	<p>【施策の目標】 すべての町民が住み慣れた地域で、健康で文化的な生活を安心して送ることができるよう、高齢者や障がい者などへの理解と認識を深めるとともに、各機関が適切に役割を果たしながら連携を強化し、地域ぐるみで支えあふ福祉体制の整備、充実をめざします。</p> <p>【基本事業】 ・地域福祉体制の充実・福祉拠点・施設の充実 ・バリアフリーのまちづくり・生活の安定と自立援助</p>	53.6% (54.1%)	81.7% (79.9%)
④子育て支援	<p>【施策の目標】 家庭での子育ての大切さや地域ぐるみで子育てを支援する意識を啓発し、ゆとりある子育て環境のもと、すべての子どもたちが幸せに育ち、安心して子どもを生き育てられる地域の実現を計画的に推進します。</p> <p>【基本事業】 ・結婚希望の実現・母子保健対策の充実 ・子育て支援環境の整備・保育の充実 ・ひとり親家庭支援の推進</p>	52.0% (53.0%)	81.7% (81.3%)
⑤障がい者(児)福祉	<p>【施策の目標】 障がいの有無にかかわらず、誰もが地域の構成員として尊重され、互いに助け合うことにより、住み慣れた地域の中で自立し、生きがいを持ちながら安心して生活できるまちづくりをめざします。</p> <p>【基本事業】 ・障がい者理解の促進・障がい者の自立支援の促進 ・障がい者の社会参加の促進・安全、安心な地域生活の充実 ・障がい児の相談、支援の充実</p>	56.3% (56.3%)	79.6% (78.8%)
⑥高齢者福祉	<p>【施策の目標】 高齢者が生涯にわたり、安心して住み慣れた地域でいきいきとした生活を送れるよう、各種福祉サービスを充実するとともに、地域で支えあふネットワークづくりや、自主的な社会参加による生きがいづくりを推進します。</p> <p>【基本事業】 ・高齢者支援対策の推進・高齢者の生きがいづくりの推進 ・高齢者医療制度の推進・介護保険制度の推進</p>	56.8% (55.4%)	82.5% (82.2%)

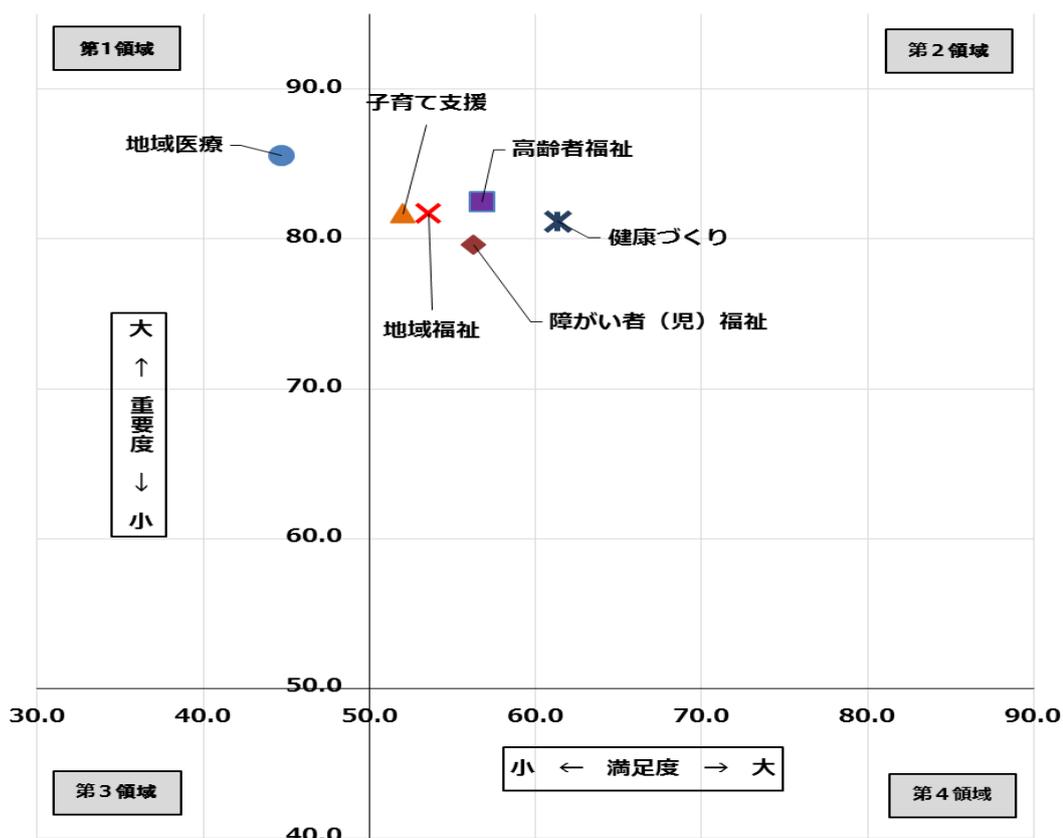
【健康・福祉】分野の施策に対するニーズの高さ

★地域医療のニーズが非常に高く（40.9%）、5つの分野全ての施策の中でトップとなりました。

★第1領域（今後特に力を入れるべき施策）に入っているのは、地域医療となっています。



「健康・福祉」分野の満足度・重要度分布図

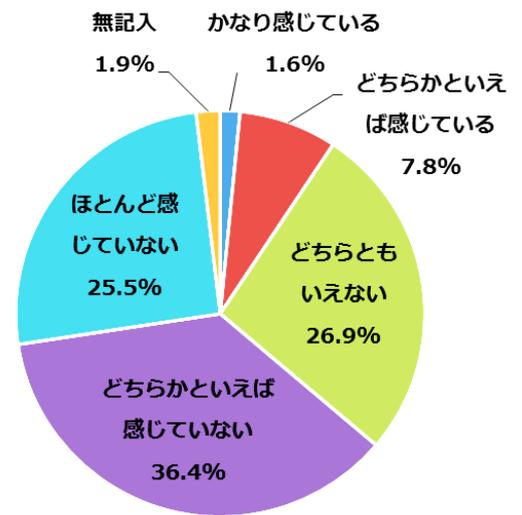


※ 各領域の説明

- | | | |
|--------|---------------------------------|------------------|
| 【第1領域】 | 「満足度」が低い（50%未満）・「重要度」が高い（50%以上） | ⇒ 今後、特に力を入れるべき施策 |
| 【第2領域】 | 「満足度」が高い（50%以上）・「重要度」が高い（50%以上） | ⇒ 継続して取り組む施策 |
| 【第3領域】 | 「満足度」が低い（50%未満）・「重要度」が低い（50%未満） | ⇒ 改善を要する施策 |
| 【第4領域】 | 「満足度」が高い（50%以上）・「重要度」が低い（50%未満） | ⇒ 見直しを検討すべき施策 |

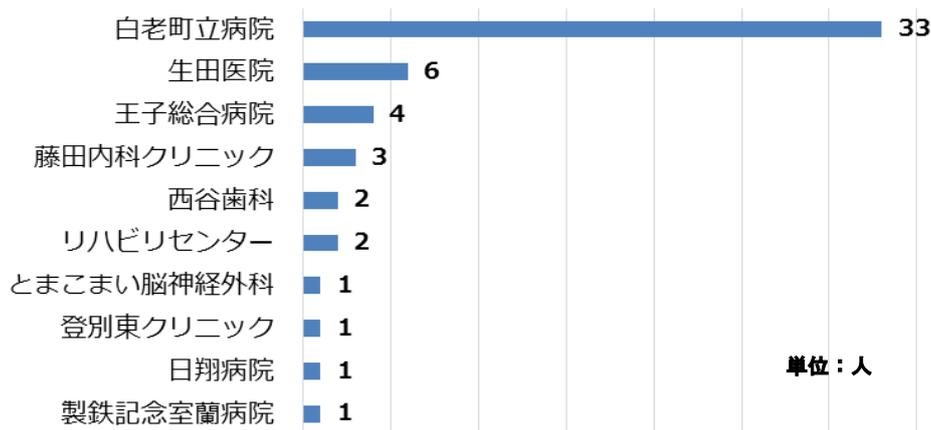
問 37 あなたは、白老町に住んでいて安心して医療を受けることができると感じていますか。

- 「感じている」は9.4%（前回より**5.8ポイント減**）
 - ・白老町で安心して医療を受けることができると「感じている」割合は、前回より5.8ポイント減の9.4%、一方、「感じていない」は57.0%から4%増の61.9%となりました。



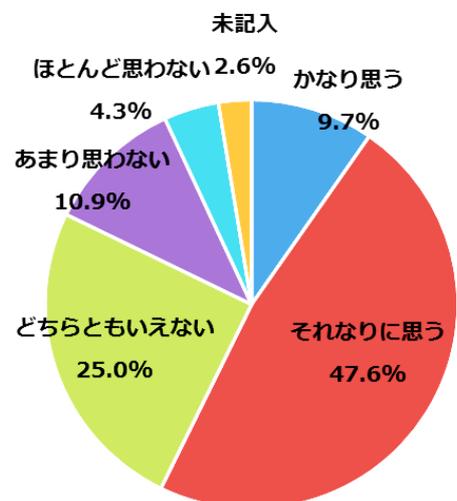
問 37-2 「かなり感じている」、「どちらかといえば感じている」と答えた方にお聞きします。具体的に利用されている病院名をお答えください。

- 「町立病院」が最多
 - ・前問で、安心して医療を受けることができると回答した人の多くが、町立病院を受診しています。一方で、およそ15%の方が町外の病院を利用していることがうかがえます。



問 38 自分がいきいきと生活しているという健康感がありますか。

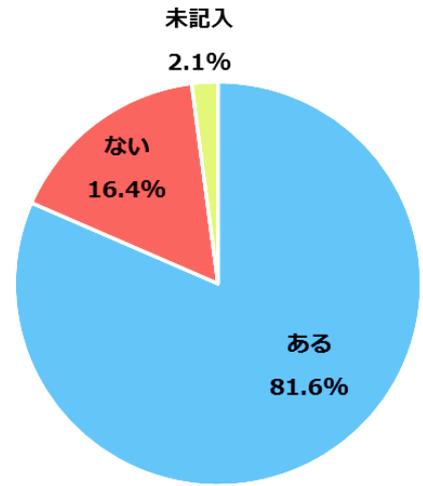
- 57.3%は「いきいきと生活している健康感がある」（前回より**2.4ポイント増**）
 - ・半数以上が、「いきいきと生活している健康感がある」と回答しており、多くの方が、健康的な生活を送っていることがうかがえます。



問 39 健康のために行っていること、または気をつけていることがありますか。

● 「ある」と回答した人が 81.6%（前回より 2.1 ポイント増）

・前項で半数以上の方が、「いきいきと生活している健康感がある」と回答したことを裏付けるように 81.6%の方が「健康のために行っていること、または気をつけていることがある」と回答しており、健康意識の高まりがうかがえます。



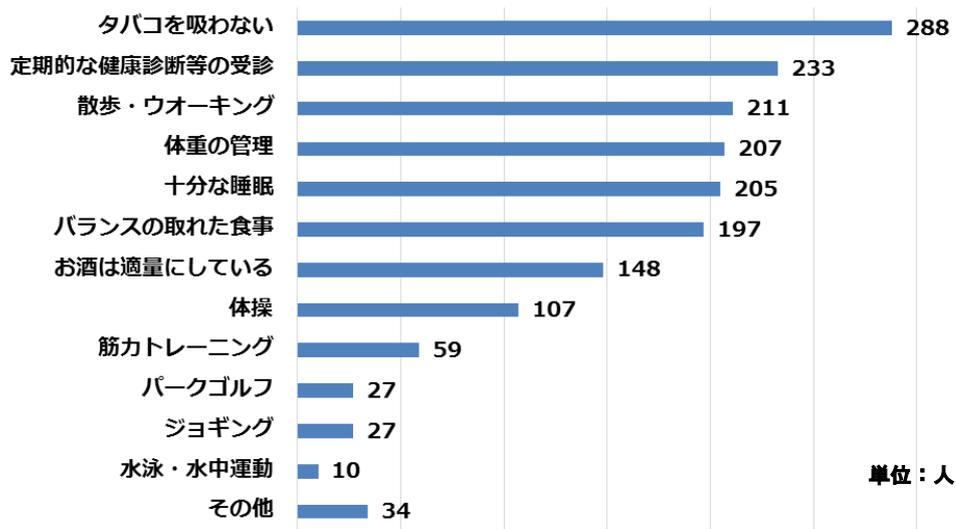
問 39-2 「健康のために行っていること、気をつけていることがある」と答えた方にお聞きします。具体的にどのようなことを行って（気をつけて）いますか(複数選択可)。

● 「たばこを吸わないこと」が最も多い

● 「健康診断の受診」（予防医療）が上位に

● 散歩、食事、睡眠など日常生活の心がけが多い

・「お酒は適量にしている」と嗜好品を調整する回答や、体操や筋トレのほか、その他の回答としては、ゴルフやテニスなど運動をしているという回答が多くみられました。



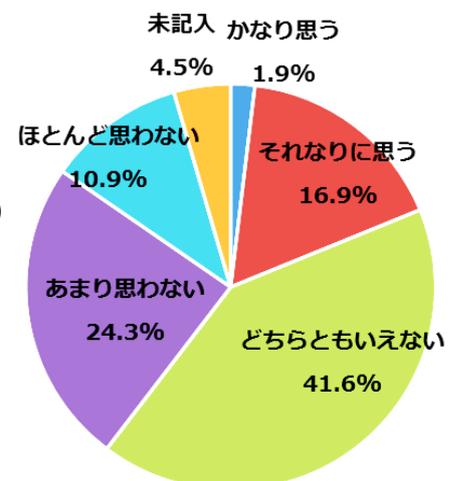
問 40 白老町は子どもを生き育てやすい環境にあると思いますか。

● 「あると思う」割合は 18.8%（前回より 2.5 ポイント減）

● 「どちらともいえない」は 41.6%（前回より 1.9 ポイント増）

● 「あると思わない」は 35.2%（前回より 3.7 ポイント増）

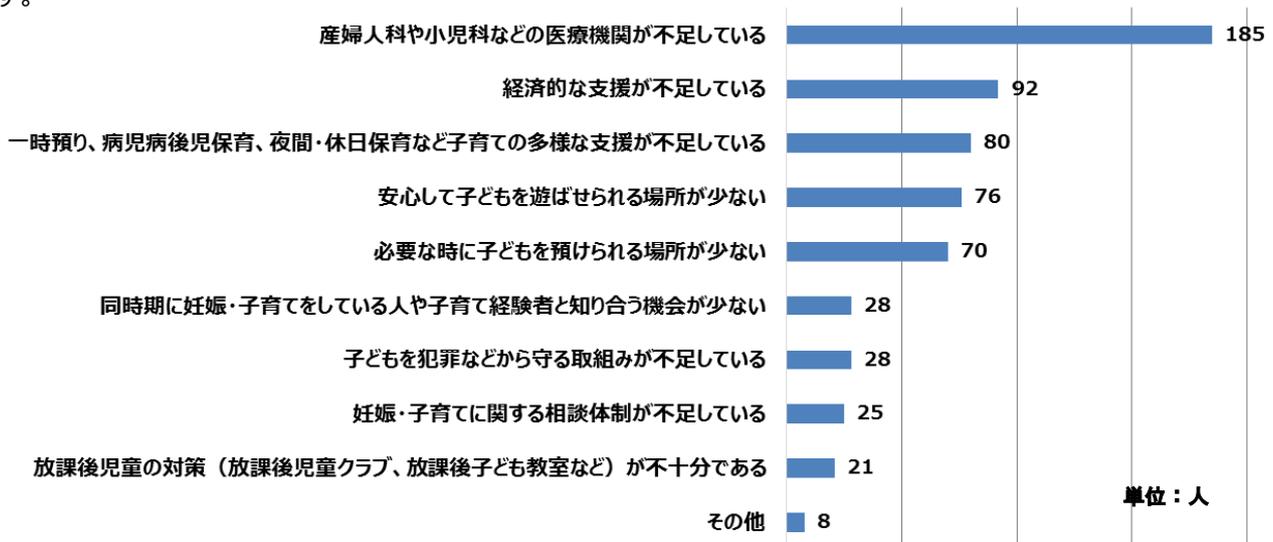
・「子どもを生き育てやすい環境にある」と答えた割合が、前回より減少しており、一方、「ない」と回答した割合が増加していることから、子育て環境整備の一層の充実に努めていく必要があります。



問 40-2 「どちらかといえばあるとは思わない」、「あるとは思わない」と答えた方にお聞きします。その理由は何ですか（複数選択可）。

- 「医療機関の不足」が突出
- 「経済的支援」を望む声も
- 「一時預かり等サービス」を希望

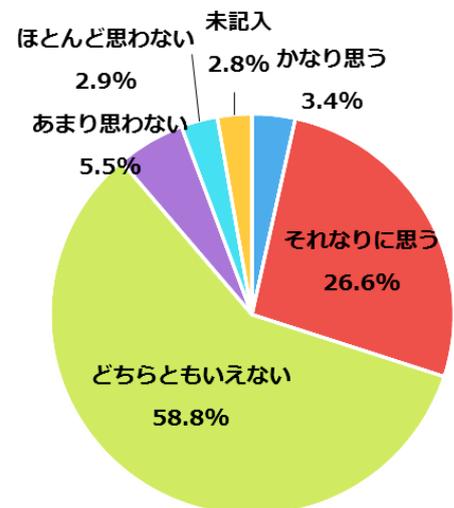
・産婦人科や小児科など町内に不足する医療機関を指摘する回答が最も多く、その他、「経済的支援」や「一時預かり」等を含めて、物心両面にわたる子育て支援環境の充実を求める回答が多い傾向にあります。



問 41 白老町は地域の支えあいなどにより、高齢者や障がい者が安心して暮らせる環境（生活支援のサービス等）にあると思いますか。

- 「安心して暮らせる」と思う割合は 30.0%

・「安心して暮らせる」と思う割合は 30.0%とまだまだ低い状況にあることから、今後もより一層、地域との連携を密にしながら生活支援サービスの充実を図っていく必要があります。



問 41-2 「どちらかといえば安心して暮らせる環境にあるとは思わない」、「安心して暮らせる環境にあるとは思わない」と答えた方にお聞きします。その理由は何ですか。また、現在あるサービスのほかに望むものがあればお書きください。

- 満足していない理由で多かったもの

① 「地域医療の不足」 ② 「買い物、通院等への不安」 ③ 「障がい者に対する偏見」

- 望むサービスにあげられたものは「送迎サービス」

・「満足していない」理由に「交通不便」、「望むサービス」についても「送迎サービス」との回答から、移動困難者の増加とその対策の必要性がうかがえます。

問 42 【教育・生涯学習】分野の施策に対する「現在の満足度」と「今後の重要度」

() 内前回調査数値

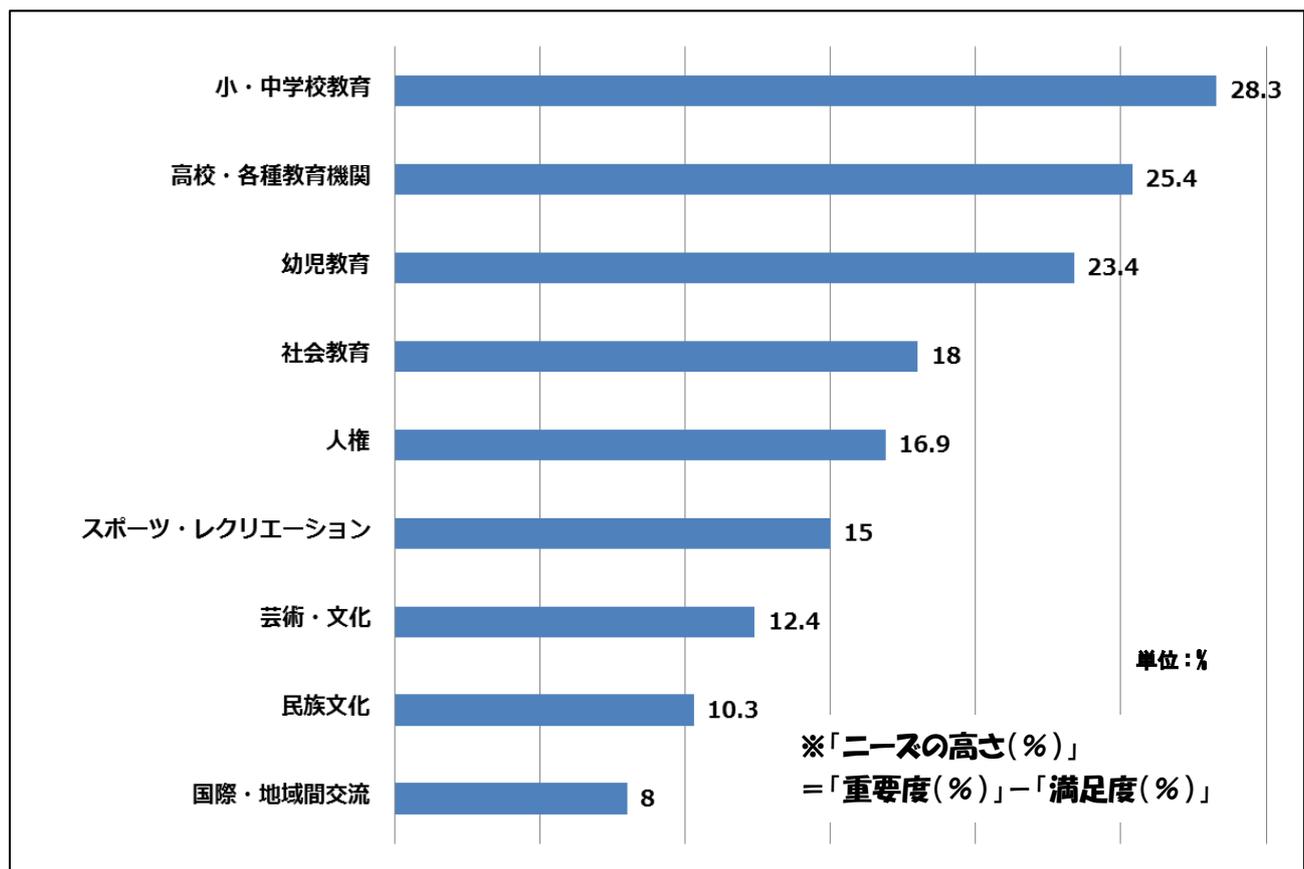
施策項目	施策の目標・基本事業	現在の満足度	今後の重要度
① 幼児教育	<p>【施策の目標】 基本的な生活習慣や生きる力、思いやりの心、生涯にわたる人間形成の基礎を培う幼稚園教育の充実を図るとともに、子どもが健やかに成長し安心して子育てができる環境の充実を促進します。</p> <p>【基本事業】 ・就園の支援 ・教育環境の充実</p>	56.3% (56.8%)	79.7% (78.1%)
② 小・中学校教育	<p>【施策の目標】 地域の特性や学校の創意工夫を活かしながら、確かな学力、豊かな人間性と感性、心身の健やかな育成など、子どもたちの生きる力を育む教育を推進するとともに、地域文化への理解と国際感覚豊かな人材の育成を行います。 また、学校施設の適切な整備を推進するとともに、学校と家庭、地域との相互交流と連携により、子どもたちが安心していきいきと学ぶことができる教育環境づくりを進めます。</p> <p>【基本事業】 ・確かな学力の育成 ・特色ある教育活動の充実 ・教師の指導力の充実 ・学校施設設備等の充実 ・教育環境の整備 ・特別支援教育の充実 ・学校・家庭・地域の連携の促進 ・安全安心な学校給食の提供</p>	53.6% (56.2%)	81.9% (80.4%)
③ 高校・各種教育機関	<p>【施策の目標】 生徒一人ひとりの個性や能力・適正に応じた、多様で特色ある教育を進めるとともに、高等学校等への進学機会の確保と教育環境の充実を促進します。 また、地域の知的拠点である高等教育機関の地域に開かれた生涯学習機能の充実を促進します。</p> <p>【基本事業】 ・教育の充実と教育機会の拡充 ・高等教育機関との連携強化</p>	53.1% (53.9%)	78.5% (77.6%)
④ 社会教育	<p>【施策の目標】 町民誰もが生涯にわたり、楽しさ、喜びを実感し、いつでもどこでも学習でき、いきいきと文化的な生活が送れるよう、それぞれの年代やニーズに応じた学習機会の提供や環境の整備を図るとともに、青少年の健全育成等、「人づくり」に寄与する、町民主体による社会教育活動の活性化を図ります。</p> <p>【基本事業】 ・学習機会、学習環境の充実 ・家庭教育、地域教育の推進 ・ふるさと教育、体験学習の推進 ・社会教育施設の管理運営の充実</p>	53.4% (54.1%)	71.4% (71.5%)
⑤ 芸術・文化	<p>【施策の目標】 町民が豊かな心を持って潤いある生活を送るため、町民の芸術・文化に触れる機会の充実や自主活動を促進します。 また、町の貴重な文化遺産を後世に継承するため、史跡・文化財の保全と活用を進めます。</p> <p>【基本事業】 ・芸術、文化活動の推進・文化財の保全、活用 ・歴史と文化のまちの推進</p>	57.1% (56.8%)	69.5% (69.8%)
⑥ 民族文化	<p>【施策の目標】 2020年の「民族共生の象徴となる空間」の開設を機に、世界に拓かれたまちを目指して、民族や文化等の多様性を理解し、尊重する環境づくりを進めます。 また、独自の自然観を併せ持ったアイヌ文化を次世代へ継承するため、国内外各層への幅広い普及啓発とともにアイヌ語、古式舞踊、伝統的工芸技術などアイヌ文化の保存・伝承に努めます。</p> <p>【基本事業】 ・アイヌ文化の普及促進、保存伝承・アイヌ民族博物館の充実 ・民族共生の象徴となる空間の整備促進</p>	60.2% (60.3%)	70.5% (71.7%)

施策項目	施策の目標・基本事業	現在の満足度	今後の重要度
⑦スポーツ・レクリエーション	<p>【施策の目標】 町民が生涯にわたって運動に親しみ、健康で生き生きとした生活を送ることができるよう、年齢や体力などに応じた多様なスポーツ・レクリエーション機会の提供を図るとともに、スポーツ施設の安全性・利便性を高め、「誰でも」「どこでも」「気軽に」運動に親しむことのできる環境づくりを進めます。</p> <p>【基本事業】 ・スポーツ・レクリエーション活動の充実 ・スポーツ・レクリエーション施設の整備</p>	56.0% (54.6%)	71.0% (69.8%)
⑧国際・地域間交流	<p>【施策の目標】 姉妹都市との親善を深めるとともに、町民の社会性・文化性を育み、国際感覚豊かな魅力ある人材を育成するため、国内外の姉妹都市との交流を推進します。</p> <p>【基本事業】 ・国内交流の推進 ・国際交流の推進</p>	54.8% (54.6%)	62.8% (63.7%)
⑨人権	<p>【施策の目標】 町民一人ひとりの人権が尊重され、互いに認め合い、あらゆる差別のない、誰もが幸せに暮らすことができる地域社会の実現をめざし、様々な機会を通じて人権に対する正しい理解を深めるよう、学習機会や啓発活動を進め、人権に関する相談や支援体制の整備を推進します。</p> <p>【基本事業】 ・人権擁護活動の促進・男女共同参画の推進</p>	55.1% (54.5%)	72.0% (71.9%)

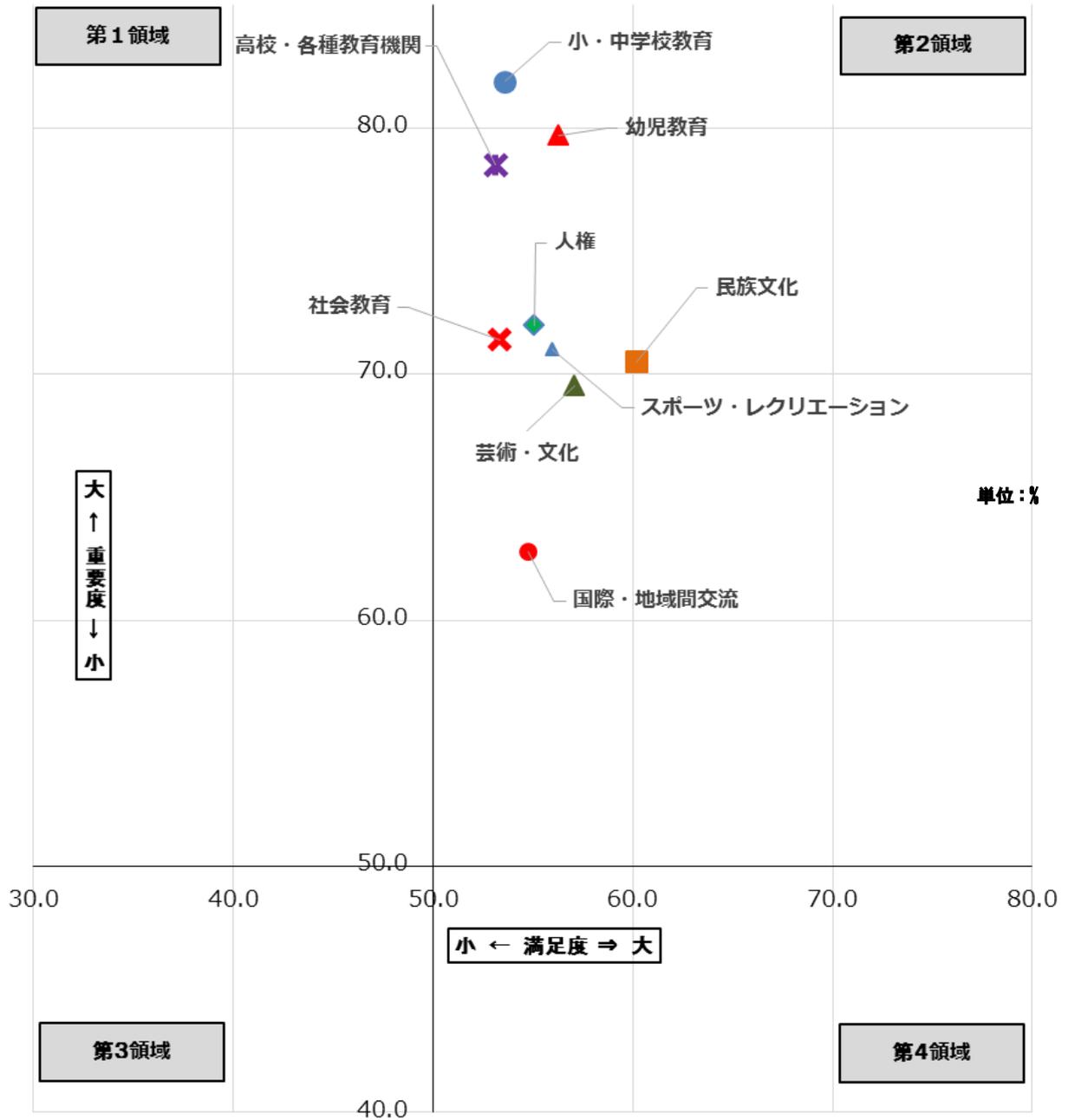
【教育・生涯学習】分野の施策に対するニーズの高さ

★小・中学校教育の重要度が高く、ニーズが最も高くなっています。

★全ての施策が第2領域（継続して取り組むべき施策）に入っており、民族文化は最も満足度が高くなりました。



「教育・生涯学習」分野の満足度・重要度分布図



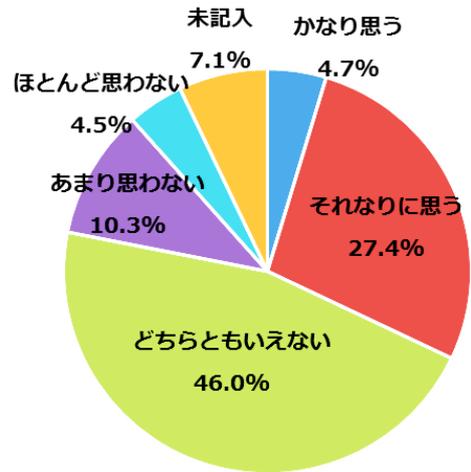
※ 各領域の説明

- | | | | |
|--------|-------------------------------------|---|----------------|
| 【第1領域】 | 「満足度」が低い (50%未満) ・ 「重要度」が高い (50%以上) | ⇒ | 今後、特に力を入れるべき施策 |
| 【第2領域】 | 「満足度」が高い (50%以上) ・ 「重要度」が高い (50%以上) | ⇒ | 継続して取り組む施策 |
| 【第3領域】 | 「満足度」が低い (50%未満) ・ 「重要度」が低い (50%未満) | ⇒ | 改善を要する施策 |
| 【第4領域】 | 「満足度」が高い (50%以上) ・ 「重要度」が低い (50%未満) | ⇒ | 見直しを検討すべき施策 |

問 43 白老町は幼児教育の環境が整っていると思いますか。

●「整っていると思う」は 32.1%

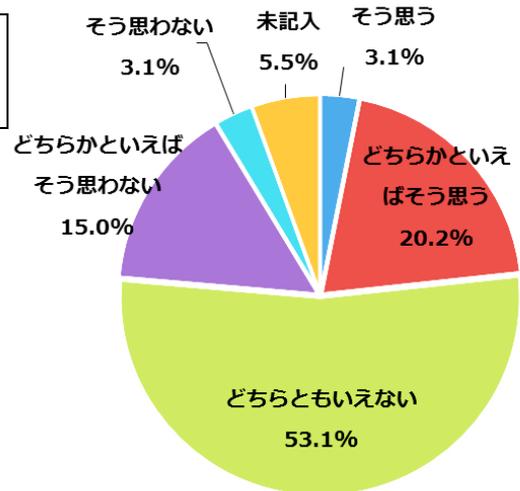
・白老町の幼児教育の環境は、「整っていると思う」が3割と低い状況にあることから、更なる環境整備の充実が求められます。



問 44 生涯学習のための機会（講座・教室など）や活動の場が十分に得られていると思いますか。

●十分に得られているが 23.3%

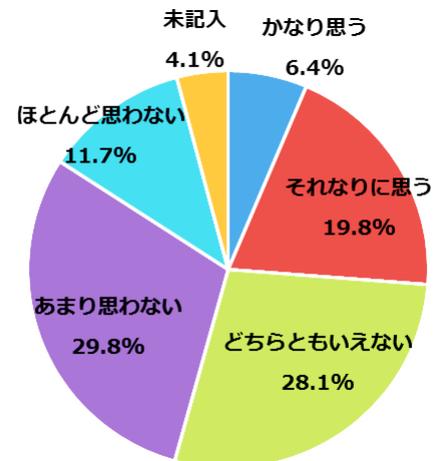
・「十分に得られていると思う」、「どちらかといえば十分に得られていると思う」が、2割と低い状況にあることから、生涯学習のための機会や活動の場づくりの一層の充実が求められます。



問 45 日頃から文化や芸術に親しむ機会がありますか。

●「機会がない」と答えた割合が「機会がある」の1.5倍以上に

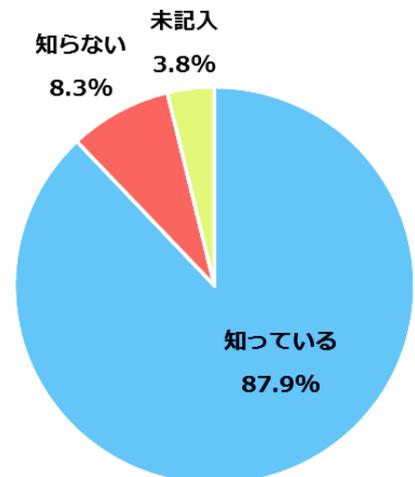
・「機会がない」と回答した人が、全体の4割を占めていることから、町内における文化・芸術活動のより一層の活性化が求められます。



問 46 「アイヌ文化復興等に関するナショナルセンター」として、アイヌの歴史・文化等の発信及び理解促進と文化等の歴史継承を目的に、「民族共生象徴空間(愛称ウポポイ)」が白老町に整備されることを知っていますか。

●「知っている」が 87.9%

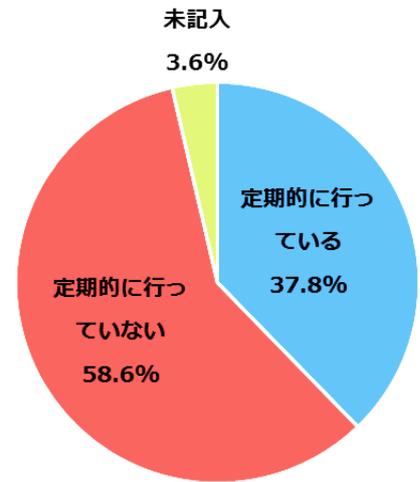
・9割近い町民の方がウポポイの整備を知っていることからこれまでの機運醸成に係る取り組み成果によるものと捉えております。



問 47 スポーツを定期的に行っていますか。

● 「行っていない」は58.6%

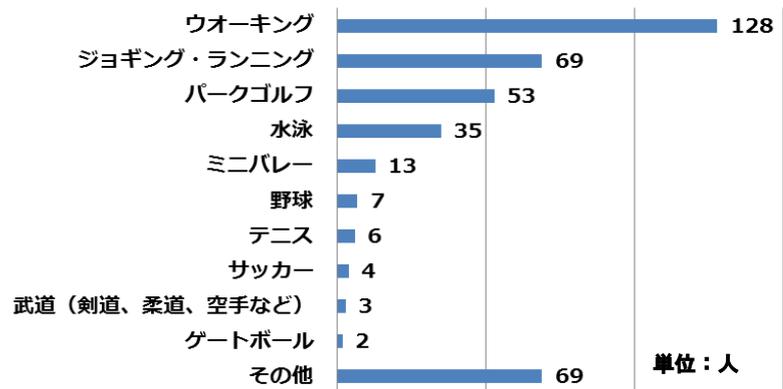
・スポーツを「定期的に行っていない」と回答した人は、過半数を超えていることから、スポーツに対する意識が低く、スポーツ振興の重要性がうかがえます。



問 47-2 「定期的に行っている」と答えた方にお聞きします。具体的にどのようなスポーツを行っていますか。

● 「ウォーキング」が最多

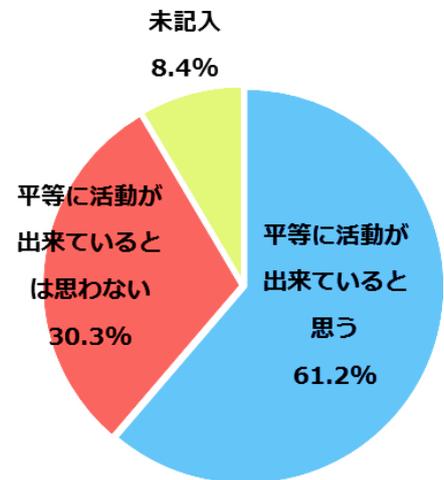
・定期的に行っているスポーツとして、「ウォーキング」が最も多く、次いで「ジョギング・ランニング」、「パークゴルフ」の順となります。
 ・その他の回答では、「ゴルフ」、「健康体操」といった記載が多く見受けられます。



問 48 職場や家庭、地域などで男女が性別にかわりなく平等に活動ができていると思いますか。

● 「平等に活動できている」が過半数を占める

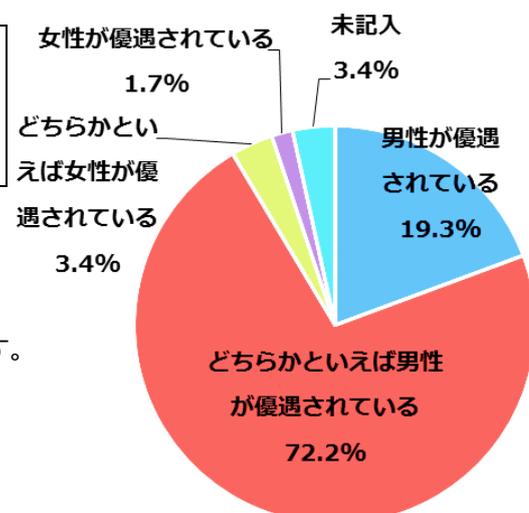
・「平等に活動ができている」と感じている割合が過半数を超えていることから、男女のライフスタイルの変化により男女共同参画に対する意識が高まりつつあることがうかがえます。



問 48-2 「平等に活動ができているとは思わない」と答えた方にお聞きします。どちらが優遇されていると感じていますか。

● 「男性が優遇されている」は91.5%

・前問で、平等に活動ができていると答えた人の約9割が「男性優遇」と回答していることから、女性の活躍促進に向けた取組みの更なる充実が求められます。



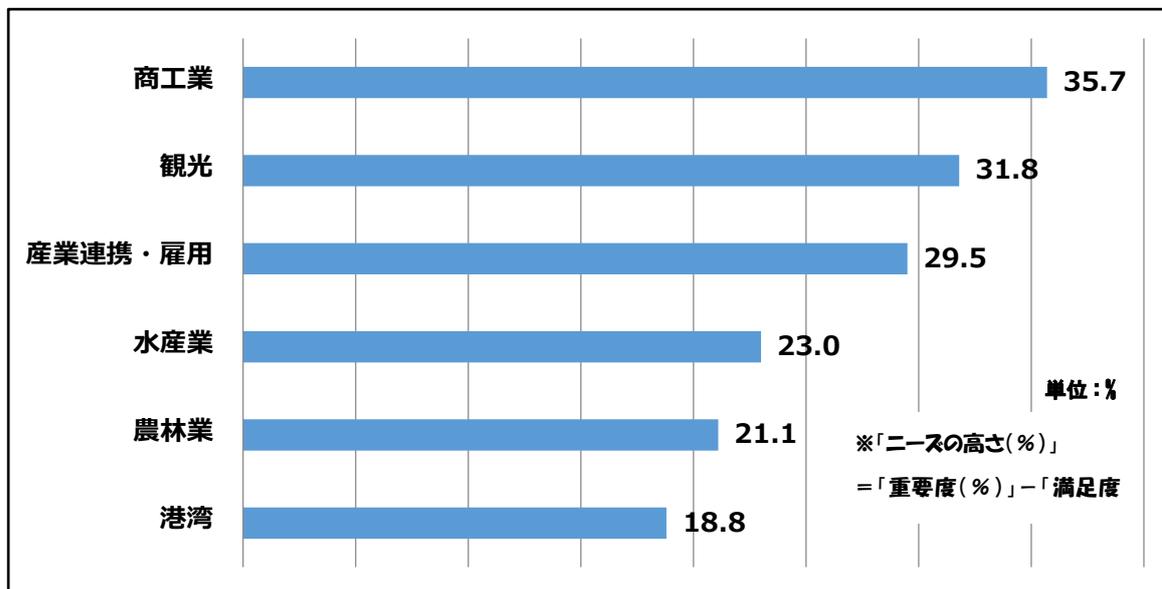
問 49 【産業】分野の施策に対する「現在の満足度」と「今後の重要度」

() 内前回調査数値

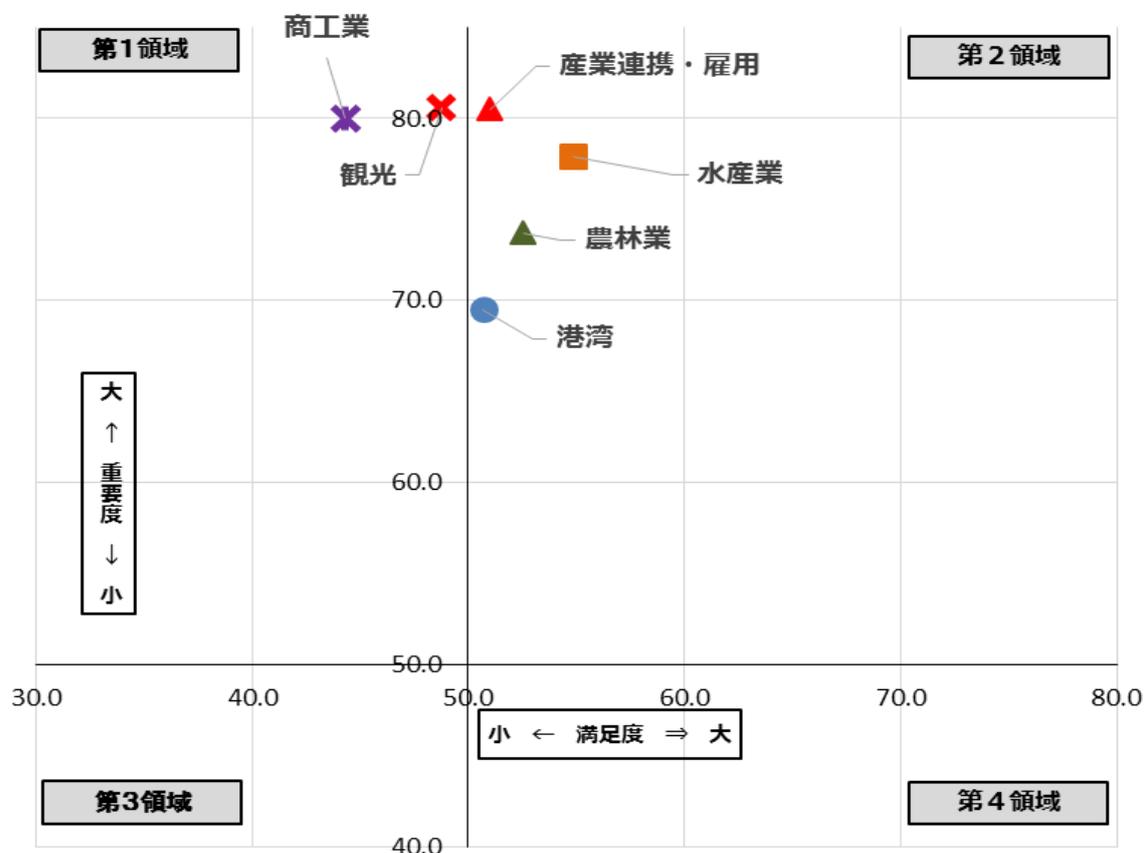
施策項目	施策の目標・基本事業	現在の満足度	今後の重要度
①産業連携・雇用	<p>【施策の目標】 地場製品の安定した需給体制の確立とブランド力の向上を図るとともに、農林漁業者と2次・3次産業との連携による6次産業化を推進します。 また、すべての勤労者や求職者が、自らの能力を十分に発揮し、安心して働くことができるよう、雇用環境の充実に努めます。</p> <p>【基本事業】 ・起業と産業連携の促進 ・食材王国しらおいブランドの推進 ・雇用の拡大・雇用環境の充実</p>	51.0% (48.4%)	80.5% (80.3%)
②港湾	<p>【施策の目標】 海上貨物輸送の拠点となる地方港湾白老港の整備や施設の適切な維持管理を進めるとともに、商港区や関連施設の利用を促進し、地域経済の持続的な発展をめざします。</p> <p>【基本事業】 ・白老港の整備促進・商港区の利用促進・親しまれる港づくり</p>	50.7% (48.8%)	69.5% (68.6%)
③商工業	<p>【施策の目標】 地域経済基盤の強化や雇用の維持・創出を図るため、既存商工業の振興はもとより、新規企業の誘致を積極的に進めるとともに、豊富な地域資源を活用した新たな商品開発の推進や、急速に進展する高齢化社会や多様化する消費者ニーズに対応した魅力と特色のある商業機能の充実に努めます。</p> <p>【基本事業】 ・企業誘致の推進 ・商工業の活性化</p>	44.3% (46.0%)	80.0% (78.4%)
④観光	<p>【施策の目標】 豊かな自然やバラエティに富んだ食材、温泉や歴史・文化など様々な観光資源を活用し、魅力ある商品造成や環境を創出するとともに、本町の魅力を国内外に積極的に発信し、旅行者に選ばれる観光地をめざします。 また、2020年の「オリンピック・パラリンピック東京大会」の開催及び「民族共生の象徴となる空間」の開設による来訪者の満足度を高めるため、常に観光資源、商品の改善に努めるとともに、おもてなしと思いやりの心あふれる受入れ体制の充実により、「よろこびと感動」を共有する観光のまちづくりを推進します。</p> <p>【基本事業】 ・魅力ある観光地の形成・受入れ環境の整備、充実 ・観光客誘致の推進</p>	48.8% (48.5%)	80.6% (77.2%)
⑤農林業	<p>【施策の目標】 農業や林産業の振興による地域活性化を図るため、安心・安全な生産体制の確立や生産能力の向上、担い手の育成、消費拡大など多面的な取り組みを進め、基盤の整備や経営の安定化を促進します。 また、森林の持つ多面的・公益的な機能の維持増進を図るため、森林の保全や整備を進めます。</p> <p>【基本事業】 ・農業基盤の整備 ・農業経営の強化 ・環境と人にやさしい農業の推進 ・森林の整備と保全 ・林産物の利活用の推進</p>	52.6% (51.6%)	73.7% (73.4%)
⑥水産業	<p>【施策の目標】 漁業者や水産加工業者の生産性や生産者価格の向上による経営の安定のため、装備・機械の近代化や担い手の育成、漁場など生産基盤の整備を推進するとともに、つくり育てる漁業、水産物の消費や販路の拡大、水産加工業の振興を図り、地域水産業の活性化を促進します。</p> <p>【基本事業】 ・水産業経営の安定化・漁業基盤の強化 ・栽培漁業・資源管理型漁業の推進</p>	54.9% (53.6%)	77.9% (78.1%)

【産業】分野の施策に対するニーズの高さ

- ★商工業のニーズが最も高く、次に観光や産業連携・雇用も高いニーズとなっています。
- ★6つの施策のなかで、商工業、観光が第1領域（今後特に力を入れるべき施策）に入っています。



「産業」分野の満足度・重要度分布図



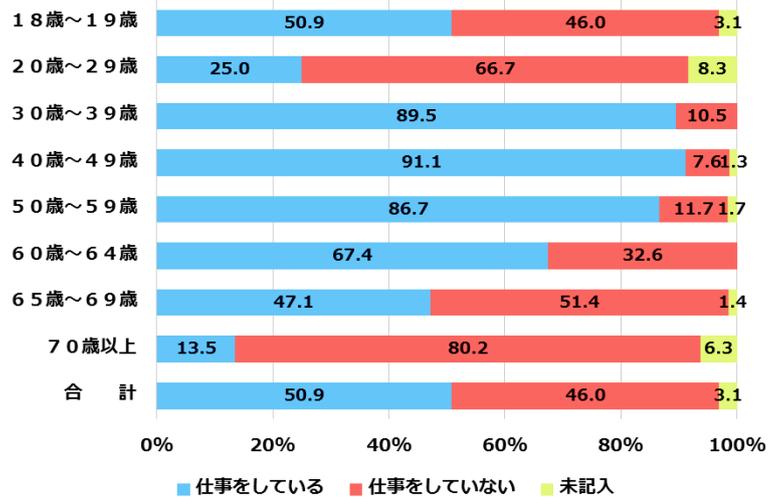
※ 各領域の説明

- | | | |
|--------|-------------------------------------|------------------|
| 【第1領域】 | 「満足度」が低い (50%未満) ・ 「重要度」が高い (50%以上) | ⇒ 今後、特に力を入れるべき施策 |
| 【第2領域】 | 「満足度」が高い (50%以上) ・ 「重要度」が高い (50%以上) | ⇒ 継続して取り組む施策 |
| 【第3領域】 | 「満足度」が低い (50%未満) ・ 「重要度」が低い (50%未満) | ⇒ 改善を要する施策 |
| 【第4領域】 | 「満足度」が高い (50%以上) ・ 「重要度」が低い (50%未満) | ⇒ 見直しを検討すべき施策 |

問 50 あなたは現在、パートタイム、アルバイト等を含めて何か仕事をされていますか。

●「仕事をしている」と回答した割合は
全体で 50.9%

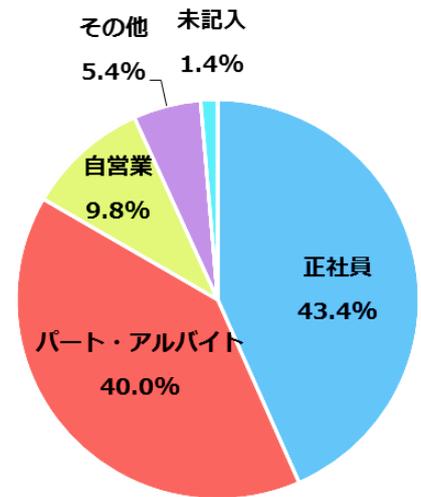
● 60 歳代の就労率が大きく上昇
・前回と比べ、60 歳代の就労率が大きく上昇しています。60 歳～64 歳は 46.3%から 67.4%に、65 歳～69 歳は 36.9%から 47.1%に上昇しています。このことから、高齢者の働き方に変化がみられ、今後は、高齢者も活躍できる環境づくりが求められます。



問 50-2 「仕事をしている」と答えた方にお聞きします。雇用形態と勤務場所について、お答えください。

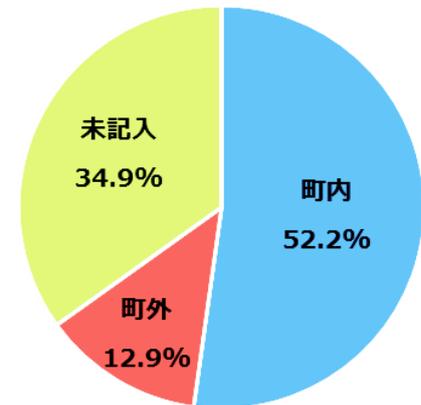
【雇用形態】

●「正社員」、「パート・アルバイト」が均衡
・町内の雇用形態として、「正社員」、「パート・アルバイト」が約 4 割で均衡していることがうかがえます。



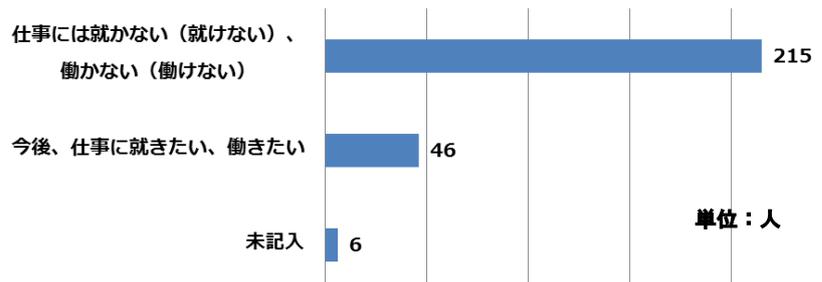
【勤務場所】

●勤務場所は「町内」が 52.2%
・勤務場所は、「町内」と回答した人が 52.2%、「町外」と回答した人が 12.9%となっており、8 人に 1 人は町外へ勤務していることがうかがえます。



問 50-3 現在、「仕事をしていない」とお答えした方にお聞きします。今後、仕事に就きたい、働きたいとお考えですか。

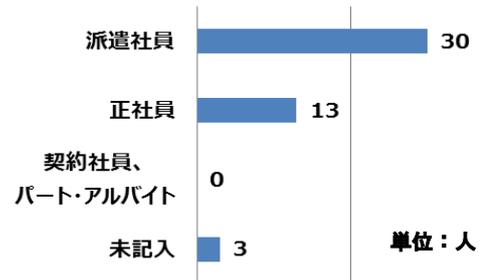
●就労を考えている：17.2%



問 50-4 「今後、仕事に就きたい（仕事をしたい）」とお答えした方にお聞きします。

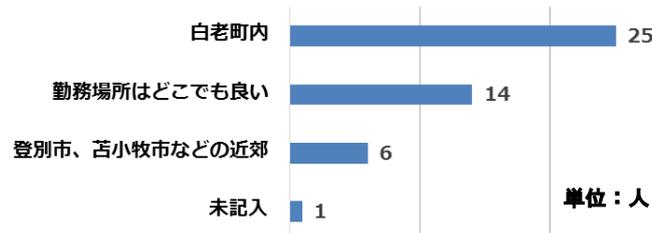
1) 雇用形態として望むものは次のうちどれですか。（いずれか一つに○）

- 「正社員」：28.3%
- 「契約社員、パート・アルバイト」：0%
- 「派遣社員」：65.2%



2) 勤務場所として望むものは次のうちどれですか。（いずれか一つに○）

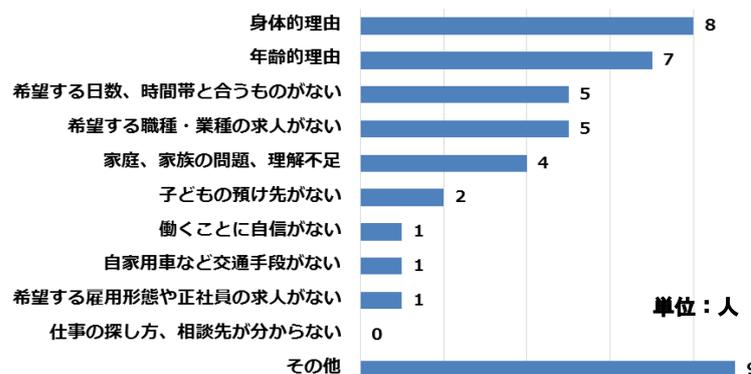
- 「白老町内」：54.3%
- 「登別市、苫小牧市など近郊」：13.0%
- 「場所は問わない」：30.4%



・就労していない方の 17.2%が、今後、「仕事に就きたい、働きたい」と考えており、雇用形態については、65.2%が「派遣社員」を望んでいます。ただし、勤務場所については、54.3%の方が町内と回答しているものの、「勤務場所はどこでも良い」との回答が3割程度あったことから、早期就業を望む声が一定程度あるものとうかがえます。

3) 現在、仕事に就きたい（仕事をしたい）ができない理由は何ですか。もっともあてはまるもの一つを選択してください。

- 最も多いのは「身体的理由」
- 次に多いのは「年齢的理由」
- 求人内容と希望が合わない
 - ・年齢が高くなるにつれて、身体的能力の低下や、就労条件等が厳しくなる傾向にあります。



問 51 就職や求職、労働環境の充実（環境整備）に関し望むものは何ですか。

1) 行政機関（国・道・町）に対し

- 「保育の充実」
- 「相談窓口の設置」
- 「企業説明会の開催」

2) 企業・事業所（雇用者側）に対し

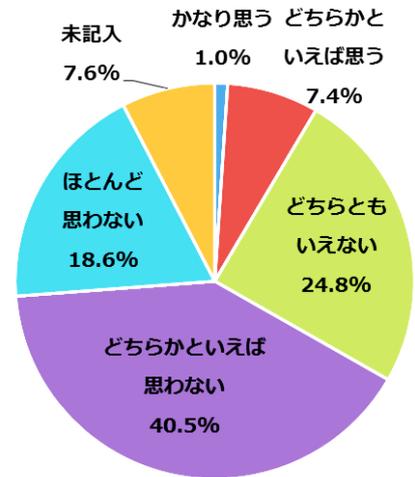
- 「勤務時間」
- 「賃金の引き上げ」
- 「雇用の充実」

・就労関係の環境整備として、行政には保育のサポートや身近な相談体制、企業・事業所等については、待遇面の充実が求められていることがうかがえます。

問 52 あなたは、白老町は働く場所が十分に確保されていると思いますか。

●「確保されている」と思う割合 8.4%

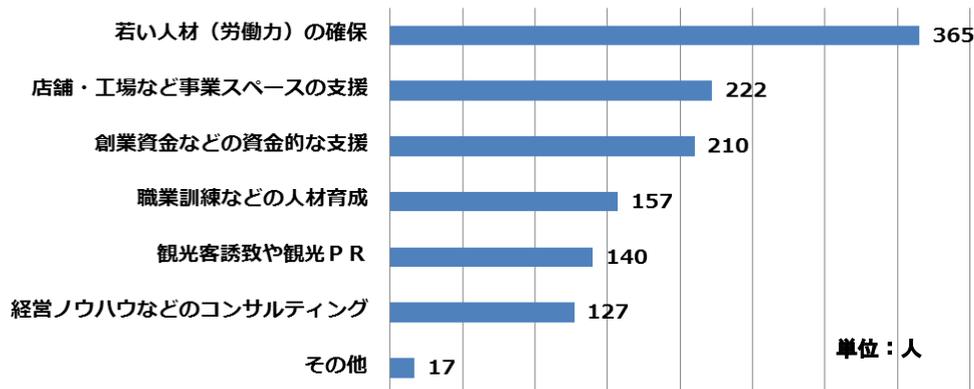
・町内で働く場所の充足度合については、「確保されていると思う」が前回調査（1.8%）を上回ったものの、依然として8.4%と低水準となっており、企業誘致や地域内経済の活性化の必要性がうかがえます。



問 53 町内で新たに事業を始めるために、何か必要（重要）と思いますか。必要（重要）と思われるもの3つまでに○をつけてください。

●「若い労働力の確保」が最多。次いで、「事業スペースの支援」、「賃金面の支援」の順

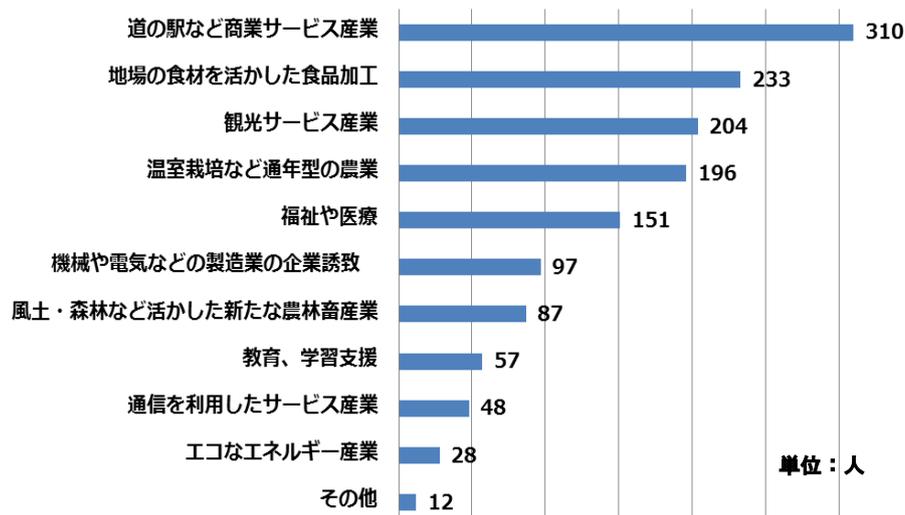
・町内における新規起業等の最大の課題は、創業資金等の資金面よりも労働力、特に若い人材の確保であることがうかがえます。



問 54 今後、白老町でどのような産業を成長させることがよいと思いますか。重要と思われるもの3つまでに○をつけてください。

●「商業サービス産業」、「地元食材の食品加工」、「観光サービス産業」がトップ3

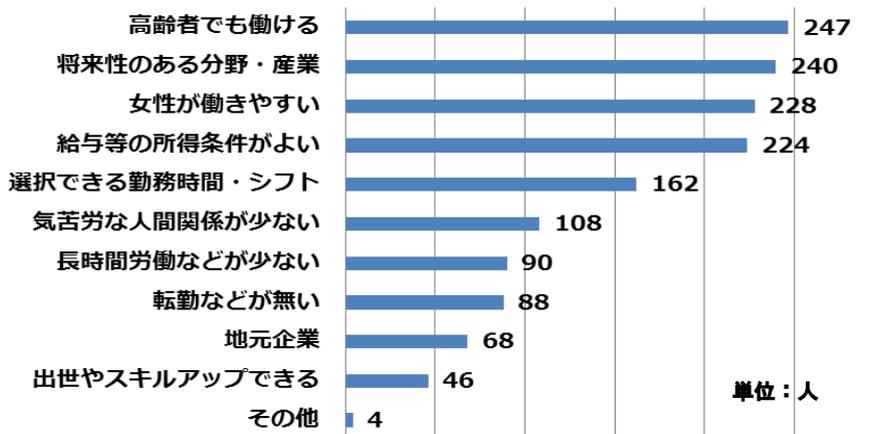
・地域の特性として、食材の特産品が多いことから、道の駅や食品加工業等のサービス産業への期待が高いことがうかがえます。



問 55 新たに町内に働く場（職場、仕事）を作るとしたら、どのような雇用、就労の条件が望ましいと思いますか（重要と思われるものを3つまで選択）。

●「将来性のある分野や産業」、「高齢者でも働ける」、「女性が働きやすい」がトップ3

・成長産業への回答が多く寄せられた一方で、本町の人口構成から高齢者や女性の就労に対する関心が高いことがうかがえます。

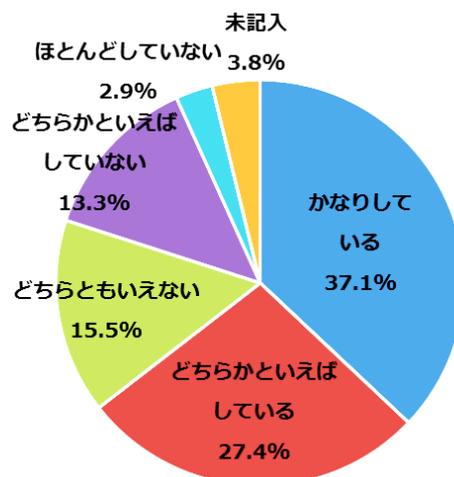


問 56 あなたは、普段、白老町内のお店で食料品や日用品などの買い物をしていますか。

●町内で買い物をしている割合 64.5%

（前回より 5.4 ポイント減）

・町内で食料品や日用品等の調達をしている割合は 64.5% と前回調査時（69.9%）に比べ 5.4 ポイント下回りました。さらに、依然として 3 割程度は、近隣市町等の郊外型の大型スーパー等へ流出していることがうかがえます。



問 56-2 「かなりしている」、「どちらかといえはしている」と答えた方にお聞きします。主に町内のどこで買い物をしていますか。

- 「生協」
- 「くまがい」
- 「ツルハ」
- 「イエローグローブ」

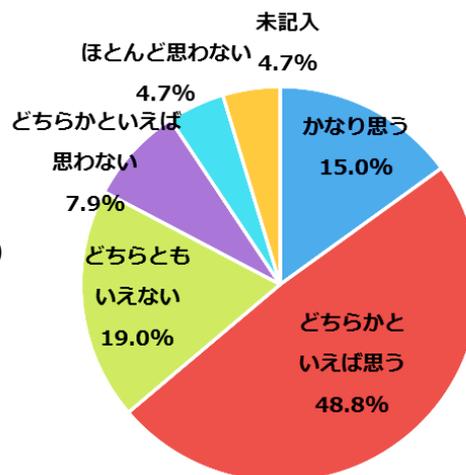
問 56-3 「どちらかといえはしていない」、「ほとんど（または全く）していない」と答えた方にお聞きします。あなたは普段どこで買い物をしていますか（複数選択可）。

- 「苫小牧市」 67.4%
- 「登別市」 48.7%
- 「室蘭市」 27.8%
- 「札幌市」 12.9%

問 57 あなたは、「白老牛」や「虎杖浜たらこ」の地域ブランドや、全道トップクラスの生産量を誇る「鶏卵」や「しいたけ」、白老町の食材を利用した「白老バーガー&ベーグル」などの『食』を通してまちの活力や魅力が高まっていると思いますか。

●高まっていると思う割合 63.8%（前回より 2.4 ポイント減）

・『食』を通じてまちの活力や魅力が高まっていると思う」と回答した方は、前回調査時（66.2%）に比べ、2.4 ポイント下回っていることから、更なるまちの活力向上や魅力づくりが求められます。



問 58 【自治】分野の施策に対する「現在の満足度」と「今後の重要度」

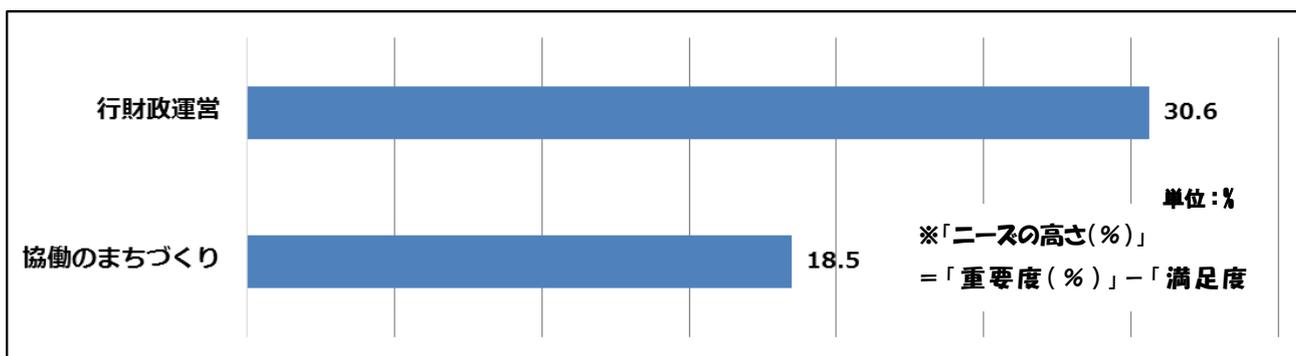
() 内前回調査数値

施策項目	施策の目標・基本事業	現在の満足度	今後の重要度
① 協働のまちづくり	<p>【施策の目標】 自治基本条例に基づき、町民活動の支援や広報・広聴機能の充実を図ることにより、様々なまちづくり活動への参画を促進し、町民一人ひとりがまち主体として、自らの手で自らのまちを創るという意味を持ち、互いに助け合いながら、いつまでも安心して暮らすことのできる「しあわせを感じるまち」の実現をめざします。</p> <p>【基本事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 町民参加の促進 ・ 地域活動の推進 ・ 広報広聴活動の充実 ・ 開かれた行政の推進 	53.9% (53.2%)	72.4% (71.6%)
② 行財政運営	<p>【施策の目標】 次代を担う子どもたちに過大な負担を残すことなく、すべての町民が希望を持って生活できるよう、限られた財源や人員の中で、効率的で質の高い行政運営に努めるとともに、計画的で健全な財政運営により、分権時代に対応した自主・自立の自治体経営を進めます。</p> <p>また、高度化・複雑化する行政需要に対応するため、住民の目線に立ったきめ細かなサービスの提供や職員の能力向上、近隣自治体との広域的な連携により、迅速で質の高い行政サービスの提供をめざします。</p> <p>【基本事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 健全な財政運営・効率的、効果的な行政運営 ・ 行政サービスの充実・広域的な協力、連携 	49.9% (48.8%)	80.5% (79.2%)

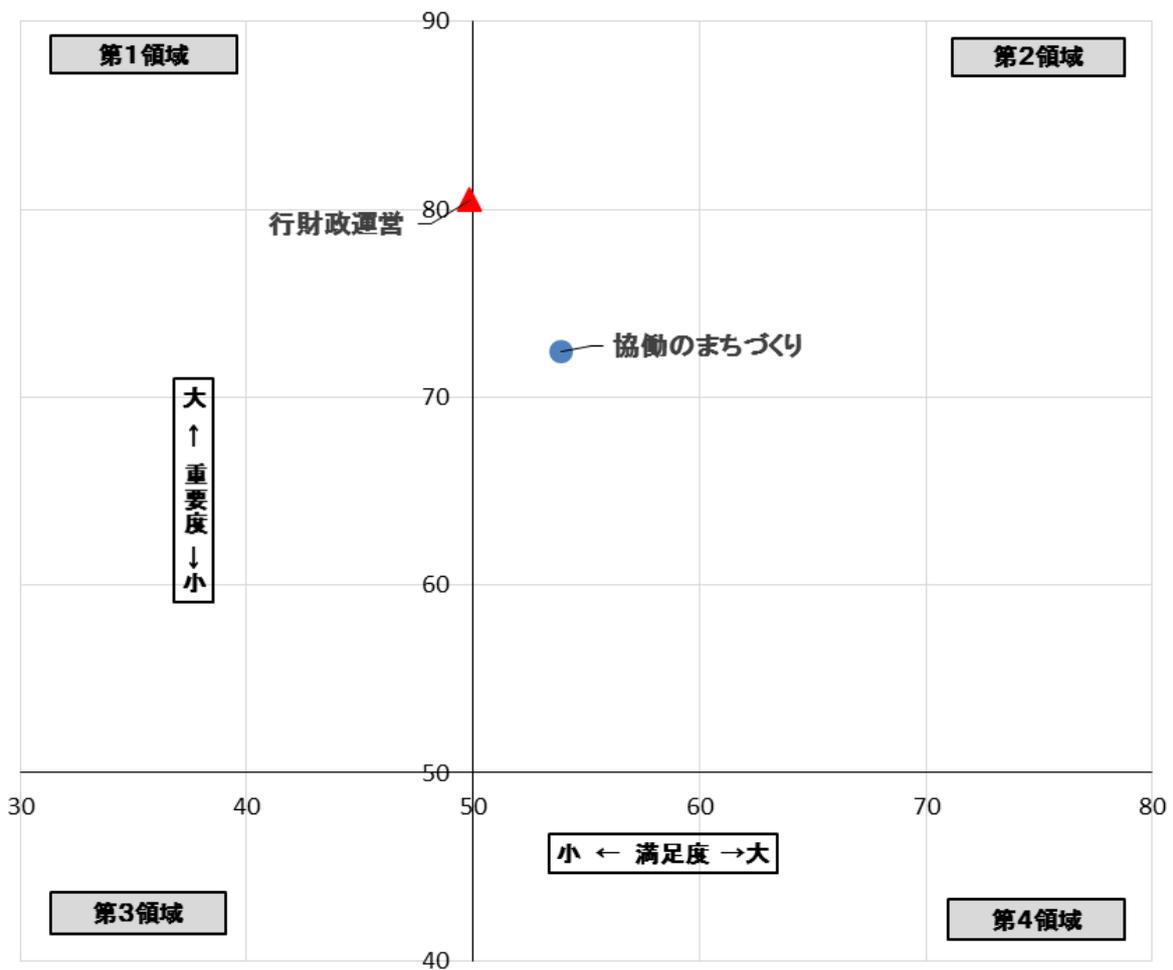
【自治】分野の施策に対するニーズの高さ

★行財政運営の満足度は高くなく、ニーズが高くなっています。

★協働のまちづくりは第2領域、行財政運営は第1領域に入っています。



「自治」分野の満足度・重要度分布図



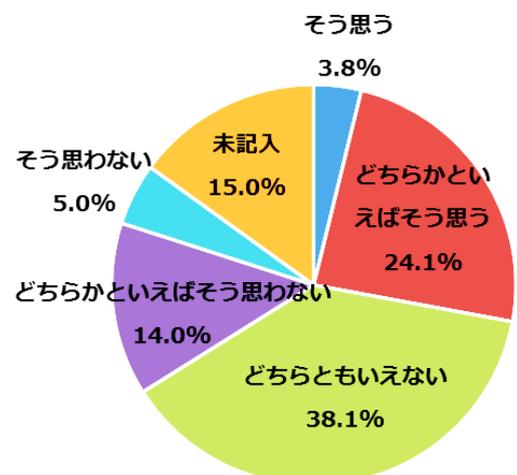
※ 各領域の説明

【第1領域】	「満足度」が低い (50%未満) ・ 「重要度」が高い (50%以上)	⇒	今後、特に力を入れるべき施策
【第2領域】	「満足度」が高い (50%以上) ・ 「重要度」が高い (50%以上)	⇒	継続して取り組む施策
【第3領域】	「満足度」が低い (50%未満) ・ 「重要度」が低い (50%未満)	⇒	改善を要する施策
【第4領域】	「満足度」が高い (50%以上) ・ 「重要度」が低い (50%未満)	⇒	見直しを検討すべき施策

問 59 白老町は町内会や各種町民団体などによるまちづくり活動が活発だと思いますか。

● 「活発だと思う」と答えた割合は 27.9%

・「活発だと思う」と回答した割合は 27.9%と低いことから、多くの町民が主体的に参加できる環境づくりや自立的なまちづくり活動の広がり促進させるための取組み等について、重点的に実施していく必要があります。

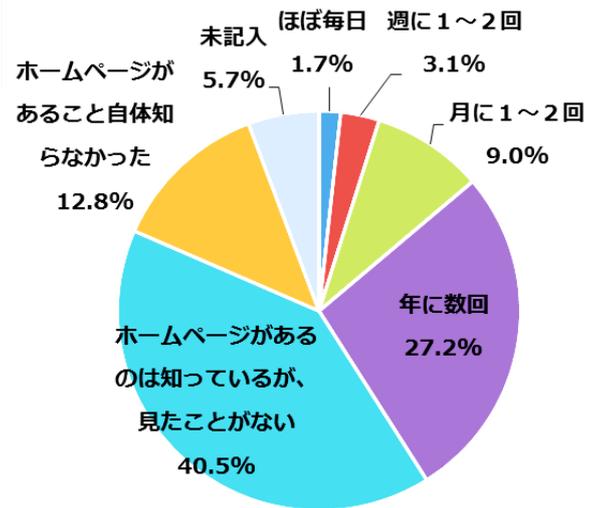


問 60 あなたは、白老町のホームページを見たことがありますか。

- 「あることは知っているが見たことはない」が多数
- 「年に数回見ている」という回答も多い

・情報化社会において、ホームページやSNS等の活用機会が増えており、情報発信、伝達の方法等が変化してきていますが、町のホームページの活用状況は、低調であり、その内容の充実を図るとともに認知度の向上に努めていく必要があります。

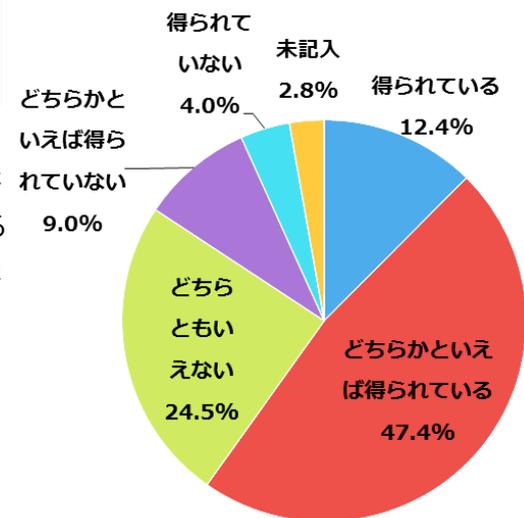
※ SNSとは・・・ソーシャルネットワーキングサービスの略称
インターネット上で情報の発信・交換・共有等が出来るサービス



問 61 生活に必要な行政からの情報が得られていますか。

- 「得られている」と答えた割合が 59.8%

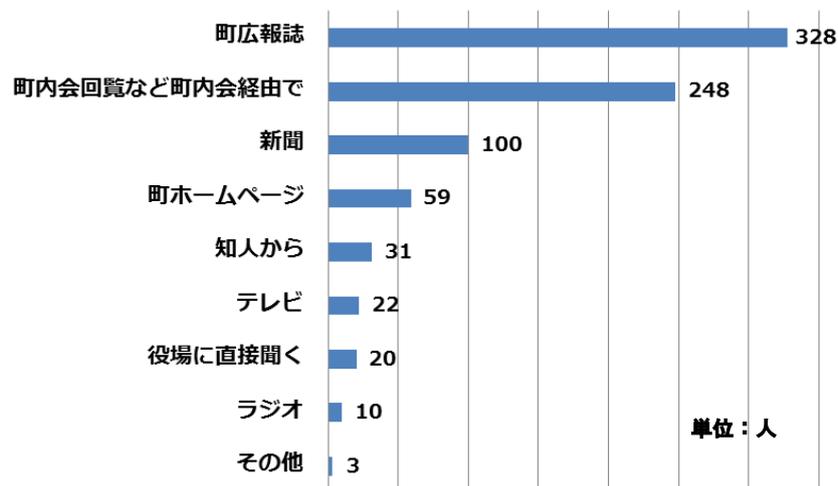
・半数以上が、生活に必要な情報を「得られている」と回答しておりますが、一方で、37.5%は「得られていない」あるいは「どちらともいえない」と回答していることから、広報活動の更なる充実が求められています。



問 61-2 「行政からの情報が得られている」、「どちらかといえば行政の情報が得られている」とお答えした方にお聞きします。何から情報を得ていますか。

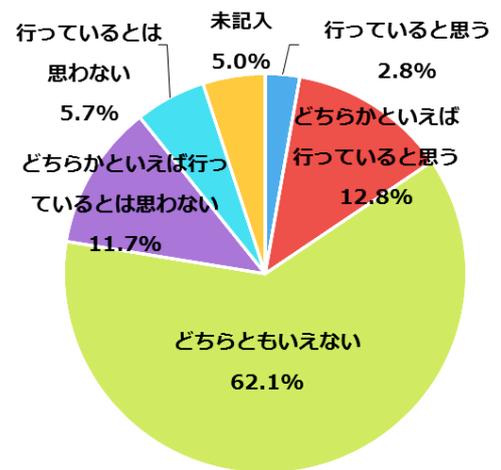
- 「町広報紙」、「町内会回覧」が多数

・ホームページやSNS等の活用機会も増えておりますが、「町ホームページ」と回答した割合は7.2%と、依然として「町広報紙」、「町内会回覧」が多数を占めており、広報紙の質の向上が求められます。



問 62 白老町は無理、無駄のない健全な財政運営を行っていると思いますか。

- 「どちらともいえない」と答えた割合が 6 割以上
 - ・「行っているとは思わない」あるいは「どちらともいえない」と回答した人が全体の約 8 割を占めることから、引き続き、身の丈にあった財政運営に取り組んでいく必要があります。

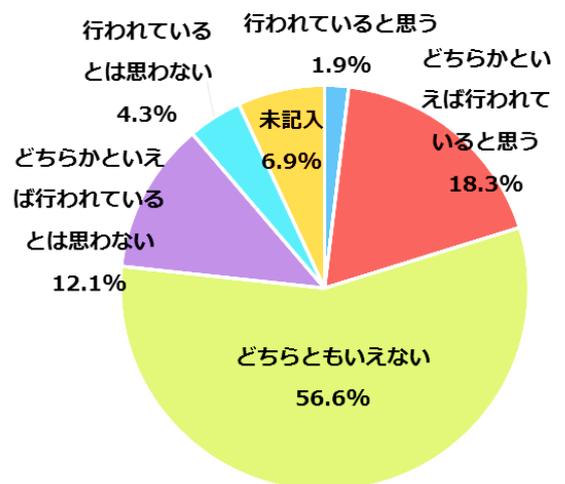


問 62-2 「どちらかといえば無理・無駄のない健全な財政運営を行っているとは思わない」、「無理・無駄のない健全な財政運営を行っているとは思わない」と答えた方にお聞きます。どのような点が「無理・無駄」と感じますか。

- 「バイオマス施設」、「白老港」、「町立病院」 の順
 - ・無理、無駄と感じるものの上位3つが「バイオマス燃料化施設」、「白老港」、「町立病院」となりました。その他の回答では、町職員、町議員の削減といった人件費等の削減を求めるものもありました。

問 63 白老町は町民ニーズにあった行政サービスが行われていると思いますか。

- 「どちらともいえない」と答えた割合は 56.6%
 - ・「行われているとは思わない」あるいは「どちらともいえない」と回答した人が全体の約 7 割を占めることから、地域に密着し、町民ニーズに沿った質の高い政策立案に取り組んでいく必要があります。



(5) 白老町での暮らしやまちづくりについて

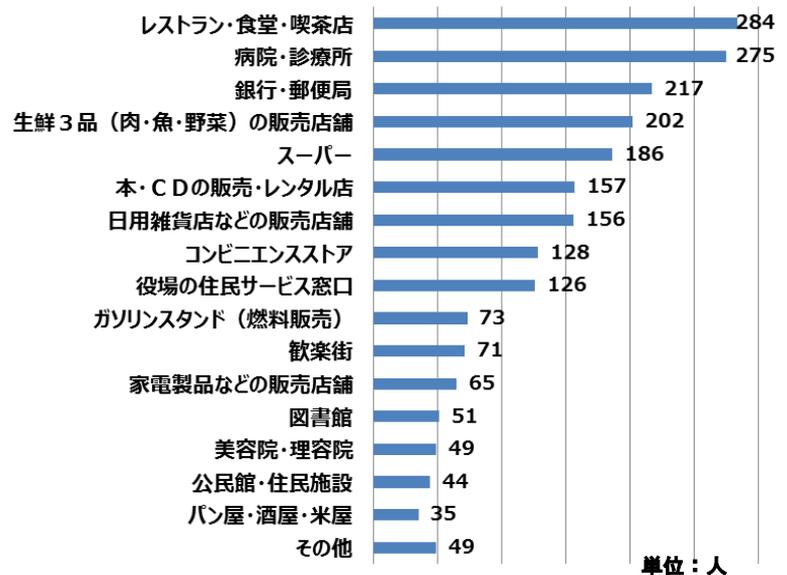
問 64 あなた（及びあなたのご家族）は次の項目に該当しますか（複数回答可）。

- 65歳以上の方がいる家族が多い
 - ・回答者に高齢者が多かったことから、「65歳以上の方がいる」が非常に多い結果となっています。



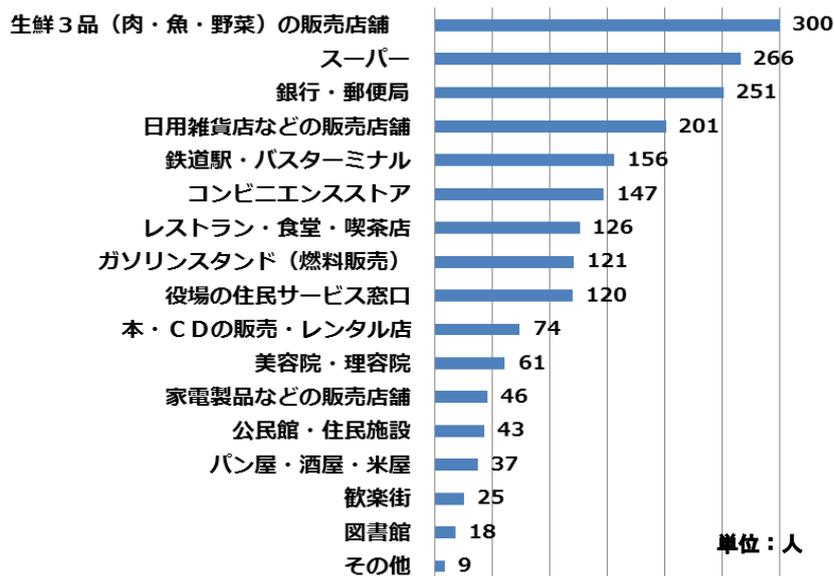
問 65 町民の暮らしを支える施設、機能が集中する白老駅周辺の拠点地区には、どのようなものが必要と思いますか（5つまで複数回答可）。

- 「飲食店」、「医療機関」、「金融機関」の順に多い
 - ・駅周辺に必要な施設としては、「レストラン・食堂・喫茶店」、「病院・診療所」、「銀行・郵便局」など「まち・中心街」のイメージに沿った施設への回答が多くを占めました。また、「スーパー」など生活に必要なものを購入できる店舗や、「本・CD・レンタル店」など娯楽や文化的な充実を求める声も多くみられました。



問 66 日常的な生活を支える身近な各地区の拠点には、どのようなものが必要と思いますか（5つまで複数回答可）。

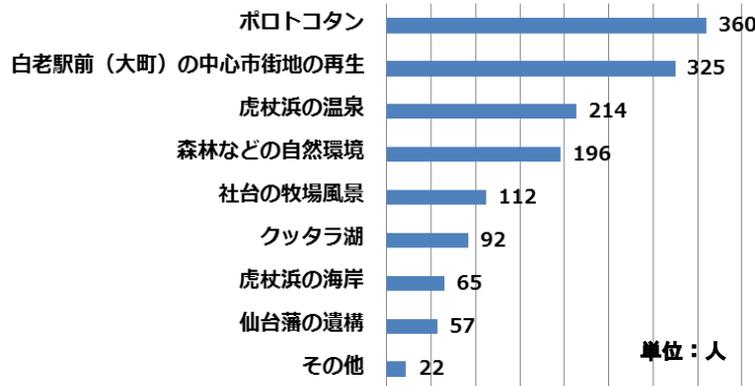
- 「生鮮品販売店舗」、「スーパー」、「金融機関」の順に多い
 - ・「生鮮3品（肉・魚・野菜）の販売店舗」、「スーパー」、「銀行・郵便局」といった生活に直接影響のある施設への回答が多くを占めました。また、鉄道駅・バスターミナルなど「公共交通」へのアクセスを居住地付近に要望する傾向がうかがえます。



問 67 これからも白老町として、大切に（重視）していくべき環境的な事柄にはどのようなものがあると思いますか。重要と思われるもの3つまでに○をつけてください。

●最も多いのは、「ポロトコタン」次に、「白老駅前中心市街の再生」

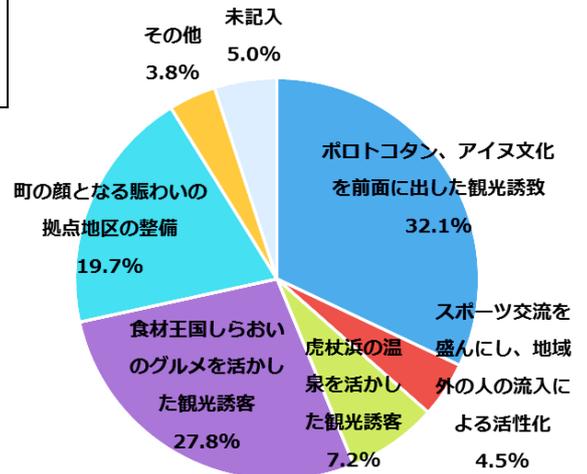
・2020年のウポポイ開設を控え、「ポロトコタン」「白老駅前（大町）の中心市街地の再生」の二つが上位を占めるとともに、「虎杖浜の温泉」、「森林などの自然環境」など本町の地域資源への関心の高さがうかがえます。



問 68 まちに賑わいや活力を創出するために、どのような取り組みに重点を置くべきだと思いますか。

- 「アイヌ文化を前面に出した観光誘客」が最も多い
- 「食材王国しらおいを活かした観光誘客」が次に続く
- 「町の顔となる賑わいの拠点地区の整備」も多い

・こちらも2020年のウポポイ開設に対する関心の高まりを背景として「ポロトコタン、アイヌ文化を前面に出した観光誘致」への回答が最も多く、次いで「食材王国」、「拠点施設の整備」といった観光施策への期待の高さがうかがえます。

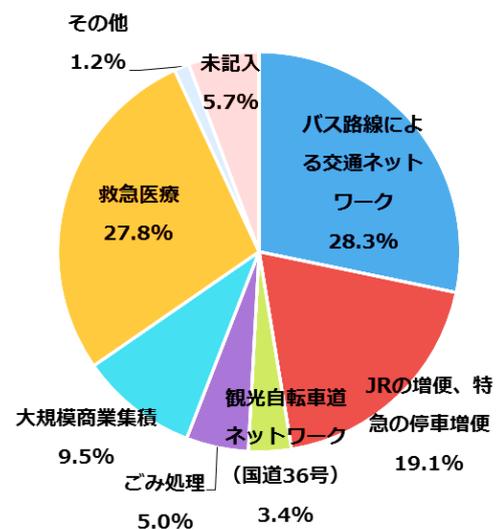


問 69 白老における暮らしを守るため、周辺の地域とどのような広域的な連携が必要だと思いますか。

- 「バス路線による交通ネットワーク」が最も多く
- 「救急医療」が次に続く
- 次いで「JR 増便、特急停車」の声が多い

・「バス路線による交通ネットワーク」(28.3%)、「JRの増便、特急の停車増便」(19.1%)が合わせて47.4%にのぼり、「公共交通」への関心の高さがうかがえます。

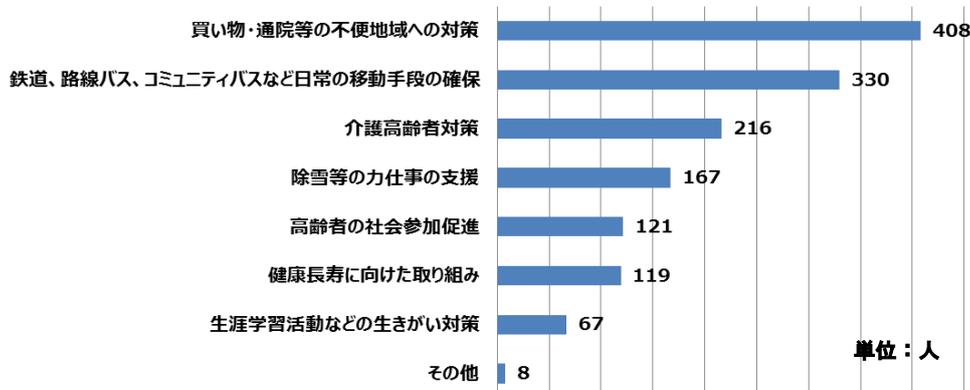
・また、「救急医療」(27.8%)の必要性も高く、全般として「暮らしの足」と「生命の維持」に関して、広域的な連携によるスケールメリット（費用減少・収益性向上）が求められていることがうかがえます。



問 70 これからも進む高齢化のなかで暮らしていくためには、どのような環境の整備が必要だと思いますか（3つまで複数回答可）。

●「買物や通院等の不便地域への対策」、「移動困難の解消」を望む回答が多い

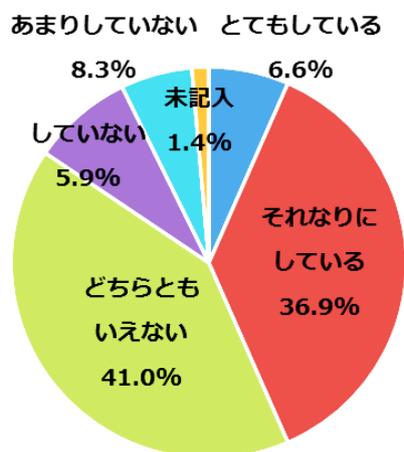
・高齢化社会の進展に伴い、移動手段の確保に対する不安が増大していることがうかがえます。また、「介護高齢者対策」、「除雪等の力仕事の支援」への回答も多く、高齢者の独居生活などへの不安が増大していることもうかがえます。



問 71 あなたは町内会活動に対して満足していますか。

●「満足している」43.5%（前回より4.9ポイント減）

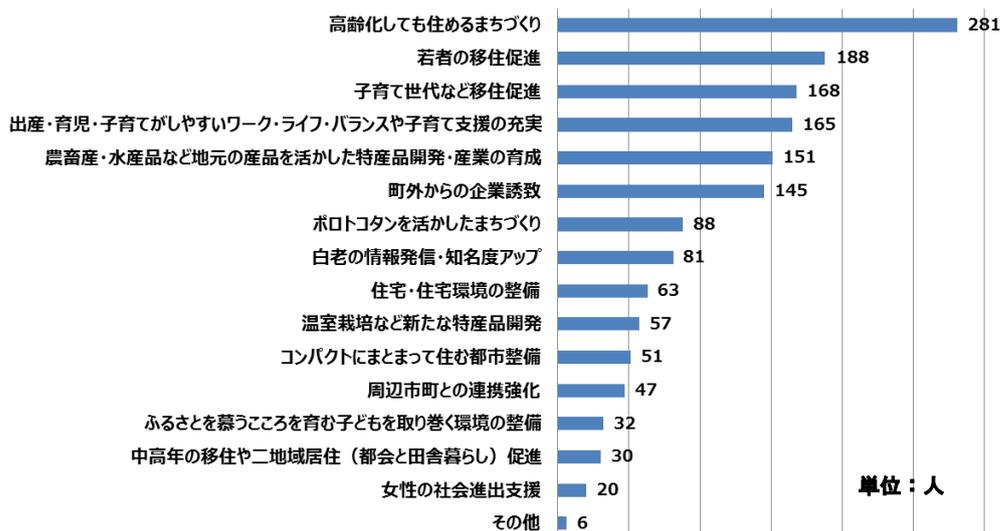
・身近な自治活動である「町内会活動」に対する満足度は、前回より4.9%低下し、43.5%となりました。また、「どちらともいえない」との回答は41.0%にのぼり、近年の加入率の低下等が、その背景にあるものと推察されます。



問 72 今後、町として取り組むべき重点施策分野はどのような分野だと思いますか。重要だと思われるもの3つまでに○をつけてください。

●「高齢化しても住めるまちづくり」の回答が一番多い

・高齢化の進展により、「高齢化しても住めるまちづくり」を求める回答が多くを占め、一方では、「若者の移住促進」をはじめ、「子育て支援」など未来を担う世代への施策展開について期待が高まっていることがうかがえます。



問 73 白老町について、ふるさと自慢したいこと、広くPRするべきと思うことなど
(自由意見)

【食に関すること】

- 白老牛
- 筍採り
- すばらしい食材に恵まれている
- 海の幸、山の幸に恵まれ、美味しい食材がいっぱい。
- 美味しい食材に恵まれている。遠方からわざわざ来ても、価値のある食事と空間も作ると、人が来るのではないか。
- 山、海の食材が新鮮で安心、安全。
- 虎杖浜のたらこ、しいたけ、白老牛、玉子等の特産物
- おいしいものたくさん
- 新鮮な食材と温泉
- 白老牛、たらこ、毛ガニ
- 白老牛や虎杖浜たらこなどの食文化
- 白老牛がすごく美味しい
- 白老町の水が好きです。
- すべての要素が誇れる食文化！肉・卵・魚・野菜。
- 白老町の食材（白老牛、タラコ、鶏卵、しいたけなど）
- 飲料水が豊富できれいだ。

【自然・動物に関すること】

- 温泉が多いこと森林が豊かなこと湖水、川、海と快適な町であること。
- 自然がそのまま残っている素晴らしいところです、朝早くは鹿の群れ、きつつき、白鳥や鴨の渡りなど森にも空にも自然がいっぱいです。遊歩道も町を縦断していて素晴らしいです。
- 水の美しさ、人の温かさ。
- 人口は少なく、大きな産業はあまり無い様ですが、とにかく社台ファーム国道から見渡す景色の良い事。太平洋、馬、山。コンパクトですが、まるで外国の様です。この部分は大好きです。
- 自然豊かな白老は、夏は涼しく冬は雪が少なく、住みやすいです。
- 自然が多い
- 温泉がある。山と川、海がある。釣りができる（いくら食べられる）。鮭の遡上が見られる。
- 海、山、川、沼、こんなに自然のそろった市町は珍しい。是非この自然をもっと活用したい。
- ポロトの水芭蕉とか、里山、自然を自慢したい。白老牛。
- 海、山、湖、温泉、自然が豊かで国道36号線が通っていて便利です。
- 雪が少なく温泉が良いので札幌から白老へ引っ越して来ました。不便もありますが、自然豊かで心が癒され健康的に過ごせます。
- 海沿いでロケーションが良い。高速道路でも社台から苫小牧間など海が見えて、馬が放牧される風景等、観光地以外でもいろいろなものがある。
- 自然のかかわりが割と多く、魚や山菜又椎茸など美味しい食材も多くあり、温泉も楽しみ本当に恵まれた町だと思います。
- 海、山の魅力を知ってもらいたい（食材の宝庫、遊び・自然を通して）。
- 白老は山あり海あり自然環境はきわめて恵まれ、商業港あり空港に近く、雪少なく温暖な気候。北海道屈指の立地条件にありこれを生かさない手はない。
- ポロト、インクラの滝、クッタラ湖等の自然。
- 森林が豊かで、海にも恵まれ本当に自然のきれいなまちです。
- 海と山が近く自然豊かでいい所です。

- 暑くもなく寒くもなく自然も沢山あり、水がおいしい。都会の喧騒から逃れるには最適かも？
- 萩の里公園を利用する者として、遠く札幌方面の車や外国人等、この山を愛する方々が増え、挨拶を交わし微笑み合える事を自慢したい。
- 夜空の星がきれい。

【文化に関すること】

- アイヌ文化の町
- 来年は「ウポポイ」ができます。また、楽しみが増えました。
- 国立アイヌ民族博物館
- 民俗共生象徴空間
- 2020年にウポポイが出来たらすばらしい施設になってもらい自慢したい。
- アイヌは広く知ってもらわなければならない文化だと思う。
- アート

【ひとに関すること】

- 人があたたかい。安心して子育てできる。
- 人。誰でも受け入れる心の広さ。サークルなど多いと思います。2～3年白老に居た友人が言った事でした。
- 白老町は人にやさしい町だと思いますヨ。
- 町民の人達は優しい人が多いこと。
- 人は優しい町なのでとても住みやすいと思います。

【温泉に関すること】

- 家族（じいちゃん・ばあちゃん・親子・孫）で訪れる“癒しの温泉郷”虎杖浜
- 登別温泉にも負けない虎杖浜温泉。
- 自宅温泉のある町。
- モール温泉とたべもの！！
- 私も含め、近所は皆温泉付の住宅です。毎日温泉に入れるので、親戚にはうらやましがられます。また床暖もあるので、冬場はとても暖かく、灯油代もあまりかかりません。自然の恵みに感謝です。
- 景観の良い所での温泉宿泊施設が建てる場所があるところ（竹浦いいですよ）

【気候に関すること】

- 通年、気候が安定している。（夏涼しくて、冬雪が少ない。）
- 寒すぎず暑すぎず札幌・千歳に近い田舎。
- 自然と温泉、雪が少ないので定年後の移住に最適。
- 豊かな自然、温和な気候で暮らしやすい。
- 気候が良く、雪も少ないので、住みやすい。
- 雪が少なく住みやすい。

【自治・暮らしに関すること】

- 未開拓の土地が多く、さまざまな分野が進出出来る可能性があるところ
- ポロト湖、クッタラ湖を中心とした水資源
- 静かな所

【福祉に関すること】

- 待機児童が少ない。子供の野外活動が無料や安い料金で体験できる。

- 高齢者に対する手厚い支援によりお元気な高齢者が多く充実している

【港湾に関すること】

- 商業港あり

【交通に関すること】

- 交通面では札幌、千歳、苫小牧、登別、室蘭に近い。

【PRすべきと思うこと】

- 白老牛肉のPR強化
- 国立博物館のPR（全国的に）
- やはりウポポイのopenに向けて万全の準備をしていく必要と、一過性の話題で終わる事のないよう、腰のすわった集客体制のプランニングを全白老町職員がアイデアを出し合い、広範にPRすべき事と思います。
- 白老は、企業としてのPRはなかなかできないと思うので、やはり「食」をPR知ることが一番かなと思います。テレビで他の町の「食」のPRがあると試みたくなり、何度も出向いたことがありますので。
- モール温泉とたべもの！！こんなに素敵なものがあるなら、アピールすべき。東京の友人は、白老大好きです！！私も白老に住んで太りました。
- 豊かな自然と白老牛、しいたけ、卵、たらこ等々の地産品をいろんな方法でPRしてほしい。
- ふるさと納税制度を活用し牛肉・海産物などをPRできないか？今まで以上に。
- 白老牛肉まつりのPRは行き届いているが、温泉と牧場もPRしたほうがよい。
- 農畜産品、水産品、アイヌ民族等の情報発信
- 特産、ウポポイPRすべき。
- 虎杖浜のたらこ、しいたけ、白老牛、玉子等の特産物のPR
- 第一産業のPR
- ウポポイをPRして観光客の増加をはかる
- 白老町が誇る白老牛、虎杖浜たらこ、卵、しいたけなど。もっともっとPRして欲しい。
- 温泉付住宅のPR
- 白老の海産物のPR
- 虎杖浜たらこ、アイヌ民族博物館、牛肉などテレビでPRしてください。
- 象徴空間の宣伝活動を利用し、すばらしい白老の自然・観光・特産品のPRを大いに町外へ幅広く伝えるべきです。
- 紙の町白老をPR（もっと）すべき
- 環境の良さ、山・川などの自然の豊かさはPRすべき、
- 令和2年に完成する民族共生象徴空間を世界に向けて広くPRする事が今後の課題。
- 白老港に大型クルーズ船が入港できることをPR
- 地域ブランド食品が多いのでうまくPRし広める。今後ウポポイがオープンし、観光客が集まったときに地域ブランドも紹介し、広めていく事も重要だと思います。
- 住む、食べる、健康に過ごすのに温泉が役立っていることを上手にPRすべきと思います。
- 白老町の山側に広がる大自然のアピール
- 白老牛だけではなく、海の幸、しいたけ等食材にこれほど恵まれた土地はないと思うが、それを提供する店がない。もっと食の町ということを前面に出してPRしていただきたい。

【アイデア・期待・改善】

- 温泉を活用した宿泊施設の充実を図る。温泉を活用した温室栽培による通念型農業栽培を行う。白老牛肉祭りの知名度アップのため、ゆるキャラクターを制作しPRを行う。

- 当地に来るまで温泉が出る事も知りませんでした。冬の暖房や入浴が経費がほぼ0円で利用可能な事を全国的にPRされてはどうか？また、冬期間の雪の問題も皆無に近いのもPRにしたらどうか？
- 商工会が活発でない。土・日など人通りが悪い。
- 特色あるある産業とその担い手の方々と全国のネットワーク化
- 白老町にもっとスーパーがほしいです。
- 愛されるマスコットがない。白老駅の発車メロディーをイランクラブメロディーを使っては？
- 白老アイヌ文化と体験コースの発掘
- 水産・畜産の地場商品の発掘
- ポロトばかり力を入れず、グルメや特産品を推したほうがよい。何度もポロトに行く人はいないと思う。
- 海産、温泉、白老牛、卵、山菜、沢山の恵みをもっと生かす努力をせよ。
- 雪が少なく住みやすい環境、たくさんある特産品、登別温泉にも負けない虎杖浜温泉。移住や観光客をもっと集められると思います。
- ウポポイにリピーターを呼ぶため、近隣に女性や子供をターゲットにしたレジャー施設を設けて、町外から人を呼び込む
- 果物、野菜の温裁を活用、特に果物を中心にその他、温泉、アイヌ文化、たらこ、白老牛まだありますがPRは不十分
- 白老の食材を使った白老でしか食べられない食べ物を作る。ポロトの自然を生かしたレジャー施設の整備。萩の里自然公園に桜を沢山植樹し、花見の名称にする。
- 象徴空間の宣伝活動を利用し、すばらしい白老の自然・観光・特産品のPRを大いに町外へ幅広く伝えるべきです。
- 海の幸、山の幸に恵まれ、地場産の牛肉、しいたけ、たまごも有名になり、冬は雪も少なく、良い所だと思います。ただ病院やJR等少なく、食料品の店が少なく、車がないと生活しづらいです。
- 牛肉祭りはほぼ全道に知れ渡っていると思われるが、海の幸、山の幸はどうか？他の市町村は多勢の人を引き寄せる無料の〇〇等を企画したイベントを行ったり、企画上手で人が集う。白老は「損をして徳を取る」の考えがなく、儲け主義の考えの人が多く思う。まず集客案を！！
- ポロト、インクラの滝、クッタラ湖等の自然（きちんと整備して）ななかかまど、フロンティアの活動や製品とまちの特産品を合わせてホームページもフェイスブックもつまらないものになっていると思います。
- 飲食店やパン屋さん、温泉など良いところが沢山あるので、いってみようと思える街歩きのパンフレットなどがあるといいと思います。
- 温泉をもっと広く知ってもらえたら良いと思います。若いお客さんに向けて、きれいでリーズナブルな温泉施設があれば、観光客が増えるんじゃないかと思います。フォトスポットを作ることも効果があると思います。牛と写真が撮れるとか、インクラの滝をもっと行きやすくするとか。インスタを活用して宣伝すると広く知ってもらえそうな気がします。
- 白老といえば白老牛のようです。なかなか土産として気軽に配れるものではないので、常温の土産をつくってほしい。これからは国立の博物館でしょうか。

【思い・想い】

- 温泉がある。山と川、海がある。釣りができる（いくら食べられる）。鮭の遡上が見られる。美味しい外食店、パン屋が多い。海を見ながら外食できる。待機児童が少ない。子供の野外活動が無料や安い料金で体験できる。馬と海を見ながらドライブできる。白老牛、たらこ。白老町は自慢できるところがたくさんあると思います。苫小牧の人でさえ、白老町のよさを知らない人が多いので、うまくPRできたらいいと思います。
- 全国の市町村を見ても「和牛」「たらこ」「卵」「魚介」「温泉」「しいたけ」など1つ以上の特産品がある町は少ない。全体が協力して、同じ方向に向かえば最強の町になる。

●白老は限りない大自然に恵まれ、山あり、海あり、温泉あり、清水あり、空気良し、海産物や白老牛等。そして雪は少なく、交通面も札幌、千歳、苫小牧、登別、室蘭に近く、夜空の星も美しい。アイヌ民族象徴空間も歴史的に価値のあるものです。白老が誇れる白老の良さを、これからの若い人たちに担って欲しいと思います。企業誘致や子育て支援、福祉の問題等々…色々な設備投資には資金難が伴いますが、皆様の知恵と力量にて白老の町づくりをお願い致します。

(6) 分野ごとの自由意見

【生活・環境】 分野に関する自由意見

<防災に関すること>

●問 34・35 に対してはまったく考えていませんでした（思っても）。町内会か、行政、文書、勉強会など即取り組んでほしいです。

●広報に問 3 4、問 3 5 の情報を載せて欲しい。将来観光客が通る部分は、景観を良くした方が良いのでは。廃棄物が道路脇にそのまま放置されているのは、住民のモラルも低いせいもあるのかも知れませんが…。

●災害時の避難場所の設定に段階を設けて設定しても良いのではないか。現状の避難場所は遠く体の悪い人には避難訓練にも参加できず不安でいます。

●避難生活に必要な持ち物、食べ物等々用意しようと思ってもなかなか出来ません。町から推薦できる物を会場で開いてくれば、町民に用意できると思います。

●無線スピーカー、家の中では全く聞こえない。屋外でも反響しあって聞きづらいです。高齢者住居には有線が必要では。

●一時避難場所、整備が出来ていない（トイレ等）

●もし予算があれば、災害時に必要だと思われる物を一家に 1 コ供給すれば？

●3.11 の災害時対応について疑問に思っていたことを書きます。

まず、津波情報で避難指示が出たとき、逃げる場所を防災無線で海岸沿いの場所を放送していました。社台小、白老小、小鳩保育園…etc. なぜ？

6 月頃に全町の中から選出された方々の防災についての見直しや意見が出され集約したようですが、実際の業種の方々の意見を聞いてまとめたのか知りたいです。片寄っていませんか？

非難した時も、白老中学校へ町のバスを出して中学生を乗せ、コミセンに行った。いち早く鉄道の北側に走って行かせればよいのに。老人や子供、小学校への配慮の不足にがっかりしています。

コミセンでは電気ポットが設置されていて、一階のブルーシートの敷いてある場所の寒さ等。実際の現場がどの様な状況だったか、職員の方は見えていますか？

●防災無線の近くに住んでいますが、家の中ではほとんど何を言っているかはわかりません。緊急の場合は、音量は変わりますか？

●水分不足にならない様、体が温まるような食べ方

●地域的に津波が心配です。防災無線でいち早く避難指示をして欲しい。

●災害の規模にもよるが、町職員がどう動くのかを検証する必要がある。

●防災無線の音量が大きくて困っています。何とかありませんか？外にいてあの音を聴くとビックリして、寿命が縮まります。窓を開けるこれからの季節は憂うつです。それでいて、少しはなれたところでは何を言っているかわからない等で、本当に役に立っているのかと思います。災害の時だけにして欲しいと切に願います。

●防災ラジオの有償頒布をお願いしたい。

<治水・海岸保全に関すること>

●生活環境（下水道等）改善の急務（垂れ流し、排水溝の野ざらし、河川の汚染…）

●高波や越波による海岸侵食・越波による被害が心配です。国道も社台だけでなく、北吉原から石山までも道路（国道）拡幅が必要です。

<ごみに関すること>

●竹浦地区、山道脇に不法投棄が目立つ

●週 1 の買い物、月 1 回の通院時はビニール袋を持ちゴミを拾って歩きます。あるとき火バサミを持ちゴミを拾いながら 7 0 歳前後の男性に会いました。頭が下がります。町民が気をつけるのはもちろんですが、役場全体がやる気を起こさなければ町民は動かないと思います。街中がきたなすぎ。これから駅前からポ

ロトまでお客さんが通ります。国道からポロトへ入るあたりはひどいです。歩いてみてください。

- 個人の土地でしょうが、雑品が野ざらし状態で放置されていて見苦しい。2020年に向けて道路にたくさんのごみ（特に雪解けの頃）があり、清掃活動を3月頃観光シーズンに入る前に実施した方が良い。
- 祝日にごみ収集していただき感謝している。
- 道路にごみを捨てる人が多い（コンビニの弁当や包装）。

<公園・緑地に関すること>

- 孫を連れて遊べる場所が欲しい
- 社台には子供が集えるような公園が無い為、遊び場が無い。その為小さな子供を連れて、親同士が顔を合わせる場所も無い。小学校が閉鎖され、特に親の交流が減り、子供を持つ親として住みにくい場所になっている。将来的にも近隣交流が薄れていく気がする。
- 全体的に公園の整備がされていない。
- 子ども達が安全・安心してのびのびと遊べる公園を作ってください。今のままでは、ただの空き地と一緒にです。
- 公園の老朽化や不審者が時々出ているため、安心して子供を遊ばせる事が出来ない。
- 象徴空間が整備されるに当たり、街並みや子供が集まれる公園を充実させるべきであると思います。

<土地利用・住環境・移住促進に関すること>

- 大町商店街に空き店舗が多く活気がなく衰退している。起業希望者に対する資金的支援を行う補助金制度の創設。
- 公共施設も含めて使用されなくなった施設の廃屋化が痛々しい。
- とてもすてきな町なので、道の駅をつくるなど、収入プラスになる事をウポポイのみではなく、積極的に行うべきだと思います。それにより、生活も豊かになり、人口も増加、人を呼べる町になると思います。まずは金！！収入になる事をウポポイだけではなく、考える必要があると思います。
- 白老町は店があるがその他の地域では店がなく買い物が大変です。
- 夜勤の仕事をしているので、12時半のイメージソング放送を本気でやめて欲しい。全く寝られません。
- 虎杖浜は白老町の端にあるので、何か環境が整っていないような気がする。イベントも少ないようです。
- 空き家、倒壊家屋及び小屋（所有者が来た事が長期間ない）。空き地（宅地）の草刈りを長年実施されていない、等の問題あり。
- 街中には街灯がたくさんあるけど、山の方（緑泉郷など）はほとんど街灯がない。今一度街灯などの設置などを検討していただきたいです。
- 交通の利便性、医療不十分、結婚後白老より転出する。
- 住民個人のモラル
- 行政は町内会活動に関わりがないのか、町内会に一任しているのか不明。萩野地区ではゴミの収集場所に鍵を設置して引っ越してきた時に鍵を購入したり、町内会費も1年分6000円請求されました。町内会費を納めないとゴミを捨てられないまでと言われました。
又、引っ越しをする可能性を考え町内会費は半年分で、とお願いしましたが、半強制的な態度には大変不快に思います。他の地域から白老に来たものにとっては理解できない点があります。
- 町営住宅の老朽化が激しいが、町長をはじめ町職員が実際に住んで、住人の立場で考えて欲しい。美園の町営住宅に空室があるにも関わらず、川沿の町営住宅に一度入居すると転居できない理由が納得できない。
- お店がほとんど無いので、苫小牧に買い物に行くのが当たり前です。また、ソーラーパネルが増えて、ながめが悪くなりつつあります。
- 白老町中心部だけが良くなってきているので、白老町全体を良くしてほしいです。
- どこもかしこも太陽光パネルだらけの町、身近にある自然に鈍感になってしまっている。
- 町内の空き家が多く、場所によっては景観も悪いし、防犯上よくない。

<温泉に関すること>

●年長者が多く住んでいることを考慮に入れると、温泉が出る土地であることが素晴らしい。白老で一番良いお湯が出ていたポロトは料金が安く日帰り出来て利用しやすかったのに、町民の最も必要としていたところを無くしてしまったのがとても残念です。是非とも300円、400円でゆっくりくつろげるポロト温泉を復活させてほしいです。

<上下水道に関すること>

●上下水道料金が他市とくらべて高い。
●水道水が黄色くにごってしまった時、町からはこちらから連絡しないと、放送などでの報告もなく、信頼できないと思いました。こちらから電話をして「乳幼児には影響なく飲ませられる水か？」と問い合わせても、しっかりとした返答はなく、ごまかしてばかり。そして電話で「町内放送でちゃんと報告してください。」と話して、「分かりました。」と言っていたのに、放送もなし。全てにおいて、その場しのぎのような対応で、信用できないなと思いました。この様な状況なので、若者離れも仕方ないのかと思います。私は他からこの街に来ましたが、知り合いなどにも「良い町だよ。」とはとてもじゃないがオススメできません。

<道路に関すること>

●裏道路の見回りをしていただきたい。
●竹浦付近の国道の道路整備早くしてほしい
●除雪でボコボコになった道路が整備されず危険
●道路の舗装状態が悪く自転車でも走りにくい。高齢の母が散歩の際も道がデコボコで危険です。メイン道路（駅前）位はきれいにしたい。
●アスファルトの舗装（ガタガタ）。砂利道の舗装
●通学路に横断歩道がないところがあって危ない。道栄高坂下など。
●竹浦で飲食店をしていますが、道路が砂利道です。飲食店がある町道が舗装されていないのは全国でもあまりないと思います。早急に舗装してほしい。
●自転車で行き来するのに不安が多い。道路に歩道がない所が多い。
●災害時の避難所の見直しをして欲しい。ガタガタ道路・歩道の整備をして欲しいのと、路駐が多く歩みにくい。案内表示が分かりにくい。町民のモラル・マナーが悪い。例) 道路に飛び出したりなど危ない！
●舗装されていない町道のでこぼこで車が傷つき大迷惑です。又、その地域の方が多くいつの間にか骨折の心配もあります。舗装されればうれしいのですが。
●縁石に植えてある木の枝が視界を狭くし、自動車を運転していて危険を感じるので撤去してほしい。
●道路がやや整備されてきたが、住宅街の道はボコボコで、車が痛みそう。
●歩道がしっかり確保されていない町道が多々ある。

<公共交通ネットワークに関すること>

●公共交通機関を利用しやすいように努力すべき。個人で自家用車を利用するのではなく、JRやバスを利用すべき。昨年か一昨年、目にしました。町長とその付き人がJRに乗っていた。後で新聞を読むと、日高線を守るための道庁の会議が苫小牧であつたらしい。あまりにも見え見えだ。普段からJRを利用しない人間がJR存続を訴えるのは、はなはだおかしい。
●免許返納後、タクシー、介護車両の利用の助成。慣れる為1年くらい。
●北吉原に住んでいる為スーパーに行きたいと思ったとき、車を15分ほど走らないとないのが不便です。2歳の子供がいる為本数の少ない交通機関を利用するのも難しいためセカンドカーが必要なんだと感じている。
●公共交通機関の充実がなっていないと思う。
●町内を走る元気バスがもっと利用度があるといいと思います。不便な面があるとの話で利用は少いです。何かいい方法は有りませんか？ガラガラで走っています。
●年寄りが運転をしなくても苫小牧市や札幌へ気軽に行けるような対策がほしいです。

- 「高齢者ドライバーゼロの町」にしよう→公共交通を充実・町民に無料の「反射板」を配って交通事故ゼロの町にしよう。
- 外国のお客様が増えるでしょう駅前のタクシードライバーの客待ち中の行儀の悪さは町の印象につながってしまいます。
- 地区の人がもう少し元気号を使用できる時間を地区町内ごとで話し合いを持って欲しいです。
- 公共交通機関の便が悪い。
- バス・JRの便数が減り、不便です。

<除雪に関すること>

- 各家、坂道の除雪をしっかりとお願いしたい。
- 冬の除雪をしっかりと欲しい。排雪する場所を作って欲しい。
- 冬の除雪を町長宅前以外も速やかに除雪して欲しい。

<環境美化・衛生に関すること>

- 白老町の歩道は、何年経っても草だらけです。
- 自然と人が共生できるよう、と有りますが、鹿をどうにかしてください。花食われ、野菜食われ、車にぶつかり、人が怪我する前に、行政でどうにかしてください。
- 古い公住の野良猫対策。
- 居住地が樹木の多いところなので秋の落ち葉の掃除に困っている
- 道路わきの花壇は全町で美しく！
- 町内は家畜の異臭がきつい時があります。観光地としては出来れば改善して欲しいと思います。
- 歩いて楽しいドライブして美しい花街道で集客しよう。

<地域情報化に関すること>

- 町のはずれで生活をしているので、せめて地域情報化、地域間隔を改善し、情報通信基盤整備を促進してほしい。
- 光通信が利用できない地域（虎杖浜臨海区）です。何回お願いしても駄目でした。どうにかしてください。

<その他>

- 昼間にかかる歌がこわい。アイヌにとらわれすぎている白老町がこわい。
- 公共施設等の老朽化が見られ、町政への不安
- 「撮り鉄」の為の安全な場所を確保してあげて集客しよう。
- ATMを病院や商業施設に置いてほしい。
- 何かと建前だけで話す方がいますが（学芸員・議員・社協）、自分だけが知っている、相手にひびかない計画や言葉は、理解されないと考える。
- 町内活動の活性化、まず皆でゴミを拾い等の町内清掃活動に参加する。町内会長や役員の方々へお金だけでなく何らかの謝礼、特典が必要か。
- とてもすてきな町なので、道の駅をつくるなど、収入プラスになる事をウポポイのみではなく、積極的に行うべきだと思います。それにより、生活も豊かになり、人口も増加、人を呼べる町になると思います。まずは金！！収入になる事をウポポイだけではなく、考える必要があると思います。
- 他地域のまねでも良いからアイヌ文化を取り込んだ町づくり街並みも統一して作っていったほうがきれいに見えるし話題になる。観光客の集客の一つになると思う。

【健康・福祉】分野に関する自由意見

<医療機関に関すること>

- 町立病院の医師のレベルが低い（特に内科）。安心且つ信頼して通院できない。
- 街の方針もあるかもしれないが、医療は近隣の大病院に適切につないで頂ければ、町民の不安は解消するのではないかと。抱え込まれるのは困る。
- 町立病院の診療科目の充実、整備が必要。
- 皮膚科が2週間に1回出張医が来るだけでは足りない。
- 町立病院を新しく作っても、良い医者が来ないとムダです。
 - ・私は苫小牧市立病院に行っていますが、先生が1年ごと転勤で変わります。どうしてですかね。
 - ・施策の目標どおり出来れば良いですね。
- 町立病院で働いている方々、先生はじめ、みなさん良くして下さい
- 病院の選択肢が少ないため、白老町の病院に行ったことがない。
- まず出産できる所がない。オムツ替えも出来ないお店や飲食店がほとんど。子連れでいける飲食店はほとんどない（イスなどの設備、オムツ台、座敷などの広い席）。子供が遊べる所がほとんどない。おもちゃの交換会やすすく、ピヌピヌなどの支援は良いと思う。
- 町立病院の充実に力を入れてほしい
- 町立病院の新築問題、診療体制、老健（北こぶし）存続などについて日々情報の提供をしてほしい。
- 病院の建て替えに際し人工透析の施設があると良いと思います。通院時間を短くするといくらかっても苦痛を軽くしてあげられると思います。
- 町立病院はいらない。年間何億円赤字出す？年寄り以外町立病院は行かない。運営、建設費は病院を求める人（守る会・署名者・町議・理事者）のみで負担してください。今までも竹浦・虎杖浜からは町立病院には行っていない。苫小牧、登別、室蘭の病院が「安心・安全」（医師のレベルが低すぎる）。生田医院、藤田内科・リハビリに公的医療を依頼すれば？
- 父が骨折して救急車で町立病院へ。しかし入院病棟が無く、登別か苫小牧との事。老介護の為、見舞いに行く事が大変でした。
- 町立病院の機能強化
- 白老には安心して入院できる病院がありません。
 - ・救急病院も白老でなく苫小牧に行くことになるので、老後は不安です。
 - ・2020年国立博物館がオープンしても、そこで倒れたお客さんは白老ではなく苫小牧に運ぶしかないとしたら…何か不安です。
- 保健師の使命感が足りないように思う。
- 町立病院の小児の先生が安定していない為、受診できない日や時間があるのが不安

<高齢者福祉に関すること>

- 白老町は高齢者率が高く高齢者世帯や独居老人等に対する通院及び買い物などの生活支援が必要であると思います。（ゴミ出しや降雪時の玄関前除雪など）
- 高齢で一人暮らしで、足が不自由なため買い物等が不便で、行政が車（バス）などを出し、買い物代行などで高齢者を支援していただきたい。
- ボケた老人夫婦が、どうしたらいいかわからない人が多々いる。そういう人にかぎって、子供もいなく、閉塞的な環境にいる。
- 各施設にいる高齢者の実情を知らなさすぎる。
- 独居老人（足の悪い人、病弱の人）にとって、降雪の少ない町であります。除雪に苦慮しています。町内会の協力にも限度があり、手段を考えてほしいです。ますます高齢化が進む今日問題として対処をお願いいたします。
- 高齢者の介護施設がもう少し多くあったら良いと思います。年金生活で、低金額で入所できる所があればいいと思う。介護していた時に自分が体調崩したとき、すぐに見てくれる人が手配出来るといいと思う。
- 「敬老の日」の敬老会への金銭的支援をして欲しい。

●高齢者の社会参加、種々サークル活動の参加等、これから足（車）がなくなり参加が難しくなる。高齢者同士の相乗りも難しくなります。行政として施策はないでしょうか？

●高齢者比率も45%強との事で、現状で医療・福祉対応を町民に満足させるのは難しいものがあると思います。現状ではネットワーク的地域間協調や緊急対応体制を構築し、地域ニーズに応じていくことがベターだと考えられます。多くを掲げるより、シンプルイズベストで早期着手、早期体制作りをお願いしたいものです。

●母が町のデイサービスのお世話になっていますが、ヘルパーさん達の行動には、頭が下がります。ありがとうございます。

●母が高齢で独居でしたが、ケアマネージャーさんにお世話になり、親身になって相談にのっていただき恵和園に入所することができました。

<運動・健康に関すること>

●各地区に高齢者への健康体操等の組織ができており、近くでいろいろと行なってくれることにより出かけやすく感謝しています。

●町内ごとに健康体操等（ラジオ体操）を実施して、お金をかけなく住民同士が和気藹々に行っているのが望ましい。

●いきいき46のスタッフの方々が率先して健康に努めましょう。アドバイスも受け入れやすくなります。

●サイクリングロードや散策路に距離の案内板があれば楽しく散歩ができると思う。

<障害者に関すること>

●ヘルプマークを見たら協力しあえるように広報をしてほしい。

●認知症患者（家内）をもつ者ですが、通常医療（風邪・けが等）の時、どこの病院もけむたがられる。

<全般>

●今の時代、高齢者や障がい者はとても恵まれていると思う。私たちが若いころはあまり感じなかった。このような言葉すらなかった。

●広い地域でのサポートが実態。白老町として何が最低必要かを絞り込むべき。

●少子高齢化時代が進行中で、何が必要かであるのではなく、どのようなものが無駄なのか考えるべき。

●高齢者・障がい者・子供にやさしい町になって欲しいです。

<その他>

●民生委員が非常に不親切。準公務員に相応しくない人柄

●平成30年9月胆振東部の震災の解きブラックアウトで停電し、生協へ買い物に行った時パン1個しか買えず店の中に入れなかった。スーパーくまがいでは町民の為に出来る限りの食料を集めて品物が届くように個人商店として力を発揮してくれた。ありがたかった。近くの一人暮らしの人に声をかけ、食料がない事を知り、届けてやった。地域（町内会）で見回りに来ていましたか？

●いつになったらテニスコートができるのでしょうか。あのボロコートで使用料をとるなんて信じられない。根室市、網走市を調査してみれば？

【教育・生涯学習】分野に関する自由意見

<保育園・幼稚園に関すること>

- 幼稚園の丸山動物園バス遠足が、バスの老朽化により中止になったそうですが、子供たちは楽しみにしていたのに残念です。他にも白老にはバスはないのですか。白老観光バスは余っていませんか。
- 長年続いていた動物園への遠足がなくなったのは残念でならない。

<小・中学校に関すること>

- 小学校高学年及び中学生の希望者に対する学習塾を無償で行う体制を整備するべきである。
- 特に義務教育では、人的な質量が重要でありそのためにも人的確保に今後も力を入れてほしい。
- 白老町の低学力について、本気で考えているか疑問
- 統合した中学校ではまだまだ地域により格差があるように感じます。
- 基礎学力を向上させる取組みが必要であり、真に人に求められる人材の育成を白老町を挙げて取組む必要がある。

<社会教育に関すること>

- 興味を持って行ってみたいと思う学習が町内ではなく、町外に出かけなければ学べない。
- 生涯学習の月一回は少ないと思う。主席したくても、用事と重なると出席できず不満！
- 高齢者大学をもっとピーアールしてほしい
- 高齢者が参加しやすい生涯学習を増やしてほしい。例えば、昨年度の料理家の星澤先生を招いた料理教室のようなもの。
- 日々事業のことが活動の中心であり、先を見た生涯学習に対しおろそかになっている。
- 図書館の本の種類を増やしてほしい。アイヌ文化のものなどが多いが一般的な雑誌や児童書も子供が好んで読みたくなるような本を置いて欲しいです。
- 子育ては前居住地で行っていたので、現在の白老町の教育環境はわかりませんが、30~40年前に白老コミセンに色々な文化的なイベントがあったのを記憶しております。講演会やお芝居等。今現在、あまり開催されていないように思います。

<民族共生・アイヌ文化に関すること>

- アイヌ文化 PR は町民に伝わってこない
- アイヌ文化が注目され、国を挙げてアイヌ文化に力を入れているが、アイヌの人達だけが優遇されるのは納得がいかない。

<教育行政に関すること>

- 教育委員会を含めて役人気質なのか、住民奉仕の意識に欠け、率先してという気概にかけると思います。町政の停滞感があると思います。
- 教育のことでは、以前に他県で過ごしたことがあり、その県では授業に先生が2人つき、理解できない・ついていけない生徒にアドバイスしてくれていました。とても良いシステムだと思いました。教育委員会は、生徒のことと、より教育していけるように心がけていただきたいです。
- 教育者側への支援、フォローする体制も必要
- まちづくり全般・少子化対策について、25年以上前から現状になると想定されていました。町はどんな課題を感じ、中長期戦略や対策を講じてきましたか？これからどうするの？

<スポーツ・レクリエーションに関すること>

- 地区対抗、町内の企業対抗のスポーツ、運動会などを行ってコミュニケーションの活性化を図ったらと思います。

<全般>

- 保育、学校がない。
- 教職員が今以上に研修する必要がある。
- 教育者自身の人間性に問題があり、保護者や子供との信頼関係が築けない。教育者への人間性、社会人としての自覚が無く困っている。
- 塾が少ない気がします。受験生は大丈夫なのでしょうか。

<その他>

- 連日不審者情報を耳にするが、民生委員・ボランティアの方々は朝の登校時しかいない為、下校時間やその他の時間も不安です。学校側も集団下校する事も無く、対策は大丈夫なのでしょうか？大変だとは思いますが、町職員、民生委員、ボランティアの協力は得られないのでしょうか？事故が起きてしまっただけでは取り返しがつきません。
- 人口を増やそう。
- 日ごろからあまり参加していませんので、何ともいえません
- 子どもがまだいないため、よく知りません
- 農業・畜産・水産・獣医の専門学校か学科を造り、人材育成に力を入れる。
- 2020年のウポポイ開場に向けて、「××婦人部」「××婦人会」と言った名称の再考が必要と思う。世界標準で見た場合に「青年部」は良いとして、「婦人部」と言う名称が残っている事に、大きな誤解を招くと思います。WHOの調査による人権や女性差別の順位を考えると、世界から注目されるに当たり、早急の対応が必要と思います。
- 日中に仕事をしていると関心があっても時間が合わずにあきらめていることが多いです。しかたありませんが…。
- p.17は長年子供達から離れており、回答出来ません。
- 高齢者の方が参加できる交通機関の整備。パスの利用の仕方を変える。

【産業】分野に関する自由意見

<産業連携・地場産品に関すること>

- 白老牛を町民還元してほしい
- きれいな水資源を活用すべき
- 白老の人にはもっと安くしてほしい。あるいは、地元用に安いものを作って欲しいです。
- 白老牛、虎杖浜たらこは自家用・プレゼント等に非常に喜ばれています。
- 「食」については、町民にも手軽に購入出来ない点。
- 目先のもうけにはしる。昔かたぎの商人がいるのか。何か不自然な商売しているみたいです。肉など外に高く、内にやさしい価格だろう。魚なんでも塩漬け。だれが食べるかな？
- 白老牛が全国的にも名が通り評判も良いようだが、いかんせん高価すぎる
- 道内の知人に白老の食材を聞くと、「白老牛・たらこ・卵・しいたけ」この4つは出ます。
- 6月には、牛肉まつりがありますが、地元ということで安く食べられるようにしてほしいです。白老牛は年に何回も食べられません。白老町民ということで、チケットもある程度格安にしても良いと思います。
- 町民には少しでもお安い価格を提供してもらいたい。
- 食材王国ではなく、食の王国をイメージの強化の為にキャッチフレーズを変更すべきと思います。(6次産業をめざすのであれば)
- ブランド品は町外の人々の為、町民には安価で提供されていない。
- 白老牛のPRはもっと頑張ってほしい。全国のブランド牛にも張り合える味です。
- 毎年、知人・友人に白老産品を送ります。皆さん白老ブランドと喜んでくれます。
- 玉子、しいたけは利用しています。牛肉は値段があり、あまり手が出ません。正月位です。
- ブランドが付いた物は高価で、低所得者には手が出ない
- 白老牛は高すぎ。しいたけは同じ物でも苫小牧で安く買える。
- 地域活動の中での限界があるので、姉妹都市等締結や広域的な業者間の業務提携促進支援政策等で後押

ししては？

- 価格が高い、池田町の「町民還元ワイン」のように地元民がまず気軽においしくいただけるように PR すればよい。
- 虎杖浜たらこ、お土産、お歳暮として利用しています。
- 漁業、白老牛は高すぎ
- 白老牛は少し値段が高い。特別販売日を作って、安く提供できれば良いと思います。地元の人あまり買わないのでは？
- 白老牛と名前は歩けど高くてだめ。白老町民には少し安くして欲しい。
- 白老牛や虎杖浜たらこはおいしいのは知っているが、いかんせん高い。普段気軽に購入できる金額ではない。
- 曲り竹を使った産業を考えるべきだ
- 全道町村をみても白老町ほど有名食品ブランドを有している町は他にない。これら食材の有効利用、2次、3次加工販路拡大をもっと模索するべきです。
- 白老町の食材以外にも、おいしい食材を使用している市町村も多い為、白老町の食に興味を持ってない。
- 良い食材なのにもったいない
- 白老牛・虎杖浜たらこなどおみやげとして送っている
- 白老牛もブランドになりましたが…札幌からお客さんが来たので白老牛と思い予約し、ヒレスステーキ5千円を注文。小さく薄くがっかり！期待を裏切らないで欲しいです。
- 虎杖浜たらこは塩分ばかりで、九州のたらこと比べると恥ずかしい。
- 白老牛やたらこは認知度高くも、鶏卵・しいたけが全道トップレベルの生産量であることは、町民も町民以外も知らないと思う。「食材大国しらおい」などといっているが、本気度が感じられない。食材を生かした産業の育成に注力すべき。パルプ・製紙業は一言もないが、本町はどのように考えているのか。この町から工場がなくなったらどうなるか、本気で考えるべきである。

<道の駅等物販施設に関すること>

- 道の駅の早期開業が必要である。農林水産物等の販路拡大を図る為。
- 牛は祭りでメジャー化している。しいたけは白老に住むまで知らなかった。白老バーガーは、店舗がおしゃれじゃないので、利用した事ない。外見大切だと思う。道の駅作って、白老バーガーアピールすべき。
- 魅力は高まっていると思うが、それを大量に売り込むところがない。例えば道の駅のようなところ。白老町はなんで道の駅を作るような大事な話が盛り上がらないのだろうか。
- せっかく良い素材（白老牛、たらこ、卵）がたくさんあるのにそれをうまく活かしていない。気軽に食べられる店舗や道の駅が欲しい。
- 白老の特産品を色々食せる・購入できる道の駅のような店舗があれば良いと思う。
- 道の駅を作り、大々的に宣伝する
- 国道沿いに地元食材などを扱う道の駅を設けたほうが良いと思います。
- なぜ道の駅を作らないのか不思議です。問 57 のようなおいしい食べ物もあるのに。自分のお店にしか来て欲しくないのですかね？
- いま少し食の町白老のPRが足りないと思う。白老牛、たらこ、卵などが一か所で食べられるような施設があるとよい。
- 各店の力の入り方がさまざまで町外の人にすすめられない店もあります。中途半端なものになっているようにお思います。ウポポイに期待して点々としている店から1か所で選べる店が（道の駅）あるといいですね。各店が競い合うようになると良いですね。
- 道の駅のような場所で町内の特産品のようなものがなんでも買える施設があるといいなと思います。
- マザーズの日曜日の賑わいを見ると、道の駅が出来たら集客できるのももったいないと思います。
- 白老町には、問いにあるように地場の食材が多く有るのに、他町村のような道の駅が無いのに疑問があります。行政が主体となり、道の駅の設置を是非進めてください。
- 個人店ではなく、どこでも買える店、道の駅など沢山の人が入る店が必要。白老牛、たらこ、しいたけ、卵、何でも置く店を！

●白老牛、たらこ、シイタケ、鶏卵の4種類の食材を使った料理を出す地場産品の食堂又はレストランを作ったらどうか。

<雇用に関すること>

雇用が少なく、若い人たちが働けない点（給料など）。

白老町内で働きたいと思える条件の職場が無い。

<企業誘致・商工業に関すること>

●もう少し、というかもっともっと周辺地域を見てください。室蘭、苫小牧ですら若い人からは疎遠とされています。白老町はもっと民間企業の誘致してください。危機感が本当に無すぎです。

●白老町での買い物は品数が少ない

●本屋がないので、どうしても町外で買うので、とても不便

<観光に関すること>

●民族共生空間が完成すると観光客がたくさん来ると思われるので、道の駅や商業サービスなどの整備をしないと駄目であると思われます。

●SNS 情報が古い、少ないので観光客の参考にならないと思う。

●苫小牧市の高齢者は、白老にドライブに来ているようです。

●観光客の集客等を本気で考えているか分からない。白老町の食ブランドを活かしていない

<水産業に関すること>

●おいしい食材がいっぱいなのはうれしいですが、今年カニ、エビいないのか、育てる漁業に力を入れることは出来ないものなのかと思っている。

<全般>

●もっとPRしないと、知られていない

●もっと全面的にアピール

●ブランド力のある食材をどう活かしていくのかが見えない

●地元に住んで地元のブランドが高すぎて食できない

●空き店舗利用の補助と同時に現店舗の改装等、高度化に対しても補助しなければ問題あり。必ずしも活性化にならない場合もある。

●産業やまちづくりに一貫したビジョンや計画はありますか？数年ごとに考え方が変わったり、素人思考な事業が多くあると思います。何十年前から課題が変わっておらず、解決しようとしているとは思えません。

●地域ブランドが色々あるので、全国だけでなく世界にも紹介、売り出していったら良いと思います。

●町外へのPRなどが、どこまで進んでいるか、町民にはわからない。

<その他>

●白老町内のお店で買い物をするよりも、都会のお店の方が商品も多く安い。

●食材に魅力があるにも関わらず、わざわざ白老に行こうと思える魅力がない。生かし切れていない。

●町内事業者の声を、目線を合わせて聴いてください。

●毎日のように白老へ買い物で出掛けています。いつも車なくなったらどうしようと心配しています。宅配だけではどうしても用が足りません。困った問題です。

●第1に農林・畜産・水産など、今ある産業を支援・投資などをして欲しい。

第2に福祉・医療器具の製造業をくくると支援作りをして欲しい。

第3にエネルギー産業（ソーラー・風力・バイオマスなど）に力を入れて欲しい。

●財政難なので、将来に希望が持てない。

●白老には沢山の名産品があるので、もっと町としてPRしていくべきだと思う。

●ウポポイに関してあまり良く思っていない。どのくらいの人がアイヌ文化に興味があるのか疑問に思っている。その為に町のお金が使われていると思うと、あまり良い気持ちになれない。

【自治】分野に関する自由意見

<協働のまちづくりに関すること>

- 町内会活動に若者の参加が少ない。役場職員は特に積極的に協力していただきたい。
- 高齢化により、町内会活動を今までの単位で行うのは、難しいのではないかと。統合して町内会の数を減らし、コンパクトにしては、役員の担い手も不足している様子。盆踊り等、子供の頃の経験は記憶に残るが、開催単位を鉄南・鉄北に大掛かりにすることで盛り上がり、子供達の楽しみになり、地域に愛着を感じるのでは。イオルだけでは、人が呼べない気がします。仲見世のような場所を作らないと。道外から観光につながる企業が参入してくれると良いかもしれません。
- 町内会の高齢化。役員不足。次期成り手がいない。
- 町内会によっては、古紙回収活動への強制参加が不満。共働きや未就学児がいる世帯にとってはきびしい。
- 町内会（町民）との乖離があるように思います。気軽に相談できる窓口があっても、と思います。
- 町内会活動のこれからの在り方について考えていかなければならない。
- 町内会活動。高齢化なので、仕事なるべく少なく。町内会役員のなり手なし。
- 町内会は人数が少なくなりつつも、ゴミ拾い・花壇作り・花見などががんばってやっている感じです。人口が減ると、会費も少なくなるので、もっと規模が縮小されるのでしょうか。
- 町内会が高齢化し、若い世代にも高齢者のみの家庭にもそれぞれの大変さがある。もう少し町内会活動に頼らない方法をとってもよいこともあるのではないのでしょうか。

<行財政運営に関すること>

- 白老町社台地区の市街化調整区域を開示してほしい。そうしないと工場や宅地にならないと思います。
- 白老町がもっと人通りが良く活性化する町づくりにしてほしい。若者が働ける町作り。
- 多様な分野で活躍する町会議員のなり手の確保、自治への意識を高めることが一番大切である。
- 白老駅、ポロトコタン周辺の開発整備が重点的で、社台・萩野・竹浦周辺が店もなく大変です。
- いじめや貧困による自殺者を出したら町全体の恥。対策はあるのか。
- ウポポイ建設の際に小さい山を壊したのはよくなかった。JRの増便は必要。
- 役場職員（町職員全般）の給料が高い
- 若者の定着と将来を見据えた町財政のバランスを改善して欲しい。
- 少子高齢化時代の渦中であって、行政改革的なことではなく、白老町だけではなく、むかわ町、厚真町、安平町など苫小牧市を中心に大統合するくらいの行政改革をしなければ世の中は変わらないと思います。北海道開拓から150年、100年に1度くらいの開拓革命があってもおかしくない。
- 47%を超える高齢化率です。これからは高齢者がもっと中心になり、町を支えていかなければなりません。その為の支援をお願いします。
- 観光協会が本気で集客する気があるとは思えない。行政も然り。
- 若者が転出しないようお願いします
- 起業誘致、ふるさと自慢、(特産品)農畜、水産品等の連携プロジェクトチームづくり地方へ行き沢山PRしてください。
- 優秀な人材を育成し、信頼される町作りをすること。まずは道内にある市町村との連携をして、お互いに協力できる態勢を作ってみては？
- 若い人が歩く町、子供の声の聞こえる町。
- 町議会議員のレベルアップ
- 白老町は横に長いのでエコカー（公用車）の台数を多くする。
- 民俗共生象徴空間の充実については国の意向や話題性で力を注いで金も政策も優先されているが将来的には一部の関係者のみの利益で不満が出てくると思う。医療の充実、買い物難民、町道整備、老老介護、

過疎化問題等問題山積みだと思う。

- クルーズ船の寄港誘致
- ウポポイは行政関係では盛り上っているか？住民的にはあまり盛り上ってない感じがします。
- 問 20（第 5 次総合計画）自体をあまり知らなかった。
- アイヌ伝承の遊びや暮らしの体験、特産品、自然、全部合わせて白老町の PR。ポロトの体験楽しかったですよ。役場の方たちも仲間に入っているともっと良かったと思います。
- 白老町は 2035 年に人口 7000 人台になるといわれており、高齢化率も相当になることが明確になっています。町の将来危機の対策を後回しにして、関係の無い事に多額の借金をしないで下さい。今後、関係者はしっかり責任を取る様にして下さい。
- 議員数を減らしてはどうか
- 太陽光パネルが目に見えて増えています。木が沢山切られているところをよく見ます。町として、どのような土地管理（公私とも）をしているのでしょうか。白老の自然がどんどん破壊されている気がします。
- まわりの市町村と連携し、幅広い地域をめざして発展していくように。千歳～苫小牧～白老～登別と、有名な町づくりを。
- 税金の無駄使いだけはやめていただきたい。
- 人口（町民）を増やす施策が必要。勤める場所がないので、若者がいなくなる。食と観光のシナジー効果で、道内主要観光地の様にしていく必要あり。観光の分野であれば若者も勤めやすいのでは。

※全般に関する自由意見

<このアンケートに関すること>

- 全体のアンケートの量が多すぎる。この量のものを住民にやってもらうのであれば、何か特典をつけないと集まらないし、今後続かないと思います。生意気言って申し訳ないです。
- このアンケートに関して、つめこみすぎ。謝礼なしで回収できるレベルではない。この枚数でこのホチキス。針が浮いてきて指にささりました。ご一考ください。

<その他町民から寄せられた意見>

- 町役場の電話に着信番号が出るのは、いかがか？思い切った意見、苦情が言えない。町役場のためとしか思えない。税金を使わないで。
- ポロトコタンなど新しくなりますが、私がいつも持って行く土産は、苫小牧で買います。白老にはこれと言った土産品がありません。
- 白老は町内（駅周辺等）が明るくにぎわってれば満足なのでしょうか？夜間、誰も歩いていないのにムダに多い街灯、駅周辺だけをきれいにしても北吉原在住の自分には他人事のようにしか思いません。白老に住んでいると言う実感も湧かないのは、白老は町内だけきれいであればいいという考え方にしか見えないからです。
- もっともっと白老町の特産品など PR してください。
- マイナンバーカードを使った住民票の写しサービス（コンビニ発行）をいい加減開始してください。以前サービスを利用しようとしたら、白老町は対応してないとなりました。何のためのマイナンバーなんですか？
- 白老町の温泉は清潔感が全くないので有名。他町村からの声です。むしろ不潔感あり。
- 社台のため、買い物も全て苫小牧。会社も苫小牧。白老に居ますが、白老にはほとんど立ち寄らないので、全く分かりません。
- 白老町は経済的に恵まれてないので、他の町村の経済を勉強しつつ前に進まないといけないと思います。反省が大事だと思う。伊達の道の駅はすばらしい。
- 民生委員の人選について人格を望みます。
- モール温泉に入って白老の食材を使った食事ができゆっくりくつろげる癒し的な空間ができれば、町民の繋がりも期待できるのでは？

＜町民からの提案・感想・ジャンルをまたぐもの＞

- 豊かな温泉を貧しい高齢者に活用できるよう、憩いの場になっていたポロト温泉を再現していただきたい。
- 一人暮らしの高齢者宅の雪掻きやってもらえるとたすかります。雪が少ないですから1シーズンに2、3回なのでできると思うのですが…
- 観光協会は駅に！！本州に居る知り合いたちは、オハウ等のアイヌの食べ物に感動していました。気軽に利用できるアイヌカフェ等あったらいいかなと思います。
- 白老牛、海産物をもっと宣伝したら良いと思います。東京の知人が物産展を楽しみにしている、と言っています。
- ウポポイが将来白老町の負の遺産とならない様、願うものです。出来れば仙台藩の白老元陣屋の遺構（人名を賭け北方の守備に当たった仙台藩のサムライとアイヌの人々がどの様にかかわり支援したかを）白老町の歴史をもっと前面に出すべきと思慮しますが…如何？
- 道の駅やオートキャンプ場などを国道に面した場所に作ることはできないのか
- 国道沿いに道の駅でも造り、直販と白老牛を焼いて食べる場所を提供する。
- 白老町を訪れてくれた方に良い印象をもってもらえるよう広い心でお迎えしたい。
- JRAウインズの誘致。人口をどうにかして増やす。商業施設は人口が増えニーズが増えてきたら、土地は有り余っているので、伸び白はたくさんあるはず。
- 人口を増やすには道外大手の製造業の誘致が必要である。そのため東京に支所をおき営業専門の職員を数名配置。民間出身者も採用して。
- 役場の人を青年会議所に入れたほうが良い。彼らは、民間の力を発信しようと頑張っているのだから。
- 町民自ら白老町の隠れた魅力を提案し、ジャンルに取り上げてもらう。SNS等で発信してもらう。
- 白老町の人口年齢は上回っており、老人も多く、この方々の健康維持、医療費を減らすには元気で体を動かすこと。それで、町営のパークゴルフ場を作ってほしいと思います。場所的に無理でしたら町内のパーク場を町が少し助成してくれたらと思います。
- 病院・銀行の充実。スーパーマーケットの充実。道の駅。
- 温泉付住宅の空き家を民泊のように町で補助して、時間で借りられたり泊まれたり出来る様にしたら良いのでは？
- 白老港の有効利用。たとえば自衛隊関連の陸揚げによる交付金のup。
- ・元気号、公用車、社協の運転が荒く、路上駐車は止めて欲しい。
・元気号の利用者が少ないので、大きなバスは必要ないと思う。
・町長自らがもっと町民とコミュニケーションを取る機会があったらいいと思います。出勤前にボランティア、民生委員等と一緒に挨拶をして欲しいです。町内で会った際も気楽にコミュニケーションが取れる様な町長を目指して欲しいです。
・とにかく町長次第！！自らの給料をカットすべき！！
- 勝手な感想ですが、役場に行くと「わが町の役場」という感じではなく、こんな小さな町なのによその会社のような感じです。
- 祭りごとを増やしてほしい。
- これからは、高齢者が増えて足の確保も難しくなります。町として、町内のバス（白老行き）の数を増便していただければと思います。よろしく願いいたします。
- 道の駅、その隣に日帰り温泉の施設を。これは必ずあって欲しい！車中泊も出来る駐車場もあれば。朝早く温泉に入れるのは、車中泊の人達には最高です。利用する人はいると思うから。
- 歳とってからの通院がどうなるか不安（車の免許返納したらどうしよう）
- 白老町の花？はまなすを国道に植えていても、草と一緒に刈られている。雅子さまのお迎えなので、2020ウポポイを迎えるにも、はまなすを育てて欲しい！！